携帯電話のリサイクルについて

●携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
●回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さま情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

はじめに

この度は、W-CDMA/HSDPA携帯電話(S22HT)(以下、本機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先(P.277)にご連絡ください。

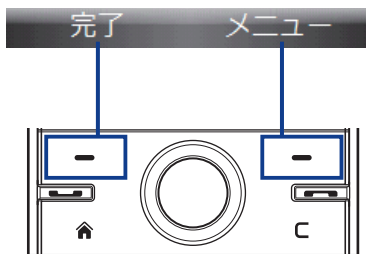
ご利用いただくにあたって

- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はデジタル方式の特徴として電波状態が悪いところであっても高品質な通信を保つことができます。しかし、電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機はイー・モバイルの提供するサービスエリアおよび国際ローミングのサービスエリアにおいてのみご使用になれます。
  This product can be used only in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chip(USIMカード)を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使い方を誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- 本機は国際ローミングに対応しておりますが、本機の保証については日本国内においてのみ有効です。その他詳細、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先(P.277)にご確認ください。

本書の使い方

操作手順の表記について

ソフトキー

以下の例のように画面下部の左右に表示される名称で説明しています。

項目選択

以下の例のように選択する項目名やソフトキーの名称などは太字で示しています。

<例>

1.[スタート] ＞ **[設定]** ＞ **[ホーム画面]** を選択します。

ヒント

・ホーム画面で **[スタート]** を押すと、最近使ったプログラムが表示されます。すべてのプログラムリストを表示するには **[すべて表示]** を押し、選択したいプログラムが表示されるまで **[次へ]** を押します。本文中の操作手順では、この操作を省略して説明しています。

ボタン

以下の例のように名称とイラストで説明しています。（各部の名称はP.36～41で説明）

<ダイヤルキーの場合>

通話ボタンを押します。

<QWERTYキーボードの場合>

QWERTYキーボードで FN を押し、文字入力 を押します。

目　次

第 5 章　情報を PC と同期する　95

第 6 章　PIM 機能　107

第 7 章　メールを使用する　123

第 8 章　インターネット　147

第 9 章　Bluetooth　169

第 10 章　マルチメディアを楽しむ　177

第 11 章　アプリケーションとデータ管理 211

第 12 章　本機を管理する 229

付録 259

主な機能

機能	説明	アプリケーション
電話	スピードダイヤルやスピーカーフォンなど、便利な付加機能を利用できる通話機能があります。	スピードダイヤル
PIM (アドレス帳、スケジュール、仕事、クイックメモ)	本格的なPIM機能によって、電話番号やアドレス、スケジュール、仕事、クイックメモを管理します。	連絡先、予定表、仕事、クイックメモ
インターネット	モバイル／パソコン向けサイトなどにアクセスできます。	Internet Explorer Mobile
メール	インターネットメールのアカウントを登録することができ、自宅や会社のメールを送受信できます。	メール
マルチメディア	カメラで静止画や動画を撮影したり、楽曲や動画を再生して楽しむことができます。	カメラ、カメラアルバム、オーディオプレーヤー、Windows Media Player Mobile
データ管理	本体メモリやmicroSDカードの中のファイルやフォルダのコピー／移動／削除を行うことができます。	エクスプローラ
パソコンとのデータ同期	パソコンと本機との間で、PIMデータやファイルを同期することができます。	ActiveSync
オフィス関連アプリケーション	Word、Excel、OneNoteファイルの作成／編集／表示、PowerPoint、PDFファイルの表示を行うことができます。	Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、OneNote Mobile、Adobe Reader LE

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。
●以降で説明する注意事項は、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されています。よくお読みの上、記載内容を必ず厳守してください。
●本機の故障、誤作動、不具合といった原因によって、通話や通信が困難となりお客さま、または第三者の方が損害を受けられたとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示の説明

本書では次のような絵表示をしています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

危険	危険取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性が高い」内容を示しています。
警告	警告取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性がある」内容を示しています。
注意	注意取り扱いを誤った場合、「重傷を負う可能性および物損が生じる可能性がある」内容を示しています。

禁止 分解禁止 濡れ手禁止 水濡れ禁止	してはいけないことを表しています。
指示 プラグをコンセントから抜く	しなければならないことを表しています。
注意	気をつける必要があることを表しています。

本体の取り扱いについて

⚠危険

必ず専用の機器をご使用ください。指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。

⚠警告

車両の運転中に本機を使用しないでください。交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

車のダッシュボードの上などに置かないようにしてください。エアバッグが開いたときに、本機が運転者や同乗者に当たるおそれがあり、けがや事故、故障や破損の原因となります。

歩行中の使用は注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分にご注意ください。

航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm 以上離して携行および使用してください。電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切り、本機の使用を控えてください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU) には本機を持ち込まないでください。
・病棟内では電源を切り、本機を使用しないでください。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切り、本機を使用しないでください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
・自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
・高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

※影響を受けるおそれがある機器の例：
心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医療用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

本体について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

・分解、改造をしないでください。なお本機の改造は電波法違反になります。
・直射日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。本機が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
・電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
・ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
・濡れた手で触らないでください。
・浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
・コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
・強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
・本体に無理な力を加えないでください。

万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.277）にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態には、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外してください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。煙が出なくなったことを確認してお問い合わせ先（P.277）へご連絡ください。

落雷のおそれがあるときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。

安全走行を損なうおそれがあります。

注意

長時間の連続使用などで本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

指示

故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。本機は以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。

本体キャビネット	PC＋ABS樹脂
電池カバー	本体色ブラック：PC＋ABS樹脂（つや消し） 本体色ホワイト：PC樹脂（鏡面仕上げ）
カメラプレート	アルミ（ヘアライン）
本体ベゼル（外縁）	アルミ
電源ボタン 音量ボタン カメラボタン	PC＋ABS樹脂
通話ボタン 終了ボタン ナビゲーションコントロール／Enterボタン	PC樹脂
ダイヤルキー	アクリル樹脂
QWERTYキーボード	PC樹脂
電池パック端子	銅合金
ミニUSB 端子	ステンレススチール／つや消し錫
ネジ	AISI 1018 (鉄 95%-98.98%)

小児が使用する際に、保護者が使用方法を間違えていないか確認し、正しい取り扱い方法を教えてください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。

クレジットカードなどを本機に近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険

指示

電池パック（リチウムイオン電池パック）について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

・本機で使用できる電池パックは、PBS23HTZ10です。これ以外の電池パックは使用しないでください。
・装着するとき、電池パックの向きが決められています。本機にうまく装着できないときは、無理をしないでください。電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
・充電には、付属のACアダプタPCS21HTZ10またはUSBケーブルPGS21HTZ10以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。
・直射日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。
・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
・外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
・端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリ、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。
・ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。
・電池パックからもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。

⚠警告

次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。

・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
・濡れた手で触らないでください。
・コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
・水や海水に浸けたり、雨滴などで濡らさないでください。万一、濡れた場合には、直ちに使用をやめてください。
・電池パックから液がもれたり異臭がするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。
・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
・ペットが電池パックを噛まないように気をつけてください。
・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。
・煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、すぐに ACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.277）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

⚠注意

指示

次のことをお守りください。

・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。
・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本機から電池パックを取り出さないように注意してください。間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。
・充電は必ず0〜40℃の範囲で行ってください。
・充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

指示

電池パックを本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、電池パックを本体に装着しないでお問い合わせ先（P.277）にご持参ください。

ACアダプタの取り扱いについて

本体に接続するACアダプタは、必ず付属のPCS21HTZ10を使用してください。他のACアダプタは使用しないでください。

付属のACアダプタはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.277）にご連絡ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

・ACアダプタを水やその他の液体につけたり、濡らしたりしないでください。
・コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。
・お客さまによる改造や分解・修理はしないでください。
・ACアダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
・ACアダプタに針金などの金属を差し込んだりしないでください。
・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。
・落雷のおそれがあるときは、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
・長期間使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠注意

ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。

・周囲温度0～40℃、湿度35～85 %の範囲でご使用ください。
・直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。
・ほこりの多い場所に置かないでください。
・落下させたり衝撃を与えないでください。
・コードの根元部分を無理に曲げないでください。
・重いものを載せないでください。
・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
・布などでくるまないでください。
・電子レンジや高圧容器に入れないでください。

EM chip（USIMカード）の取り扱いについて

EM chip を本機へ取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際には過剰な力を加えますと故障の原因にもなりますのでご注意ください。

注意

EM chip のIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触は避けてください。

分解や改造はしないでください。データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねます。

火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用および放置しないでください。溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

本機を使用中、EM chip 自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありませんのでそのままご使用ください。

EM chip は当社が指定した機器にてご使用ください。指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねます。

落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。

低温･高温･多湿･ほこりの多いところでの保管は避けてください。故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器にEM chip を入れないでください。溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

小児が使用する際に、保護者が使用方法を間違えていないか確認し、正しい取り扱い方法を教えてください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。

小児や乳幼児が誤ってEM chip を飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chip は小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。

その他、本来の用途とかけ離れた方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

USBケーブルの取り扱いについて

分解、改造しないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにはご注意ください。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

故障や火災の原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

故障や火災の原因となります。

禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

USBケーブルは、対応機種以外にはご使用にならないでください。

指定の機器以外のものを接続した場合、破損の原因となります。

指示

小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。
	USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。 コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。
	USBケーブルのコードの上に重いものを載せたりしないでください。感電、火災の原因となります。

付属CD-ROMの取り扱いについて

	付属のCD-ROM は、一般オーディオ用のCDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。再生音によって耳を痛めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

ご使用上のお願い

共通

●本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
●次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。
- 温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。

●落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。
- 落としたり、重いものの下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。

●イヤホンマイクをご使用中、音量が大きすぎると音が外にもれることがあります。
- 周囲の方の迷惑にならないようにご注意ください。

●汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。また、洗濯機で洗わないでください。

●湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。
- 衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。

●無理な力がかかるような場所に置かないでください。
●荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
●一般の電話機やテレビ·ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

本体

●使用中に本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。
- そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがありますのでご注意ください。

●お客さまご自身で本機に登録された情報内容は､別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします｡万が一､登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても､当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま､椅子などに座らないでください。またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

●本体を直射日光の当たる所に放置しないでください。
- 変形、変色を起こす場合があります。

●持ち運ぶときや使用しないときは必ずキーボードを閉じて、付属のケース等に入れて保管してください。
- ケース等に入れずに持ち運ぶと、画面が割れたり傷ついたりすることがあります。

●本体の上に書類などを載せないでください。
- 誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。

●突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
- 入れ方や取り扱い方（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。

●本体に強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。

●キーボードを閉じるときは、指などを挟まないようにご注意ください

●電池カバーを取り外した際は、カメラのレンズを傷つけないようご注意ください。

電池パック

●電池パックは消耗品です。使用状況などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
●電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。
●直射日光が当たらず、風通しが良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本機または充電器から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
●電池パックの角はとがっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。

ACアダプタ

●充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありませんので、そのままご使用ください。
●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。

EM chip（USIM カード）

●IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
●お客さまご自身でEM chip に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●EM chip を本機に取り付けるときや取り外しのときに注意してください。必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chip の破損の原因となります。
●IC 部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。故障の原因となります。
●使用中、EM chip が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありませんのでそのままご使用ください。

カメラ

● カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
● 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
● お客さまが本機を利用して公衆に迷惑をかける不良行為等を行う場合、法令、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。
● 販売されている書類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

ミニUSB 端子

● ミニUSB端子にゴミやほこり・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記録内容の消失の原因となります。

液晶表示

● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
● 画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

ハンドストラップ

● ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っ張るなど、ストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

公衆の場で使用するとき

● テレビ、ラジオ、携帯電話機など電磁波が発生するものの近くで使用しないでください。お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

免責事項

- 火災および地震などの災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

著作権に関するお願い

- お客さまが本機を利用して撮影したり、インターネットのWebサイトからダウンロードして取得した文章や画像、音楽、ソフトウェアといった第三者が著作権を有するコンテンツについては、著作権法上認められている私的使用目的の複製や引用を除き、著作権者に無断で複製や改変、公衆への頒布を行うことは禁止されています。
- 私的使用目的であっても、実演や興行、展示物の中には、撮影や録音を制限している場合があるのでご注意ください。また、お客さまが本機を利用して当人の同意なしに肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を当人の同意なしにインターネット上など公衆で視聴できる状態にすることは、肖像権を侵害するおそれがあります。
- 本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることについても同様です。

商標について

- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth® SIG, INCの登録商標で、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Mobile®、Windows Vista®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™およびInternet Explorerのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- Adobe®、Reader®、Flash®は、米国Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- NAVITIMEは、株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  Windows®XPは、Microsoft® Windows® XP Professional、またはMicrosoft® Windows® XP Homeの略称です。Windows Vista®は、Microsoft® Windows Vista® Ultimate、Microsoft® Windows Vista® Business、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® Home Basicの略称です。
- その他、本文中に記載されている会社名、商品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。

BluetoothおよびワイヤレスLANに関するご注意

本機の使用周波数帯は、電子レンジなどの家電製品、産業・科学・医療用機器、工場の製造ラインなどで使用される免許が必要な移動体識別構内無線局、免許を必要としない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」）が利用しています。

1. 本機を使用する前に、その周囲で「他の無線局」が利用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合、直ちに使用場所を変更するか、電源を切るなど電波干渉を解消するように対処してください。

■周波数帯域について

BluetoothおよびワイヤレスLAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機の本体ラベルに以下の表記で記載されています。

2.4FH1/DS4/OF4
■■■

2.4：　周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DSSS、OF-DMであることを示します。

1：　想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：　想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■：　2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

■本機のBluetooth通信機能には、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetoothによる通信を行うときは十分ご注意ください。

■Bluetoothを使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本機のBluetooth機能のバージョンとプロファイルは以下のとおりです。

対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.0＋EDR準拠※1
出力	Bluetooth標準規格 Power Class2
対応プロファイル※2	GAP （Generic Access Profile） GOEP （Generic Object Exchange Profile） HFP （Hands-Free Profile） HSP （Headset Profile） HID （Human Interface Device Profile） OPP （Object Push Profile） PAN （Personal Area Network Profile） A2DP （Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP （Audio/Video Remote Control Profile） FTP （File Transfer Profile） PBAP （Phone Book Access Profile）

※1　本機を含めすべての Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGの規定に基づいた適合試験によってBluetooth標準規格の認証を取得していますが、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2　Bluetoothの通信手順 (プロトコル) を製品の特性ごとに標準化したものです。

■良好な状態で接続できるように、以下の点にご注意ください。

・他の Bluetooth機器との接続は、見通し距離約 10m以内で行ってください。本機と他の Bluetooth機器との間に障害物があると、接続距離は短くなります。また、ご使用の環境 (壁や家具など) や建物の構造によっても接続距離は短くなります。
特に、鉄筋コンクリート製の建物では、間に鉄筋が入った壁があると、上下の階や隣接する部屋同士でも接続できないことがあります。したがいまして上記接続距離を保証するものではないことをご了承ください。

・電子レンジ・AV 機器・OA 機器、デジタルコードレス電話機・ファックス、およびその他の電気製品からは2m以上離して接続してください。特に電子レンジによる影響を受けやすいため、必ず3m以上離してください。近くでこのような機器に電源が入っていると、正常に接続できなかったり、テレビやラジオに雑音や受信障害が発生する場合があります。特にUHFや衛星放送の特定のチャンネルでは、テレビが乱れることがあります。

・放送局や無線機など強い電波を発するものが近くにあり、接続が困難なときは、接続先の Bluetooth機器の場所を移動してください。強い電波が周囲にあるときは、正常に接続できないことがあります。

■ワイヤレスLAN に関するお願い

電気製品・AV機器・OA機器といった磁気や電磁波を発している機器の近くでは使用しないでください。

・磁気や電磁波の影響によって通信状態が不安定になったり、接続できなくなることがあります。特に電子レンジを使用しているときは、影響を受けやすくなります。
・テレビやラジオが近くにあると、これらの機器に雑音や受信障害が発生する場合があります。
・周囲で複数のワイヤレスLANアクセスポイントが同じチャンネルを使用していると、正しく検索されない場合があります。

■ワイヤレスLAN と Bluetooth との電波干渉について

Bluetooth 機器とワイヤレス LAN（IEEE802.11b/g）は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。このため、ワイヤレスLAN機能を搭載した機器の近くで Bluetooth通信を使用すると、電波干渉によって通信速度の低下や雑音が発生したり、接続が困難になる場合があります。以下のような方法で対処してください。

・Bluetoothによる無線通信を行う本機およびBluetooth機器は、ワイヤレスLANと10m以上離してください。
・Bluetoothによる無線通信を行う本機および　Bluetooth機器を、ワイヤレスLANから10m以内で使用する場合、ワイヤレスLAN の電源を切ってください。

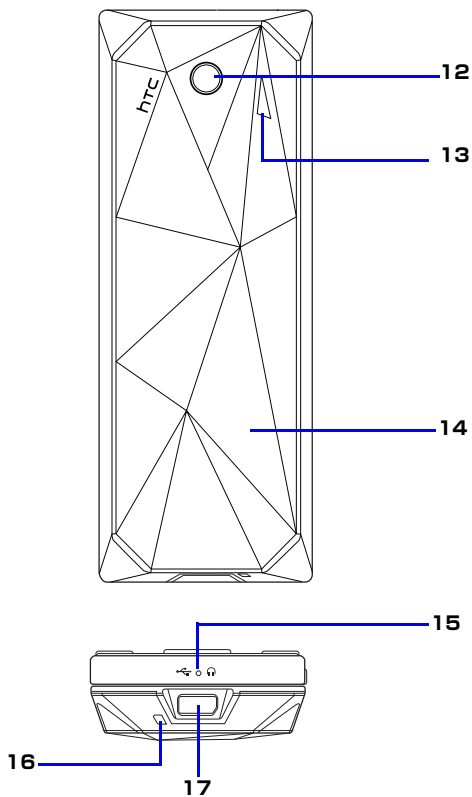
第1章

ご利用になる前に

1.1　本機とアクセサリについて

正面

No.	名称	機能
1	受話口	相手の声がここから聞こえます。
2	光センサー	周囲の明るさを検知し、キーボードのバックライトを自動的にオン／オフします。
3	ディスプレイ	画面に表示されるアイテムを選択したり、文字を入力したりして本機を操作します。
4	左右ソフトキー	画面左下または右下のソフトキーに表示された内容を実行します。
5	通話ボタン	電話をかけたり、受けたりします。 長押しするとボイス短縮ダイヤルを起動します。（P.222） 着信時は点滅します。
6	ホームボタン	現在の画面表示からホーム画面に戻ります。
7	終了ボタン	通話を終了します。 長押しすると端末をロックします。
8	戻るボタン	前画面に戻ります。
9	ナビゲーションコントロール/Enter ボタン	• ナビゲーションコントロールを上下左右に押すと、メニューやプログラムを移動することができます。 • ボタンを押すと選択項目を実行します。 • 充電時や着信中などは、LEDリングが点滅／点灯します。（P.59）
10	QWERTYキーボード	PCのキーボードと似た配列になっています。 電話番号や文字を入力します。
11	ダイヤルキー	電話番号や文字を入力します。

背面

No.	名称	機能
12	カメラ	写真やビデオクリップを撮影するためのカメラです。
13	スピーカー	スピーカーフォンの音声や楽曲の再生音を聞くことができます。
14	電池カバー	電池パックの取り付けや取り外しができます。
15	送話口	自分の声をここから伝えます。
16	ストラップ取付穴	ストラップを取り付けます。
17	ミニUSB端子	同梱のACアダプタやUSBケーブル、イヤホンマイクを接続します。

ストラップを取り付ける

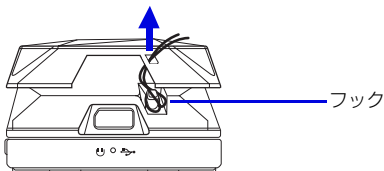
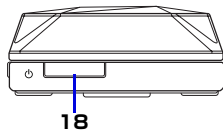
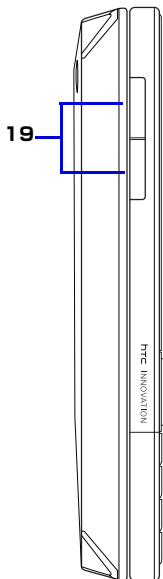
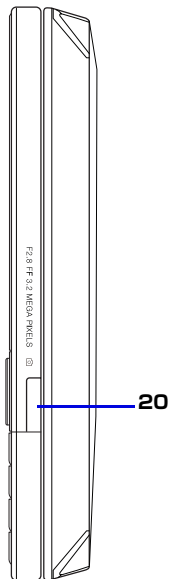
電池カバーを外して、本体下側面にあるストラップ取付穴にストラップを通します。フックにストラップのひもを掛けて少し引っ張り、ストラップが抜けないことを確認してから電池カバーを取り付けます。

上側面

左側面

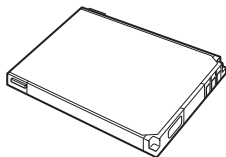
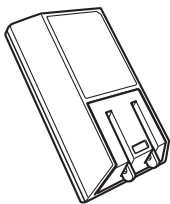
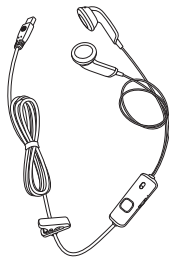
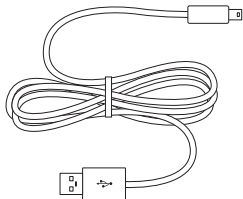
19

右側面

20

No.	名称	機能
18	電源ボタン	短く押すと、クイックリスト（P.58）が表示され、タスクマネージャやComm Managerなどを起動したり、プロファイルの変更を行うことができます。 このボタンを５秒以上長押しすると、本機の電源を完全に切ります。通話を含むすべての機能は使用できなくなります。
19	音量ボタン	スピーカー音量や受話音量を調節します。
20	カメラボタン	長押しすると、カメラを起動します。カメラ画面では、写真やビデオクリップを撮影するシャッターボタンになります。

同梱物一覧

● S22HT本体

● 電池パック　PBS23HTZ10

● ACアダプタ　PCS21HTZ10

● イヤホンマイク　PES11HTZ10

● USBケーブル　PGS21HTZ10

● 取扱説明書
● 本体保証書
● ACアダプタ保証書
● お使いになる前にディスク（CD-ROM）
● キャリングケース（試供品）

1.2　EM chip（USIMカード）について

EM chipは電話番号やお客さま情報が入ったICカードです。EM chip対応の機器に取り付けて使用します。EM chipが取り付けられていないときは、通話およびパケット通信（HSDPA通信）が利用できません。

- ●EM chipについて詳しくは、EM chipの台紙に記載されている取扱説明をご覧ください。
- ●EM chipの取り付け、および取り外したときのご注意については、EM chipの台紙に記載されている取扱説明をご覧ください。
- ●他社のICカードリーダーなどに、EM chipを挿入して故障したときは、お客さまご自身の責任となり当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ●お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- ●EM chipにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

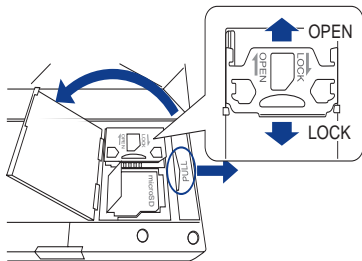
S22HTを落としたり、強い衝撃を与えたとき

EM chipを正しく認識しなくなることがありますので、ご注意ください。

EM chipについてのその他ご注意

- ●EM chipは、当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- ●EM chipの所有権は当社に帰属します。
- ●紛失、盗難時などEM chipの再発行は有償となります。また解約時は当社にご返却ください。
- ●EM chipの仕様、性能は予告なしに変更となる場合があります。
- ●お客さま自身でEM chipに登録された情報内容等は、メモなどに控えておいてください。万が一、登録された内容が消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●EM chipや本機（EM chip装着済）を紛失・盗難された場合は必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（P.277）までご連絡ください。

EM chip（USIMカード）を取り付ける

1. 本体の電源を切ります。
2. QWERTYキーボードをスライドさせます。
3. キーボード裏面のSIMカードロックの“PULL”部分をスライドし、SIMカードロックのカバーを開けます。

4. SIMカードホルダーを“OPEN”の方向にスライドして持ち上げます。
5. EM chipのIC部分を下にして、下記のイラストのように切れ込みが右になるように、EM chipを奥までホルダーに差し込みます。

6. 持ち上げていたSIMカードホルダーを元に戻して、“LOCK”の方向にスライドします。

7. SIMカードロックのカバーを閉めます。

注意

- SIMカードロックをしないと本機を使用することはできません。ロックを解除した状態でも電源は入りますが、起動後10秒以内にシャットダウンします。

ヒント

- microSDカードスロットはEM chipの下にあるため、EM chipを取り付ける前にmicroSDカードを取り付けてください。（P.49）

EM chip （USIM カード）を取り外す

SIM カードホルダーを“OPEN”の方向にスライドして持ち上げ、EM chip をホルダーからゆっくり引き抜きます。

1.3　電池パックについて

電池パックを取り付けたり、取り外したりする際は、必ず本機の電源をお切りください。
本機は充電式リチウムイオン電池を使用しています。指定の電池パックおよびアクセサリのみをご利用ください。電池の消費は本機の使い方により大きく左右されます。電波の強度、使用環境の温度、本機の設定、アクセサリ品や周辺機器の接続状況、音声、データ、その他のプログラムの使用状況などにより電池の消費量は異なります。

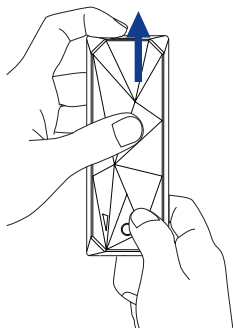
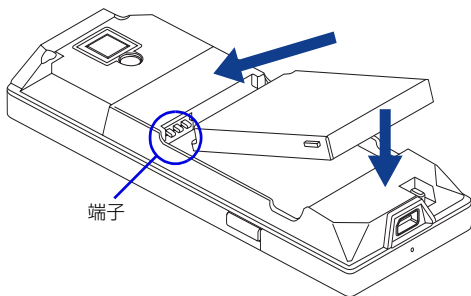
電池の持続時間の目安：

●連続待受時間：約260時間
●連続通話時間：約345分

危険

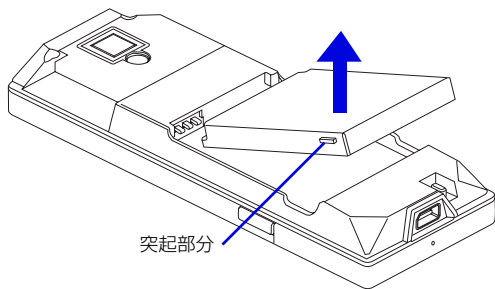
• 火災ややけどを防ぐため、次のことにご注意ください。
  ・電池パックを分解・改造・破壊しないでください。
  ・釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、火や水の中へは投げ込まないでください。
  ・60℃ 以上の場所に放置しないでください。
  ・交換時は、本機専用の電池パックをご使用ください。
  ・使用済み電池パックは、お住まいの地域の規定に従って廃棄してください。
  ・指定の機器のみで使用してください。
  ・専用の充電器以外では充電しないでください。

電池パックを取り付ける

1. 本体をカメラが下になるように持って電池カバーの中央を押し、上方向にスライドして取り外します。

2. 電池パック左下の端子と本体の端子を合わせてから、電池パックの下端を押して本体に取り付けます。

電池パックを取り外す

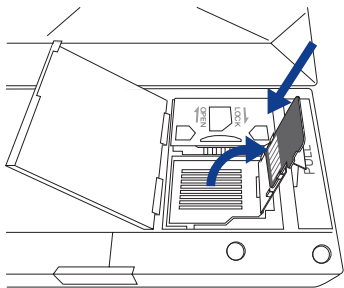
1. 本体の電源を切ります。

2. 電池カバーを取り外します。

3. 電池パック右側にある突起部分につめなどをかけ、電池パックを持ち上げて本体から外します。

1.4 microSDカードを取り付ける

SIMカードホルダー下にあるmicroSD カードスロットにmicroSD カードを挿入すると、画像や動画、音楽ファイルなどを保存することができます。microSD カードは別途お買い求めください。

microSD カードを挿入する

1. 本体の電源を切ります。
2. QWERTYキーボードをスライドさせます。
3. キーボード裏面のSIMカードロックの“PULL”部分をスライドし、カバーを開けます。
4. SIMカードホルダーを“OPEN”の方向にスライドして持ち上げ、EM chipをホルダーからからゆっくり引き抜きます。
5. microSDカードホルダーのPULLタブを持ち上げます。
6. 端子面を下にしてmicroSDカードをホルダーへ挿入します。

7. PULLタブがmicroSDカードホルダーの上に出るようにしてホルダーを閉じます。
8. EM chipを元通り取り付けて、SIMカードロックのカバーを閉めます。

1.5 起動する

EM chip（USIMカード）、電池パックの取り付けと充電が完了したら、電源を入れて本体を起動します。

電池パックを充電する

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。本機をご使用になる前に、電池パックを充電してください。電池パックは以下の2通りの方法で充電できます。

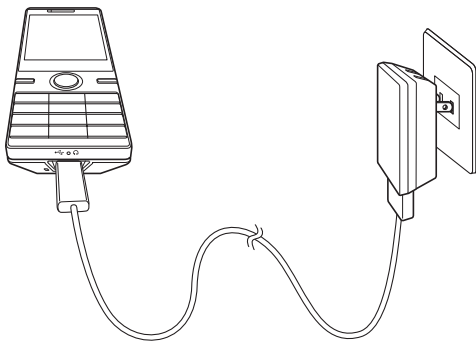
●付属のACアダプタを使って充電する（充電時間：約180分）
●付属のUSBケーブルを使ってPC経由で充電する

注意

- ACアダプタおよびUSBケーブルは、指定のオプション品（P.42）をご使用ください。
- USBケーブルで充電する場合は、ACアダプタで充電するときよりも充電時間が長くなります。
- AC アダプタ本体からプラグ部分を取り外したり取り付けたりすると、プラグ部分の側面に傷がつくことがあります。

付属のACアダプタを使って充電する

1. USBケーブルで本機とACアダプタを接続し、ACアダプタをAC100Vコンセントに差し込みます。

充電中は、ナビゲーションコントロールの周囲のLEDリングがゆっくり点滅し、充電中アイコン（ ）がホーム画面のタイトルバーに表示されます。充電が完了すると、LEDリングが点灯に変わり、フル充電アイコン（ ）が表示されます。

2. 充電が完了したら、ACアダプタをAC100Vコンセントから抜き、USBケーブルを本機とACアダプタから抜きます。

警告

- 充電中は、本機から電池パックを取り外さないでください。
- 安全のため、充電中に電池パックが熱くなりすぎると、充電が自動的に停止します。

電源を入れる／切る

本機の電源を入れるには、上側面にある電源ボタンを長押しします。
初めて電源を入れたときは、日付と時刻を設定してください。（P.236）
本機の電源を切るには、電源ボタンを長押しします。

ヒント

- 電源ボタンを押して、クイックリストから **[電源オフ]** を選択しても、電源を切ることができます。

1.6　本機の操作方法について

プログラムの起動と終了

本端末にはあらかじめさまざまなプログラムが登録されており、ホーム画面のスタートメニューから起動できます。

●スタートメニューから起動できるプログラムについては、「11.1 プログラムについて」（P.212）をご覧ください。

<例：仕事を起動する場合>

1. 左ソフトキー **[スタート]** ＞ **[すべてを表示]** を押します。
   すべてのプログラム一覧が表示されます。
2. 左ソフトキー **[次へ]** を３回押します。
3. ナビゲーションコントロール（上下左右）で **[仕事]** を選んで、Enterボタンを押します。
   仕事が起動します。

プログラムをショートカットキーで起動する

スタートメニューのプログラムは、対応するそれぞれのキーを押すことで起動することもできます。

■縦表示の場合

■横表示の場合

プログラムを終了する

プログラム表示中に終了ボタンを押すとホーム画面に戻りますが、ほとんどの場合プログラムは終了していません。プログラムを終了するには、タスクマネージャからプログラムを終了する必要があります（P.252）。

ヒント

- プログラムを起動したままでは、プログラム実行用メモリが不足し、動作が遅くなることがあります。

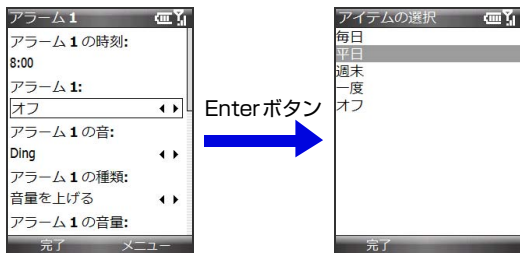
設定値を選択する

複数の項目から設定値を選択できるときは、右端に「◀　▶」が表示されます。操作方法は以下の2通りがあります。

■設定値を順に表示

ナビゲーションボタン（左右）を押すごとに、項目が順に表示されます。

■設定値を一覧で表示

Enterボタンを押すと設定値の一覧が表示されます。

1.7　ホーム画面について

ホーム画面には現在時刻やアラーム、ステータスを示す情報が表示されます。ホーム画面のスライドパネルでアイテムを選択すると、関連するプログラムを開くことができます。

●ホーム画面を表示するにはホームボタン（ ）を押します。

1　不在着信や新着メールなどがあることを表示します。

2　接続状態を表示します。

3　電池パックの状態を表示します。

4　電波の強度を示します。

5　現在の時刻やアラームを表示します。選択すると、日付、時刻、アラームを設定できます。

6　スライドパネル（詳細は、「第４章 スライドパネルの使い方」（P.85）をご覧ください）。

7　スタートメニューを開きます。

8　選択すると、連絡先を起動します。

1.8 ステータスアイコンについて

本機には次のようなステータスアイコンが表示されます。

ディスプレイの上部には本機の状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	新着SMS／EMnetメール、留守番電話の通知		ミュート
	新着電子メールの通知		スピーカーフォン オン
	EMnetメール送信中		HSDPA通信が有効※
	EMnetメール受信中		HSDPA使用中
	新着Windows Live メッセージ		3Gネットワーク有効※
	国際ローミング		3Gネットワーク使用中
	音声通話		GPRS有効
	通話転送		GPRS使用中
	通話保留		EDGE有効
	不在着信		EDGE使用中
	電池パックは十分に充電されています		ダイヤルアップ接続中（GSMのみ）
	電池残量が少なくなっています		伝言メッセージあり
	電池残量がなくなりました	あ	文字入力モード
	電池パック充電中		サウンドオフ
	電池パックが入っていません		バイブモード
	電波の受信レベル		Bluetooth通信機能がオン
	微弱電波状態		ヘッドセット接続中
	電話機能オフ		ワイヤレスネットワーク検出
	EMchip（USIM）が挿入されていません		ワイヤレスネットワークに接続

※ 日本国内での待ち受け時、ご利用中のエリアによっては、HSDPA通信が有効であっても 3G が表示される場合があります（実際に通信が発生したときに H に表示が変わっていればHSDPA通信は有効です）。

1.9　スタートメニュー

ホーム画面で左ソフトキーボタン**[スタート]**を押すと、最近使ったプログラムが表示されます。もう一度左ソフトキーボタン**[すべて表示]**を押すと、すべてのプログラムリストが表示されます。ナビゲーションコントロールでプログラムを選択し、Enter ボタンを押すと、そのプログラムを実行できます。

●キーボードのショートカットキーを使ってプログラムを起動することができます。詳しくは「プログラムをショートカットキーで起動する」(P.53)をご覧ください。

最近使ったプログラム　　プログラムリスト

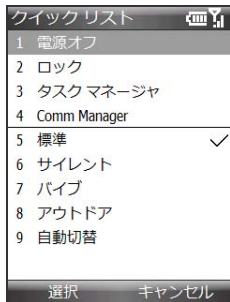
1　最近使ったプログラムが表示されます。

2　本機にインストールされているすべてのプログラムを表示します。

3　次ページを表示します。前のページに戻るには、戻るボタン（ C ）を押します。

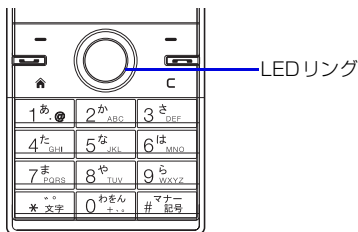
1.10 クイックリストについて

電源ボタンを押すだけで、以下の機能にすばやくアクセスすることができます。

・電源オフ（P.51）
・ロック（P.248）
・タスクマネージャ（P.252）
・Comm Manager（P.223）
・プロファイルの変更（P.235）

ヒント

・クイックリストの機能は変更できません。
・**[ロック]** を選択した場合、「デバイスのロック」（P.249）が設定されているときはデバイスのロックがかかり、それ以外のときはキーロック（P.248）がかかります。

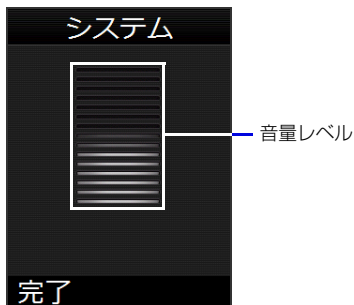
1.11 LEDについて

本機の状態に応じて、ナビゲーションコントロールのLEDリングは以下のように動作します。

本機の状態	LEDリングの動作
充電中	ゆっくり点滅
充電完了	点灯
電池残量が10%以下	約12秒ごとに1回点滅
着信中	速く点滅
新着メール、アラーム通知あり	上下が2回ずつ点滅
不在着信、新着SMS/EMnetメールあり	反時計回りに2回ずつ点滅

1.12 ボリュームの調整

システム音量を調節します。

1. 本体側面の音量ボタンを押します。

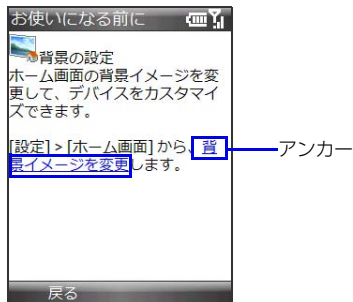
2. 音量ボタン（大または小）を押して、音量レベルを調節します。

ヒント

- 受話音量は、通話中に音量ボタンを押して調整できます。
- システム音量、受話音量以外の音量（着信音量など）を調節するには、「プロファイル」の設定を変更します（P.235）。

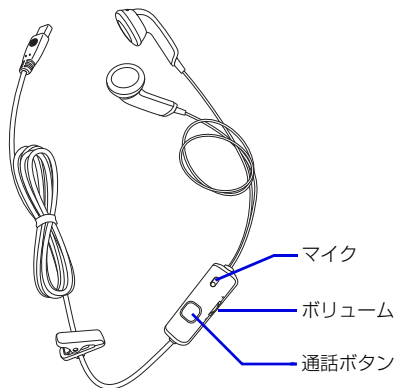
1.13「お使いになる前に」プログラムについて

本機を使用する前に、理解しておいてほしい機能や設定の概要を確認することができます。

1. **[スタート]** > **[お使いになる前に]** を選択します。

2. 確認したい項目を選択します。

説明画面が表示されます。画面のアンカーを選択すると、その項目の設定画面が表示されます。

1.14 イヤホンマイクについて

各部の名称

操作方法

通話	電話に出る：通話ボタンを押します。 電話を切る：通話中に通話ボタンを長押しします。
保留	通話中に通話ボタンを押します。
リダイヤル	通話ボタンをすばやく２回押すと、直前にかけた番号にリダイヤルします。
スピードダイヤル	通話ボタンを長押しすると、音声でダイヤルします。 ※ 事前にボイスタグと電話番号を登録しておく必要があります。(P.222)
音量調節	ボリュームを回して音量を調節します。

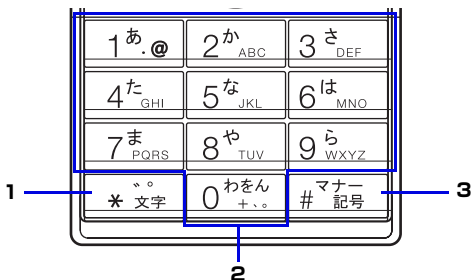
第2章

情報の入力と検索

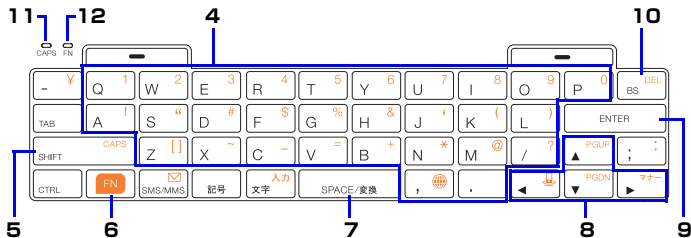
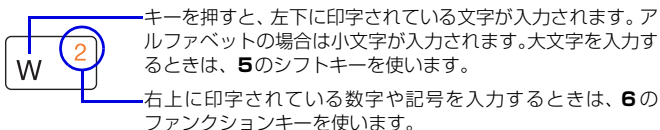
2.1　キーボードについて

本機は、一般的な携帯電話機のダイヤルボタンに似たキー配列のダイヤルキーと、PCの標準キーボードに似た配列のQWERTYキーボードの2種類のキーボードを搭載しています。

ダイヤルキー

ダイヤルキーからは、一般的な携帯電話機のダイヤルボタンのような感覚で文字入力が行えます。

1	＊ ゛゜文字	・入力モードを切り替えます。 ・1秒以上押すと、文字入力メニューを表示します。
2	ダイヤルキー	ボタンに印字されている文字を入力します。
3	# マナー 記号	・記号／顔文字／絵文字の一覧画面を表示します。 ・1秒以上押すと、マナーモード（バイブモード）（P.235）の設定／解除ができます。

QWERTYキーボード

QWERTYキーボードは、本体から引き出して使用します。QWERTYキーボードを引き出すと、画面は自動的に横画面表示に変わります。

4　アルファベットキー／記号キー

キーを押すと、左下に印字されている文字が入力されます。アルファベットの場合は小文字が入力されます。大文字を入力するときは、**5**のシフトキーを使います。

右上に印字されている数字や記号を入力するときは、**6**のファンクションキーを使います。

5　シフトキー

6　ファンクションキー

7　SPACE／変換キー

- 空白を入力します。
- ひらがな入力中は、漢字に変換します。
- **6**のファンクションキーを押しながらこのボタンを押すと次の項目に移動したり半角4文字分の空白を入力したりします（アプリケーションによって動作が異なります）。

8　カーソルキー　カーソルを上下左右に移動させます。

9　Enterキー　項目の選択、値の入力、改行などを行います。

10　バックスペースキー

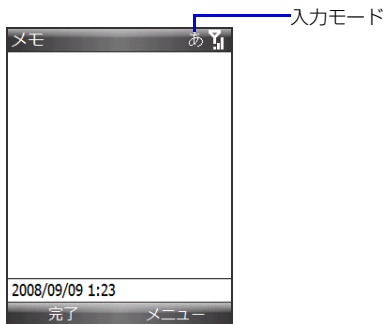
- 直前の文字を削除します。
- 漢字変換中は、元の読み（入力）に戻します。

11　CAPSランプ　英大文字モード中に点灯します。

12　FNランプ　数字／記号モード中に点灯します。

2.2 入力モードを切り替える

1. 文字入力中に [*文字] を押します。

[*文字] を押すたびに、入力モードが順番に切り替わります。

入力モード	説明
あ	漢字ひらがな入力モード
ｶﾅ	半角カタカナ入力モード
ab	半角英字入力モード
12	半角数字入力モード

QWERTYキーボードでの文字入力

■英大文字を入力する

全角／半角英字入力モードで [SHIFT CAPS] を押して文字キーを押します。
連続して英大文字を入力するには、[FN] を押してから [SHIFT CAPS] を押して文字キーを押します。[SHIFT CAPS] を押したまま文字キーを押しても、連続して英大文字を入力することができます。英大文字モード中はCAPSランプが点灯します。
小文字に戻るには [SHIFT CAPS] を押します。

ヒント

- 全角／半角英字入力モードで [SHIFT CAPS] を2回連続して押すと英大文字モードがロックされ、次に [SHIFT CAPS] を押すまで連続して英大文字を入力できます。

2 情報の入力と検索

■「数字／記号入力モード」に切り替える

QWERTYキーボード右上に刻印されている数字や記号を入力するには、FN を押して文字キーを押します。
連続して数字や記号を入力するには、FN を押したまま文字キーを押します。数字／記号モード中はFNランプが点灯します。

ヒント

- FN を２回連続して押すと数字／記号モードがロックされ、次に FN を押すまで数字や記号を連続して入力できます。

2.3　ひらがな／漢字を入力する

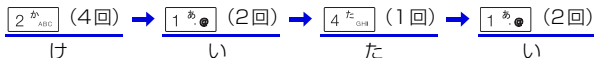
ダイヤルキーで入力する

漢字を入力するには、入力したい文字が表示されるまでダイヤルキーを押してひらがなを入力し、漢字に変換します。

<例：「携帯」と入力する場合>

1. 漢字ひらがな入力モードにします。

2. ダイヤルキーで「けいたい」と入力します。

[2 か ABC]（4回）→ [1 あ .@]（2回）→ [4 た GHI]（1回）→ [1 あ .@]（2回）
け　い　た　い

3. **[変換]**を押します。

・他の変換候補を選ぶ場合は、ナビゲーションボタン（下）を押して変換候補エリアにカーソルを表示し、ナビゲーションボタン（上下左右）で対象の変換候補を反転表示します。カーソルを文字入力欄に戻す場合は、戻るボタンを押します。

4. Enterボタンを押します。

QWERTYキーボードで入力する

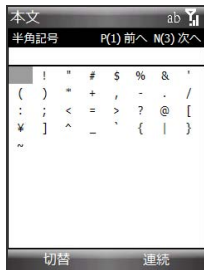
漢字を入力するには、ローマ字でひらがなを入力し、[SPACE/変換]を押して漢字に変換します。文字を確定するにはEnterキーを押します。

2.4　記号／絵文字／顔文字を入力する

登録されている記号／絵文字／顔文字の一覧から選択して入力できます。

1. 文字入力中に [#マナー記号] を押します。

記号／顔文字／絵文字の一覧画面が表示されます。

[切替] または [＊゛゜文字] を押すたびに、「全角記号一覧画面」→「半角記号一覧画面」→「顔文字一覧画面」→「絵文字一覧画面」の順に切り替わります。

2. 入力する記号／絵文字／顔文字を選択します。

[連続]を押すと、連続して入力できます。

ヒント

- QWERTY キーボードの FN を押して 記号 を押しても記号一覧画面を表示できます。

2.5　文字入力メニューを利用する

文字入力メニューを利用して、入力モードを切り替えたり、記号／絵文字／顔文字などを入力したりできます。

1. 文字入力中に [＊ 文字] を１秒以上押します。
文字入力メニューが表示されます。

2. 以下の項目を選択します。
- **漢かな**：漢字ひらがな入力モードになります。
- **カ**：全角カタカナ入力モードになります。
- **ａ**：全角英字入力モードになります。
- **１**：全角数字入力モードになります。
- **！＠＃**：全角記号一覧画面が表示されます。
- **オプション**：以下の項目から選択します。
  - **辞書**：よく使う単語を辞書に登録します。
  - **設定**：予測変換機能のオン／オフを設定します。
  - **バージョン情報**：文字入力のバージョン情報を表示します。
- **絵文字**：絵文字一覧画面が表示されます。
- **ｶﾅ**：半角カタカナ入力モードになります。
- **ab**：半角英字入力モードになります。
- **12**：半角数字入力モードになります。
- **!@#**：半角記号一覧画面が表示されます。
- **顔文字**：顔文字一覧画面が表示されます。

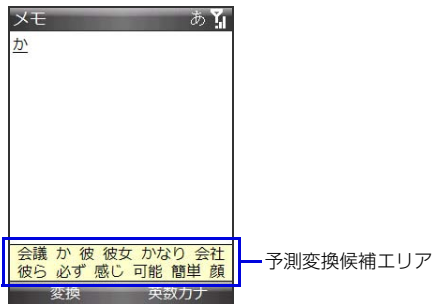
ヒント
- QWERTY　キーボードの [FN] を押して [文字 入力] を押しても文字入力メニューを表示できます。

2.6 予測変換機能を使用する

予測変換機能をオンにしている場合、入力した文字から予測される変換候補が予測変換候補エリアに表示されます。

● 予測変換機能のオン／オフの切り替えについては、「2.5 文字入力メニューを利用する」（P.71）の「オプション」を参照してください。

1. 文字を入力し、ナビゲーションボタン（下）を押します。

予測変換候補エリアにカーソルが表示され、変換候補が選択できるようになります。

・カーソルを文字入力欄に戻す場合は、戻るボタンを押します。

・**[英数カナ]** を押すと、入力した文字に応じた英数およびカタカナの変換候補が表示されます。

・**[変換]** を押すと、入力した文字の変換候補が表示されます。

2. ナビゲーションボタン（上下左右）で変換候補を選択してEnterを押します。

選択した変換候補が入力されます。

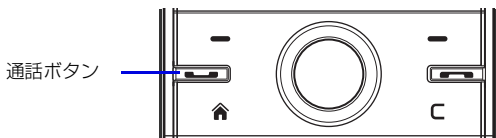
第3章

電話機能の使い方

3.1 電話を使う

本機は、通常の携帯電話と同じように、電話の発信、着信、通話履歴の確認、SMSの送受信などを行うことができます。また、連絡先から直接ダイヤルしたり、電話帳を EM chip（USIMカード）から本機の連絡先にコピーしたりすることもできます。

電話画面

電話画面では通話履歴、スピードダイヤル、電話設定などの機能を使用できます。電話画面は、ホーム画面表示中に通話ボタンを押すと表示されます。

暗証番号 (PIN) の入力

EM chipには、第三者による無断使用を防ぐため、「PINコード」という暗証番号が設定されています。お買い上げ時には、「9999」に設定されています。

1. 本機の電源を入れたときに PIN コードを入力する画面が表示されたら、暗証番号 (PIN) を入力します。
2. **[完了]** を押します。

注意

- PINコードの入力を3 回連続して間違えるとPINロック状態になります。この場合、PINロック解除コードを入力してロックを解除する必要があります。
- 「PINロック解除コード」については、お問い合わせ先（P.277）までご連絡ください。
- PIN ロック解除画面で PIN ロック解除コードと新しい PIN コードを入力すると、PINロックを解除することができます。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えるとロック解除ができなくなります。この場合、有償でEM chip を再発行する必要がありますので、ご了承ください。

電話機能をオン/オフする

航空機内や医療機関の中などで携帯電話の電源を切らなければならない場合があります。

次のいずれかの方法で本機の通信機能をオフにします。

●**[スタート]** ＞ **[Comm Manager]** を選択します。
Comm Manager の画面で **[通話]** を選んでEnterボタンを押し、電話機能をオフにします。電話機能をオンにするには、再度 Comm Manager 画面で **[通話]** を選択します。

●Comm Manager で **[フライト モード]** をオンにします。フライトモードでは、電話機能、Bluetooth を含むすべてのワイヤレス機能が無効となります。電話機能をオンにするには、再度Comm Managerを開いて **[フライト モード]** をオフにします。これで フライトモードがオンになる前の状態に戻ります。

注意

- 医療機関や高精度な電子機器のある場所など、電源を切ったり持ち込みを禁止する指示のある場所ではその指示に従ってください。

3.2 電話をかける

本機では、**電話画面**、**連絡先**、**スピードダイヤル**、**通話履歴**から発信することができます。

電話画面から発信する

1. 通話ボタンを押します。

2. ダイヤルキーから電話番号を入力し、通話ボタンを押します。

3. 電話を切るときは、終了ボタンを押します。

ヒント

- 間違った番号を入力した場合は、戻るボタン を押すと番号が 1 桁ずつ消去されます。戻るボタンを長押しすると、番号全体が消去されます。

連絡先から発信する

ホーム画面で **[連絡先]** を押し、次のいずれかの方法で発信します。

●ナビゲーションコントロールの上下ボタンを使って連絡先を選択し、通話ボタンを押します。

●連絡先で相手を選択し、かけたい電話番号を選んで **[ダイヤル]** を押します。

ヒント

・連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、ナビゲーションコントロールの左右ボタンを使って、発信先を選択することができます。

緊急電話番号へ発信する

●緊急電話番号 （110、119 、118 ）を入力し、通話ボタンを押します。

災害用伝言ダイヤルへの発信

●災害用伝言ダイヤル番号（171）を入力し、通話ボタンを押します。

通話履歴から発信する

1. **[スタート]** > **[通話履歴]** を選択します。
2. 通話履歴のすべての通話を確認することもできますが、**[メニュー]** > **[フィルタ]** から通話履歴を種類別に表示することができます。
3. 連絡先または電話番号を選択し、**[ダイヤル]** を押してください。

スピードダイヤルから発信する

スピードダイヤルは、よくかける連絡先を**1**～**9**の数字キー長押しに割り当てる機能です。たとえば、ある連絡先をスピードダイヤル番号**2**に設定した場合、ホーム画面表示中に数字キーの**2**を長押しするだけで、この連絡先に電話をかけることができます。スピードダイヤルを登録する場合、まず目的の番号を連絡先に保存しておく必要があります。

スピードダイヤルを登録する

1. **[連絡先]** を押します。
2. 連絡先を選択します。スピードダイヤルに追加する番号を選んで**[メニュー]** > **[スピードダイヤルに追加]**を選択します。
3. スピードダイヤル番号やボイスタグを割り当てます。
4. **[完了]** を押します。

注意

- スピードダイヤル番号**1**は留守番電話用に割り当てられています。特に指定しないと、スピードダイヤル番号**2**から順に割り当てられます。すでにスピードダイヤルが設定されている番号に別の電話番号を割り当てると、新しい番号が有効となり、元の電話番号は自動的に上書きされます。

ヒント

- スピードダイヤルを削除するには、**[スタート]** > **[スピードダイヤル]** を選択し、一覧で削除したいスピードダイヤルを選んで**[メニュー]** > **[削除]** を選択します。

SIM マネージャから発信する

SIM マネージャの画面では、EM chip（USIMカード）に保存された連絡先を表示したり、EM chipの連絡先のアイテムを本機の連絡先にコピーしたり、EM chipから通話を発信することができます。

EM chip の連絡先に発信する

1. **[スタート]** > **[アクセサリ]** > **[SIM マネージャ]** を選択します。
   EM chipの内容を表示するまで、しばらくお待ちください。

2. 電話をかける相手を選択し、**[メニュー]** > **[ダイヤル]** を選択します。
   SIMマネージャの詳細については、「6.3 SIM マネージャ」（P.113）をご覧ください。

日本国内から国際電話をかける

「イー・モバイル国際電話」サービスを利用して、日本国内から国際電話をかけることができます。特別な手続きは必要ありません。

1. 通話ボタンを押します。

2. 電話画面で 010→国番号→相手先番号※の順に入力し、通話ボタンを押します。
   ※市外局番が「0」で始まる場合、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国・地域を除く）

ヒント

- イー・モバイル国際電話のサービス詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

3.3 電話を受ける

着信に応答する

●応答する場合は、通話ボタンを押します。
●**[サイレント]**を押すと、着信音の鳴動が止まります。その後で通話ボタンを押して応答できます。
●すぐに応答できない場合は、**[転送]**を押して、あらかじめ指定されている転送先に電話を転送できます。

ヒント
・ご契約時の初期設定では、**[転送]**を押したときの転送先として「留守番電話サービス」が設定されています。(P.246)
・着信時は、かけてきた相手の名前（連絡先に登録されている場合）または電話番号が表示されます。ただし、番号非通知設定の相手からの着信時は「プライベート」と表示されます。

通話を終了する

通話中に終了ボタンを押すと電話を切ることができます。

通話履歴を確認する

不在着信があると、タイトルバーに不在着信アイコン（ ）が表示されます。次のいずれかの方法で不在着信を確認してください。
●ホーム画面で **[不在着信通知]** を選択します。
● **[スタート]** > **[通話履歴]** を選択し、通話履歴一覧から不在着信を確認します。

通話中に他の着信を受ける（別途当社のオプションサービス※への加入が必要です）

※割込通話サービス（P.244）

通話中に他の着信があった場合、この着信を転送するか、今の通話を保留にし、着信に応答することができます。着信に応答した場合、保留中の相手と通話中の相手を切り替えることもできます。

1. 通話中に別の着信に応答するには、**[応答]** を押します。最初の通話は保留になります。

2. 応答した通話を終了して最初の通話に戻るには、終了ボタンを押します。

2つの通話を切り替える(別途当社のオプションサービス※への加入が必要です)

※割込通話サービス（P.244）

●通話中に **[メニュー]** > **[切り替え]** を選択します。

スピーカーフォンをオン/オフにする

スピーカーフォンを利用すると、ハンズフリーで通話したり、他の人に通話内容を聞かせることができます。

●通話中にナビゲーションコントロールの上ボタンを押します。スピーカーフォンがオンになると、スピーカーフォンアイコンが から に変わります。

●スピーカーフォンをオフにするには、もう一度 ナビゲーションコントロールの上ボタンを押してください。

警告

・スピーカーフォンがオンになっているときには、本機を耳に当てないでください。

ヒント

・**[メニュー]** > **[スピーカーフォンをオン]** ／ **[スピーカーフォンをオフ]** を選択しても、スピーカーフォンのオン／オフを切り替えることができます。

通話をミュートする

通話中にマイクをオフにし、相手の声はそのままにして、自分の声が相手に聞こえないようにすることができます。

●通話中にナビゲーションコントロールの下ボタンを押します。マイクがオフになると、ミュートアイコンが から に変わります。

●マイクをオンにするには、もう一度ナビゲーションコントロールの下ボタンを押してください。

ヒント

・**[メニュー]** > **[ミュート]** ／ **[ミュート解除]** を選択しても、マイクのオン／オフを切り替えることができます。

3.4 スマートダイヤル

スマートダイヤル機能により、電話番号や相手の名前を入力していくにつれて、自動的にEM chipや連絡先、通話履歴の中の該当する候補が絞り込まれていきます。表示された候補の中から選択してダイヤルできます。

スマートダイヤルの使用に関するヒント

スマートダイヤル機能は、入力された順に該当する電話番号や連絡先を検索します。すばやく電話番号や連絡先を見つけるには、以下のヒントを参考にしてください。

電話番号を見つけるには

電話番号を順番に入力していきます。該当する電話番号が表示されたら、選択してダイヤルします。

連絡先の名前を見つけるには

ダイヤルキーから名や姓の最初のアルファベットを入力すると、該当する連絡先の名前を検索します（名前に含まれるスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字も検索します）。たとえば、ダイヤルキーの**2**を押した場合、「a」、「b」、「c」で始まる名や姓が検出されます。
さらに絞り込みたい場合は、次のアルファベットを選択します。

スマートダイヤルを使った通話発信やSMS送信

1. 通話ボタンを押して電話画面を表示します。

2. 最初の何桁かの数字または文字を入力します。
該当する連絡先や電話番号がスマートダイヤルパネルに表示されます。

3. ナビゲーションコントロールの上下ボタンを使って連絡先または電話番号を選んで通話ボタンを押します。
・ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、その連絡先に登録されている電話番号が順番に表示されます。電話番号を選択して通話発信したり、SMSを送信したりできます。

3.5　海外で電話をかける

本機を海外で使用中に電話をかけるときは、以下の操作を行います。

●滞在中の国や地域によっては、あらかじめ接続先のネットワークを設定する必要があります。詳細については、「国際ローミング時のネットワーク設定」（P.247）をご覧ください。

滞在国から日本や滞在国以外に電話をかける

1. 通話ボタンを押します。

2. 電話画面で［0 わをん +、。］を１秒以上押して「+」を入力します。

3. 国番号→相手先番号※の順に入力し、通話ボタンを押します。
※市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国・地域を除く）

滞在国内の一般電話／携帯電話に電話をかける

日本国内にいるときと同様に、相手の電話番号をダイヤルするだけで電話をかけられます。国番号の入力や、市外局番の先頭の「0」を除いたりする必要はありません。

1. 通話ボタンを押します。

2. 電話画面で相手先番号を入力し、通話ボタンを押します。

ヒント

• 国際ローミングのサービス詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

第4章

スライドパネルの使い方

4.1　スライドパネルについて

スライドパネルは、ホーム画面上に配置した「パネル」にさまざまな情報を表示し、ナビゲーションコントロールの操作だけで手軽に設定変更を行えるようにしたインターフェースです。
本機は、次の９種類のスライドパネルを搭載しています。

●Windowsシンプル
●Windows標準
●大きなフォント
●Windows基本
●Windows Live標準
●スライドパネル
●スライドパネル（マルチメディア）
●HTC Home
●イー・モバイル

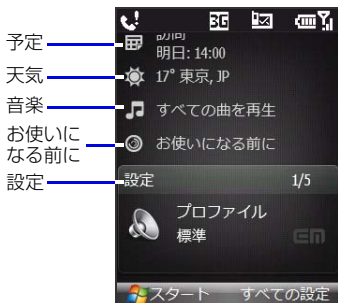
ヒント

- 表示されるスライドパネルの種類やデザインは、ホーム画面設定（P.236）の**［ホーム画面のレイアウト］**で切り替えることができます。お買い上げ時のスライドパネルは、**［イー・モバイル］**に設定されています。

4.2　スライドパネルの使い方

標準で設定されているスライドパネル（「イー・モバイル」）には、以下のパネルごとに情報が整理されており、ナビゲーションコントロールの上下ボタンで切り替えて表示できます。

・**ホーム**：現在の日付と時刻
・**通知**：不在着信の有無、新着ボイスメールの有無
・**SMS/EMnetメール**：新着メッセージ（SMS／EMnetメール）の有無
・**電子メール**：新着電子メール／Outlookメールの有無
・**Internet Explorer**：**お気に入り**に登録されているサイトに接続
・**予定**：近日の予定
・**天気**：現在の天気情報
・**音楽**：簡易音楽再生
・**お使いになる前に**：**お使いになる前に**の各設定項目を起動
・**設定**：プロファイル、Comm Managerなどの設定機能を起動

※ マルチメディア用スライドパネルには、上記に加えて**マイ フォト**（静止画簡易再生）が追加されます。

ホーム

ホームでは、日時やアラーム設定を確認できます。

日時とアラーム設定を表示します。選択すると、現在時刻やアラームを設定できます。（P.236）

通知

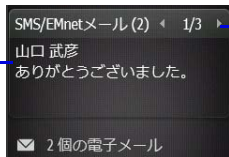
通知では、不在着信と新着ボイスメールの確認をすることができます。

不在着信履歴の未確認件数が表示されます。Enterボタンを押すと、不在着信履歴が表示されます。（P.80）

ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、不在着信／ボイスメールの通知表示が切り替わります。

SMS/EMnetメール

SMS/EMnetメールでは、SMS、EMnetメール作成や新着SMS、EMnetメールの確認をすることができます。

新着SMS、EMnetメールの送信者と件名が表示されます。Enterボタンを押すと、メール本文が表示されます。（P.132）

- ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、新着SMS、EMnetメールが切り替わります。
- 「新規メッセージ」が表示されているときにEnterボタンを押すと、SMS、EMnetメールを作成できます。

電子メール

電子メールでは、電子メール作成や新着電子メールの確認をすることができます。

新着電子メールの送信者と件名が表示されます。Enterボタンを押すと、メール本文が表示されます。（P.139）

- ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、新着メールが切り替わります。
- 「新しい電子メール」が表示されているときにEnterボタンを押すと、電子メールを作成できます。

Internet Explorer

Internet Explorerでは、お気に入りに登録したモバイル／パソコン向けサイトを選択して閲覧できます。

Enterボタンを押すと、表示しているお気に入りのサイトを表示できます。

選択すると、お気に入り一覧が起動します。（P.158）

予定

予定では、近日の予定を確認することができます。

近日の予定が表示されます。Enter ボタンを押すと、予定の詳細が表示されます。（P.115）

- ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、予定が切り替わります。
- 「新しい予定」が表示されているときにEnterボタンを押すと、予定を登録できます。

天気

天気では、今日の天気情報が表示されます。また、４ 日後までの天気情報を表示することができます。

天気情報を表示する都市を登録する

1. **天気**で **[都市を変更]** を押します。

2. 都市名を選択します。

・入力欄に国名や都市名を直接入力して検索するか、一覧から都市名を選んで **[選択]** を押します。

天気画面に戻り、選択した都市の天気情報が表示されます。

注意

- 天気情報の取得には、通信接続が必要です（パケット通信料が発生する場合があります）。

天気情報の見かた

お住まいの地域を選択すると、インターネットに接続して自動的に今日と４日後までの天気情報をダウンロードします。天気画面には、現在の気温、最高／最低気温と天候が表示されます。

Enterボタンを押すと、４日後までの天気情報が表示されます。

今日の天気

[完了]を押すと、本日の天気に戻ります。

４日後までの天気

天気情報データの更新方法を設定する

1. 天気予報画面で **[メニュー]** > **[オプション]** を選択します。

2. 以下のいずれかの項目にチェックを入れます。

・**[天気情報を自動ダウンロード]** にチェックを入れると、天気画面を開くたびに天気情報の更新状況を確認できます。最後に更新してから３時間以上経過している場合やActiveSync起動中は、天気情報を更新します。手動で天気情報を更新する場合は、このチェックを外してください。

・海外でのローミング中に天気情報を自動的にダウンロードしたいときのみ**[ローミング中にダウンロード]**にチェックを入れます。その場合、別途、国際ローミングを行っている事業者ごとに設定された所定の通信料が発生します。

音楽

音楽では、マイデバイスの「MUSIC」、「My Documents」フォルダおよびmicroSDカードに保存されている楽曲ファイルをWindows Media Player Mobileで再生できます。

楽曲を再生する

Enterボタンを押すと、すべての楽曲の再生ができます。

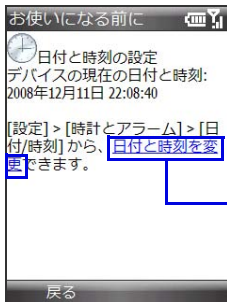
選択すると、ライブラリが起動します。(P.202)

お使いになる前に

本機を使用する前に、理解しておいてほしい機能や設定の概要を確認することができます。

Enter ボタンを押すと、その機能や設定の概要が表示されます。

ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、項目が切り替わります。

選択すると、項目一覧画面が表示されます。

アンカーを選択すると、その項目の設定画面が表示されます。

4

スライドパネルの使い方

設定

設定では、以下の機能をすばやく起動／設定することができます。

- プロファイル（P.235）
- Comm Manager（P.223）
- 着信音
- 背景イメージ
- タスクマネージャ（P.252）

Enter ボタンを押すと、その項目の設定画面が表示されます。

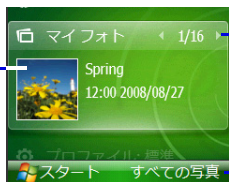
ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、項目が切り替わります。

選択すると、本機で設定できる項目一覧が表示されます。

マイ フォト

マイ フォトでは、カメラアルバム内の画像を表示することができます。

※ **マイ フォト**は、ホーム画面設定（P.236）の **[ホーム画面のレイアウト]** を「スライドパネル（マルチメディア）」に変更したときに利用できます。

カメラアルバム内の画像が表示されます。Enter ボタンを押すと、画像を拡大表示できます。

ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、画像が切り替わります。

選択すると、画像とビデオが起動します。

ヒント

- カメラアルバムでの詳しい操作については、「10.2 カメラアルバム」（P.187）をご覧ください。

第5章

情報を PC と同期する

5.1　ActiveSync について

本機をPCと同期することで、PCの情報を手軽に持ち歩くことができます。PCと本機の間で同期可能な情報には次のようなものがあります。

●**Microsoft Outlook** のデータ（メール、予定表、仕事、クイックメモ）
●**メディアファイル**（写真、音楽、ビデオなど）
●**お気に入り**　（IEの「お気に入り」に登録されているリンク）
●**ファイル**　（Word、Excel、PowerPoint、PDFファイルなど）

同期を実行するには、PCに同期ソフトをインストールする必要があります。詳しくは、Windows Vista をお使いの方は「5.2 Windows Mobileデバイスセンターを設定する(Windows Vista)」（P.97）を、Windows XP をお使いの方は「5.3 Microsoft ActiveSync を設定する(Windows XP)」（P.100）をご覧ください。

5

情報をPCと同期する

同期の方法

付属の「お使いになる前にディスク」からPCに同期ソフトをインストールした後、本機をPCに接続し、次の方法で同期を実行することができます。

●付属の USB ケーブルを使って同期を行います。USBケーブルを本機とPCに接続すると、自動的に同期が開始されます。
●Bluetooth を使って接続し、同期を行います。この場合、まず本機とPCとの間で Bluetooth パートナーシップを確立する必要があります。Bluetooth パートナーシップに関する詳細は、「9.2　Bluetooth パートナーシップ」（P.171）をご覧ください。Bluetooth による同期方法については、「5.5 Bluetooth を使って同期する」（P.105）をご覧ください。

本機とPCの情報を最新の状態に保つため、できるだけ頻繁に同期を行うことをお勧めします。

5.2 Windows Mobileデバイスセンターを設定する(Windows Vista)

Microsoft Windows Mobile デバイスセンターは、Windows Vista に新しく搭載された Microsoft ActiveSync に代わる機能です。

注意

- Windows Vista には、すでに Windows Mobile デバイスセンターがインストールされているバージョンもあります。ご利用の Windows Vista に Windows Mobile デバイスセンターがインストールされていない場合は、本機付属の「お使いになる前にディスク」からインストールしてください。

ヒント

- 「お使いになる前にディスク」からWindows Mobileデバイスセンターをインストールするには、Adobe Flash Player 8以上が必要です。

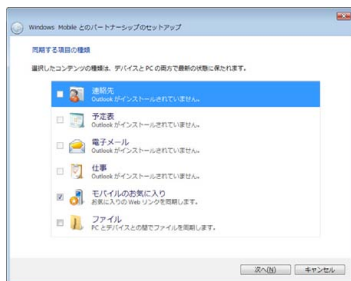
同期の設定

本機をPCに接続し、Windows Mobileデバイスセンターを初めて起動したときは、本機とのパートナーシップを作成するように要求されます。以下の手順で作成してください。

1. 本機を PC に接続します。Windows Mobile デバイスセンターが自動的に設定を開始します。
2. Windows Mobile デバイスセンターの初期画面で **[デバイスのセットアップ]** をクリックします。

注意

- Outlook 情報を同期せずにメディアファイルの転送、アップデートの確認、デバイス内の検索などを行う場合は、**［デバイスをセットアップしないで接続］**を選択してください。

3. 同期する情報の種類を選択し、**［次へ］**をクリックします。

4. デバイス名を入力し、**［セットアップ］**をクリックします。
セットアップウィザードが完了すると、Windows Mobile デバイスセンターは自動的にデバイスを同期します。同期が完了すると、メールやその他の情報が本機に表示されます。

Windows Mobile デバイスセンターを使う

Windows Mobile デバイスセンターを起動するには、Windows Vista で **[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[Windows Mobile デバイスセンター]** をクリックします。

Windows Mobile デバイスセンターでは次の操作を行うことができます。

● **[モバイルデバイスの設定]** をクリックし、同期設定を確認したり、変更したりできます。

● **[画像、音楽、およびビデオ]** > **[新しい画像/ビデオクリップをインポートできます]** をクリックすると、ウィザードが起動し、Windows VistaPC のフォトギャラリーから本機に写真をコピーすることができます。

● **[画像、音楽、およびビデオ]** > **[詳細]** > **[Windows Media Player からデバイスにメディアを追加する]** をクリックすると、Windows Media Player を使って音楽やビデオを同期することができます。詳しくは、「10.4 Windows Media Player Mobile を使う」(P.194)をご覧ください。

● **[ファイル管理]** > **[デバイスのコンテンツの参照]** をクリックし、本機のドキュメントやファイルを表示します。

ヒント

• 詳しくは、Windows Mobile デバイスセンターのヘルプをご覧ください。

5.3 Microsoft ActiveSync を設定する(Windows XP)

本機付属の「お使いになる前にディスク」には Microsoft ActiveSync 4.5以降が含まれています。以下の手順で ActiveSync 4.5 以降を Windows XP にインストールし、設定してください。

ヒント

- 「お使いになる前にディスク」からActiveSyncをインストールするには、Adobe Flash Player 8以上が必要です。
- ActiveSyncはWindows 2000 SP4などにもインストールできます。対応するWindowsについては、「ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターの動作環境」（P.263）をご覧ください。

5
情報をＰＣと同期する

ActiveSync をインストールする

1. 「お使いになる前にディスク」を PC のディスクドライブにセットします。

2. **[セットアップとインストール]** をクリックします。

3. **[ActiveSync]** のチェックボックスを選択し、**[インストール]** をクリックします。

4. ライセンス規約を読み、**[同意する]** をクリックします。

5. インストールが終わったら、**[終了]** をクリックします。

6. 「Windows Mobileデバイス - はじめに」の画面で **[閉じる]** をクリックします。

同期の設定

以下の手順で同期パートナーシップを設定してください。

1. 本機を PC に接続します。同期セットアップウィザードが自動的に起動し、同期パートナーシップの作成をガイドします。**[次へ]** をクリックして進みます。

2. 同期する情報の種類を選択し、**[次へ]** をクリックします。

3. 必要に応じて、**デバイスがコンピュータに接続されている間の無線データ接続を許可します**というチェックボックスにチェックを入れます。
[次へ] をクリックします。

4. **[完了]** をクリックします。
ウィザードが終了すると、ActiveSync が自動的に本機を同期します。同期が完了すると、メールやその他の情報が本機に表示されます。

5.4 PCと同期する

USB ケーブルまたは Bluetooth 接続を通して本機を PC に接続します。

同期の開始と停止

本機または PC から手動で同期を行うこともできます。

本機から同期する

1. **[スタート]** > **[ActiveSync]** を選択します。
2. **[同期]** を押します。
   完了する前に同期を中断するには、**[中止]** を選択します。

ヒント

- PCとのパートナーシップを完全に削除するには、本機とPCを接続していない状態で、**[メニュー]** > **[オプション]** を選択してPC名を選択し、**[メニュー]** > **[削除]** を選択します。

Windows Mobile デバイスセンターから同期する

1. **[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[Windows Mobile デバイスセンター]** をクリックします。
2. Windows Mobile デバイスセンターの左下にある をクリックします。
3. 完了する前に同期を中断するには をクリックします。

PCのActiveSyncから同期する

本機をPCに接続すると、PCのActiveSync が自動的に起動し、同期を始めます。

1. 手動で同期を開始するには をクリックします。
2. 完了する前に同期を中断するには をクリックします。

5 情報をPCと同期する

同期する情報を変更する

本機または PC から、同期する情報の種類や範囲を変更することができます。以下の手順で本機から同期設定を変更します。

注意

・本機の同期設定を変更する前に、本機を PC から切断してください。

1. 本機の ActiveSync 画面で **[メニュー]** > **[オプション]** を選択します。

2. 同期を行うアイテムのチェックボックスにチェックを入れます。チェックボックスをチェックできない場合、リストの別の情報タイプのチェックボックスをクリアしなければならない場合があります。

3. たとえば **[電子メール]** など特定の情報に関する同期設定を変更するには、**[設定]** を選択します。

ダウンロードサイズ制限を設定したり、ダウンロードする情報の日数を指定したりすることができます。

注意

・お気に入り、ファイル、メディアなど、一部の情報は本機の ActiveSync オプションでは選択できません。これらの情報は、PC の Windows Mobile デバイスセンターまたは ActiveSync で選択または解除します。
・1台の PC が複数の Windows Mobile デバイスと同期パートナーシップを確立することはできますが、1台のデバイスが同期パートナーシップを確立できる PC は最大2台までです。両方の PC と確実に同期が行われるよう、2台目の PC では最初の PC と同じ同期設定を使用してください。
・電子メールは1台の PC とのみ同期することができます。

同期接続に関する問題

PCの Microsoft ActiveSync では、本機との間でネットワークタイプの接続を使用することによって、シリアル USB 接続よりも高速なデータ転送が可能です。ただし、PC がインターネットやローカルネットワークに接続されている場合、本機との接続を中断し、インターネットやネットワーク接続の方に優先的に接続されることがあります。
このような場合、**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[PC への USB 接続]** を選択し、**高度なネットワーク機能を有効にする**のチェックを外してください。これで PC は本機との間でシリアル USB 接続を使用します。

5.5　Bluetooth を使って同期する

Bluetooth を使って本機と PC を接続し、同期を行うことができます。

1. PCでWindows Mobile デバイスセンターのヘルプ、またはActiveSyncのヘルプをご覧になり、Bluetooth 接続を設定してください。
2. 本機では **[スタート]** > **[ActiveSync]** を選択します。
3. **[メニュー]** > **[Bluetooth から接続]** を選択します。本機と PC の両方で Bluetooth 機能が有効になっており、検出可能モードになっていることを確認してください。
4. 本機と PC を初めて Bluetooth で接続する場合は、まず本機でBluetooth ウィザードを起動し、PC との間に Bluetooth パートナーシップを確立する必要があります。Bluetooth パートナーシップの確立方法については、「9.2 Bluetoothパートナーシップ」（P.171）をご覧ください。

注意

- 電池を節約するため、使用しないときは Bluetooth をオフにしておくことをお勧めします。
- Bluetooth を使って本機と PC を接続し、同期する場合、ご利用の PC には Bluetooth 機能が内蔵されているか、または Bluetooth アダプタがインストールされている必要があります。

5.6 音楽やビデオを同期する

外出先などに音楽やビデオなどを持ち出したい場合、PC で Microsoft Windows Media Player をセットアップし、本機との間で音楽やビデオを同期することができます。
音楽やビデオなどのメディアファイルの同期設定は、Windows Media Playerで行います。以下の手順に従ってください。

1. PC に Windows Media Player 11 をインストールします(Windows Media Player 11 は Windows XP およびWindows Vistaに対応しています)。
2. USB ケーブルで本機と PC を接続し、Windows Media Player 11を起動します。Bluetooth を使って本機と PC が接続されている場合は、その接続を中断してからメディアの同期を行います。
3. 本機と PC の Windows Media Player 11 との間で同期パートナーシップをセットアップします。

本機の Windows Media Player に関する詳細は、「10.4 Windows Media Player Mobile を使う」(P.194)をご覧ください。

第6章

PIM機能

6.1　連絡先の管理

本機には、連絡先の電話番号やその他の情報を保存/管理するために以下の方法があります。

●本体メモリまたはEM chip（USIMカード）に連絡先を保存します。

●SIMマネージャを利用して、EM chipに連絡先を保存します。

6.2　連絡先

連絡先は、友人や仕事関係の人々の電話番号などを保存しておく電話帳です。
本機では3種類の連絡先を作成できます。

●**Outlook 連絡先**：本機に保存されている連絡先で、本機で情報を入力したり、PC や Exchange Server と同期できる連絡先です。各連絡先に対して、電話番号、メールアドレス、インスタントメッセージ (IM) 名、会社と自宅の住所、仕事、誕生日などの情報を保存することができます。また、画像を追加したり、着信音を設定することもできます。

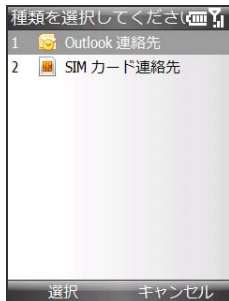
●**SIMカード 連絡先**：EM chip（USIMカード）に保存されている連絡先です。各連絡先に対して、名前と電話番号だけを保存することができます。

●**Windows　Live連絡先**：Windows　Live　MessengerやMSNを利用してOutlookと同じように連絡先を保存します。詳細については、「Windows Liveのメンバーを追加する」（P.168）をご覧ください。

注意

・Windows Live連絡先は、Windows Liveをセットアップした後に利用できます。

本機に連絡先を追加する

1. **[連絡先]** を押します。
2. **[新規作成]** > **[Outlook 連絡先]** を選択して連絡先情報を入力します。

3. 連絡先に写真を追加するには、**[画像]** の欄を選択して画像ファイルを選択するか、または **[カメラ]** を選択して連絡先に保存する写真を撮影します。この写真は、この連絡先から着信があったときに電話画面に表示されます。
4. 連絡先に着信音を設定するには、**[着信音]** の欄を選択し、着信音の一覧から選択してください。
5. 終わったら **[完了]** を押します。

ヒント

- 連絡先に保存されていない相手から電話があった場合、通話履歴から連絡先を作成することができます。通話履歴にある電話番号を選んで、**[メニュー]** > **[連絡先に保存]** を選択します。
- メッセージに含まれる電話番号を保存するには、電話番号を選択し、**[メニュー]** > **[連絡先に保存]** を選択します。
- 連絡先の情報を編集するには連絡先を選択し、**[メニュー]** > **[編集]** を選択します。

EM chip（USIMカード）に連絡先を追加する

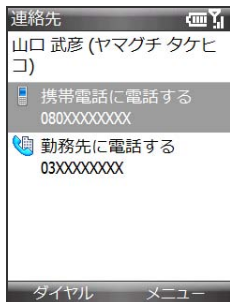
1. **［連絡先］**を押します。
2. **［新規作成］**＞**［SIMカード連絡先］**を選択します。
3. 名前と電話番号を入力します。
4. **［完了］**を押します。

ヒント

・SIMマネージャを利用してもEM chipに連絡先を追加/編集できます。詳細については、「6.3 SIM マネージャ」（P.113）をご覧ください。

情報の整理と検索

連絡先情報を見る

1. **［連絡先］**を押します。
2. 連絡先を選んでEnterボタンを押します。
   最新の発着信履歴が、電話番号やメールアドレスなどの情報と一緒に表示されます。

複数の連絡先をグループ化する

関連性のある連絡先を分類してグループ化すると、管理しやすくなります。

1. 新しい連絡先を作成するか、または既存の連絡先を編集します。

2. **[分類項目]** の欄を選択します。

3. 会社関係（取引先)、個人など既定の分類項目を選択します。

4. 終わったら **[完了]** を押します。
グループ化して連絡先を表示するには、**[メニュー]** > **[フィルタ]** を選択、分類項目を選択します。

連絡先を活用する

連絡先の一覧は、さまざまな方法で活用したりカスタマイズすることができます。以下はその活用例です。

1. **[連絡先]** を押します。

2. 連絡先の一覧で、次のような操作ができます。
・1つの連絡先に関する情報の概要を表示するには、その連絡先を選択します。ここから通話を始めたり、メッセージを送信することができます。
・特定の会社の連絡先を表示するには、**[メニュー]** > **[表示方法]** > **[勤務先]** を選択し、会社名を選択します。

本機の連絡先を検索する

多くの連絡先が登録されている場合、目的の相手を見つけるにはいくつかの方法があります。

1. **[連絡先]** を押します。

2. 名前表示になっていない場合は、**[メニュー]** > **[表示方法]** > **[名前]** を選択して名前表示に切り替えます。

3. 次のいずれかの方法で検索します。
・ダイヤルキーから名前を入力し始めると、入力した文字に対応する連絡先が絞り込まれて表示されます。
・分類項目から検索します。連絡先の一覧で **[メニュー]** > **[フィルタ]** を選択し、連絡先の分類項目を選択します。すべての連絡先を表示するには、**[すべての連絡先]** を選択します。

連絡先情報を共有する

連絡先の詳細をビームする

Bluetoothを使うと、本機から別の携帯電話や PDA へ簡単に連絡先情報を送信できます。

1. **[連絡先]** を押し、連絡先を選択します。

2. **[メニュー]** > **[連絡先の送信]** > **[ビーム]** を選択します。

3. 連絡先をビームする相手デバイスを選択します。

注意

- ビームを行うには、本機と相手デバイスの Bluetooth機能がオンになっており、検出可能モードに設定されている必要があります。また、連絡先情報を PC にビームすることもできます。詳しくは「9.4 Bluetoothで情報をビームする」（P.174）をご覧ください。

連絡先をvCardとして送信する

vCard（電子名刺）は、連絡先情報を交換するときに使用される標準形式ファイルです。vCardのファイルをPCのOutlookにエクスポートすることも可能です。vCardファイルはEMnetメールの添付ファイルとして送信することができます。

1. **[連絡先]** を押し、連絡先を選択します。

2. **[メニュー]** > **[vCard として送信]** を選択します。

3. vCard ファイルを添付した新規 EMnet メールの作成画面が表示されます。宛先やメッセージを入力し、**[送信]** を押します。

詳細については、「7.3 EMnetメール」（P.129）をご覧ください。

6.3　SIM マネージャ

SIM マネージャでは、EM chip（USIMカード）に保存された連絡先の確認および通話発信､EM chipから本機への連絡先の転送 (またはその逆)などを行います。

EM chipに連絡先を追加する

1. **[スタート]** > **[アクセサリ]** > **[SIMマネージャ]** を選択します。
2. **[新規作成]** を選択し、新しい連絡先名と電話番号を入力します。
3. **[保存]** を押し、情報を EM chipに保存します。

ヒント

- EM chipの連絡先情報を変更するには、SIMマネージャ画面からEM chipに保存されている連絡先を選択して編集し、完了したら **[保存]** を押します。

EM chipの連絡先を本機にコピーする

EM chipに保存された連絡先は本機の連絡先にコピーできます。

1. **[スタート]** > **[アクセサリ]** > **[SIM マネージャ]** を選択します。
2. コピーする連絡先を選択します。**[メニュー]** > **[すべて選択]** を選択してEM chipに保存されているすべての連絡先を選択することもできます。
3. **[メニュー]** > **[連絡先に保存]** を選択します。

連絡先を EM chipにコピーする

EM chipには、１つの連絡先につき、２つの電話番号と１つの電子メールアドレスを保存することができます。
１つの連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、携帯電話、自宅電話、勤務先電話の優先順位で電話番号がコピーされます。

1. **[スタート]** > **[アクセサリ]** > **[SIM マネージャ]** を選択します。
2. **[メニュー]** > **[USIM に保存する連絡先]** を選択します。
3. EM chipにコピーする連絡先にチェックを入れて、**[保存]** を選択します。

6.4 予定表

予定表は、会議やイベントなどの予定を管理するためのツールです。近日の予定はホーム画面に表示することができます。PC で Outlook をご利用の場合は、本機と PC の間で予定表を同期させることができます。また、予定表にサウンドやライトの点滅を設定すれば、予定表をアラーム代わりに利用できます。
予定は日単位、週単位、月単位、年単位、予定一覧のいずれかの形式で表示できます。予定を選択すると、その予定の詳細情報を表示できます。

予定を登録する

予定を設定する

1. **[スタート]** > **[予定表]** を選択します。
2. **[メニュー]** > **[新しい予定]** を選択します。
3. 予定の件名を入力します。
4. 次のいずれかの方法で予定を作成します。
   ・誕生日などの終日の予定については、**[終日イベント]** のチェックを入れます。
   ・予定の開始時刻と終了時刻が決まっている場合は、それぞれを設定します。
5. 予定の入力が完了したら **[完了]** を押し、予定表に戻ります。

ヒント

- 終日イベントは予定表内ではなく、予定表画面の一番上にバナーで表示されます。
- 予定をキャンセルするには、キャンセルする予定を選んで **[メニュー]** > **[予定の削除]** を選択します。

すべての新規予定に既定のアラームを設定する

すべての新しい予定に、自動的にアラームを設定することができます。

1. **[スタート]** > **[予定表]** を選択します。
2. **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** を選択します。
3. **[アラームの設定]** で開始時刻に対して事前に通知する時間を設定します。
4. **[完了]** を押すと、予定表に戻ります。

予定を表示する

既定では、予定表は予定一覧形式で表示されます。表示形式は**日単位**、**週単位**、**月単位**があります。

予定一覧表示

・予定を選択すると、その予定の詳細情報を表示できます。
・予定表で予定の表示形式を変更するには、**[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** を選択します。**[既定の画面]** で予定表の表示形式を選択します。
・**[月単位]** 表示の場合、次のアイコンが使用されます。

午前の予定
午後または夜の予定
午前と午後 (夜) の予定
終日イベント

予定を送信する

会議出席依頼を送る

予定表を使って、Outlook か Outlook Mobile を使用している相手に電子メールで会議出席依頼を送信できます。

1. **[スタート]** > **[予定表]** を選択します。
2. 新しい予定を登録するか、既存の予定を開き、**[メニュー]** > **[編集]** を選択します。
3. **[出席者]** を選択します。
4. **[必須出席者の追加]** または **[任意出席者の追加]** を選択します。
5. 出席を依頼する連絡先の名前を選択します。
6. **[選択]** を押します。
7. **[完了]** を押すと、出席者に会議出席依頼が送信されます。

注意

- Outlook メールアカウントを使って会議出席依頼を送信すると、出席依頼は次回本機と PC、または本機と Exchange Server を同期させるときに出席者に送信されます。
- 出席者が会議出席依頼を受け入れると、出席者のスケジュールに会議予定が追加されます。出席者からの承諾が送り返されると、出席依頼をした側の予定表も自動的に更新されます。

ヒント

- 会議出席依頼を送るときに使うメールアカウントを選択する場合は、**[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** を選択します。**[会議出席依頼の送信方法]** で Outlook メール、POP3/IMAP4、または Windows Live アカウントのいずれかを選択します。

予定をvCalendarとして送信する

vCalendarは、スケジュールや仕事情報を交換するときに使用される標準形式ファイルです。vCalendarのファイルをPCのOutlookにエクスポートすることも可能です。

vCalendarを添付したメールを送るには、**[メニュー]** > **[vCalendar として送信]** を選択します。詳細については、「7.3 EMnetメール」（P.129）をご覧ください。

6

PIM機能

6.5 仕事

仕事は大事な用件などを管理するためのツールです。1回のみの仕事や、繰り返しの仕事を設定できます。また、仕事にアラームを設定したり、分類項目別に整理することもできます。
仕事は仕事一覧に表示されます。期限の過ぎた仕事は赤で表示されます。

仕事を作成する

1. **[スタート]** > **[仕事]** を選択します。
2. **[メニュー]** > **[新しい仕事]** を選択し、仕事の件名、開始日や期限、優先度などの詳細を入力します。
3. 仕事の分類項目を設定しておくと、関係のある仕事をグループ化できます。**[分類項目]** の欄を選択して、会社関係（取引先）、祝日、個人用、季節など既定の分類項目を選択します。**[完了]** を押して仕事の入力画面に戻ります。
4. 仕事の入力が完了したら、**[完了]** を押して仕事一覧に戻ります。

ヒント

- 時間設定などのない仕事は簡単に作成できます。**[ここに新しい仕事を入力します]** に件名を入力し、Enter ボタンを押してください。

仕事の優先度を変更する

仕事を優先度別に分類するには、まず各仕事に優先度を付けなければなりません。

1. **[スタート]** > **[仕事]** を選択します。
2. 優先度を変更する仕事を選択します。
3. **[編集]** を押し、**[優先度]** で優先度のレベルを選択します。
4. **[完了]** を押して仕事一覧に戻ります。

ヒント

- 既定では、新しい仕事の優先度は標準になっています。

新しい仕事に既定のアラームを設定する

新しく作成するすべての仕事に対し、自動的にアラームを設定することができます。

1. **[スタート]** > **[仕事]** を選択します。

2. **[メニュー]** > **[オプションの表示]** を選択します。

3. **[新しいアイテムにアラームを設定する]** にチェックを入れます。

4. **[完了]** を押して仕事一覧に戻ります。

注意

・期限のない仕事に対してアラームは設定できません。

仕事一覧に開始日と期限を表示する

1. **[スタート]** > **[仕事]** を選択します。

2. **[メニュー]** > **[オプションの表示]** を選択します。

3. **[開始日と期限を表示する]** をチェックします。

4. **[完了]** を押して仕事一覧に戻ります。

仕事を検索する

仕事一覧が長い場合、仕事の一部のみを表示したり、特定の仕事がすぐに見つかるよう並べ替えることができます。

1. **[スタート]** > **[仕事]** を選択します。

2. 仕事一覧で、次のような操作ができます。

・一覧を分類します。**[メニュー]** > **[並べ替え]** を選択し、並べ替えのオプションを選択します。

・分類項目別に仕事を表示します。**[メニュー]** > **[フィルタ]** を選択し、表示する分類項目を選択します。

ヒント

・仕事をさらに絞り込むには **[メニュー]** > **[フィルタ]** > **[作業中のタスク]** または **[終了したタスク]** を選択します。

6.6　クイックメモ

クイックメモは、アイデア、問題、覚え書きなどを書き留めるときに便利です。

メモを作成する

1. **[スタート]** > **[クイックメモ]** を選択します。クイックメモの一覧で **[新規作成]** を押します。
2. メモしたい内容を入力します。
3. 入力が済んだら **[完了]** を押し、クイックメモの一覧に戻ります。
入力した内容の1行目がタイトルとして設定されます。

ヒント

- クイックメモの一覧から **[メニュー]** > **[送信]** を選択すると、選んだクイックメモをメールで送信できます。

6.7　ボイスメモ

簡単な操作で音声を録音します。録音した音声は、着信音として設定することもできます。

録音する

1. **[スタート]** > **[ボイス メモ]** を選択します。
2. **[録音]** を押すと録音を開始します。
3. **[停止]** を押すと録音を停止します。

ボイスメモを再生する

1. ボイスメモ画面で再生するボイス録音を選択します。
2. Enterを押すと再生が始まります。

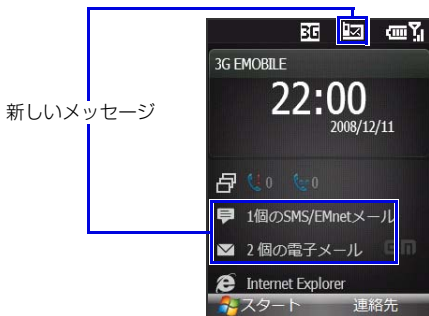
ボイスメモを着信音として設定する

1. ボイスメモ画面で、着信音に設定したいボイスメモを選択します。
2. **[メニュー]** > **[着信音に設定]** を選択します。

第7章

メールを使用する

7.1　メールについて

メールは電子メールアカウントや SMS、EMnetメールのアカウントを管理するツールです。Outlook メールや電子メールなどを送受信したり、携帯電話ネットワークを使って SMS を送受信することができます。また、VPN接続を使ってメールサーバーにもアクセスできます。

SMS

イー・モバイル携帯電話同士で、メッセージ１件につき、全角最大70文字までのメッセージを送受信できます。

●ファイルを添付することはできません。

EMnetメール

「△△△@emnet.ne.jp」のアドレスを使用して、イー・モバイル携帯電話や他社の携帯電話、パソコンなどとの間でメッセージを送受信できます。撮影した写真やビデオクリップなどを添付したり、デコレーションメールを楽しんだりすることもできます。

電子メール

パソコンで使用されている電子メール（POP3／IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することができます。また、パソコンと同じように添付ファイルにも対応しています。
インターネットメールを使用するには、事前に電子メールアカウントを設定する必要があります。詳細については、「7.5 電子メールセットアップウィザード」（P.133）をご覧ください。

- インターネットメールは、SMSやEMnetメールとは異なり、自動的にメールは受信されません。メールサーバーとの同期を行う（ActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターの同期とは異なります）ことによって、メールの受信が行われます。
- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- Exchange Serverでメール機能を使用する場合には、自動的にメールを受信できます。
- 電子メールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。

Exchange Serverによるメール

会社のExchange Server のメールを使用する場合、ActiveSync やWindows Mobileデバイスセンターにて設定を行います。設定方法については社内システム管理者にご確認ください。

パソコンとの同期によるOutlookメール

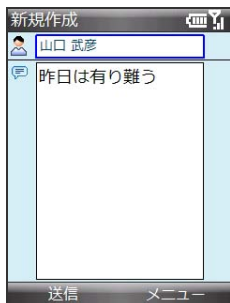
お手持ちのパソコンとActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターで同期すると、本端末に「Outlookメール」というアカウントが自動的に作成されます。「Outlook メール」はActiveSync やWindows Mobileデバイスセンターを使ってパソコンと同期するためのアカウントですので、このアカウントでメールを受信することはできません。
また、このアカウントから送信したメールは、パソコンと同期したときにパソコン側のOutlookの送信トレイに移動されます。

7.2 SMS

最大70文字（全角文字もしくは半角カタカナを含む場合）または160文字（すべて半角英数字の場合）までの SMS を他のイー・モバイル携帯電話に送信できます。

SMS を送る

SMS を作成・送信する

1. **[スタート]** ＞ **[EMnet メール]** を選択します。
2. **[新規作成]** ＞ **[SMS]** を選択します。
3. **[宛先]** を選択し、宛先の入力方法を選択して電話番号を入力します。
   - 連絡先から宛先を選ぶ場合は、**[連絡先]** を選択します。
   - 送信履歴や通話履歴から宛先を選ぶ場合は、**[送信履歴]**／**[通話履歴]** を選択します。
   - 宛先を直接入力する場合は、**[宛先直接入力]** を選択します。
4. **[本文]** を選択し、メッセージを入力して **[OK]** を押します。

   - 頻繁に使用するメッセージをすばやく挿入するには、**[メニュー]** ＞ **[マイテキストの挿入]** を選択し、メッセージを入力します。

5. **[送信]** を押します。

ヒント

- 記号／顔文字の入力については、「2.4 記号／絵文字／顔文字を入力する」（P.69）をご覧ください。
- 送信した SMS が相手に受信されたことを確認するには、新規 SMS 作成画面で **[メニュー]** > **[送信オプション]** を選択し、**[配信レポート]** にチェックを入れます。
  すべての SMS に対して配信通知を要求するには、フォルダ一覧画面で **[設定]** > **[SMSの設定]** を選択し、**[配信レポート]** にチェックを入れます。

SMS を受信する

電話機能がオンになっていれば、SMS を自動的に受信することができます。電話機能がオフになっている場合、SMSは電話機能がオンになるまで有効期限内に限りサーバーに保存されます。

SMSセンター番号を変更する

当社より番号変更のお知らせがない場合は変更しないでください。サービスがご利用できなくなります。
間違えて変更してしまった場合は「+818070017111」に設定してください。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** > **[通話のオプション]** を選択します。

2. **[SMSメッセージセンター]** の欄に新しいセンター番号を入力して **[完了]** を押します。

EM chip（USIMカード）からメッセージをコピーする

1. **[スタート]** > **[EMnet メール]** を選択します。

2. **[受信ボックス]** を選択してフォルダを選択し、コピーする SMS を選択します。

3. **[メニュー]** > **[その他]** > **[携帯にコピー]** を選択します。

・SMS をEM chip にコピーする場合は、**[メニュー]** > **[その他]** > **[SIMにコピー]** を選択します。

注意

・EM chip に保存された SMS は自動的に受信トレイに表示されます。本機にメッセージをコピーした後、受信トレイにメッセージが重複して表示されます。

7.3 EMnetメール

本機では、EMnetメールを簡単な操作で作成して送信できます。画像や動画、音楽を添付したEMnetメールを送信することもできます。

EMnetメールを作成して送る

新規メッセージ作成画面では、本文や画像やビデオクリップなどの添付ファイルを確認しながらEMnetメールを作成できます。

EMnetメールを作成する

1. **[スタート]** > **[EMnetメール]** を選択します。

2. **[新規作成]** > **[EMnetメール]** を選択します。

3. **[宛先]** を選択し、宛先の入力方法を選択してアドレスを入力します。

- 連絡先から宛先を選ぶ場合は、**[連絡先]** を選択します。
- 送信履歴や通話履歴から宛先を選ぶ場合は、**[送信履歴]** ／ **[通話履歴]** を選択します。
- 宛先を直接入力する場合は、**[宛先直接入力]** を選択します。

ヒント

- 宛先をCcやBccに設定したい場合は、宛先画面で宛先を選んで **[メニュー]** > **[Ccに変更]** または **[Bccに変更]** を選択します。

4. **[件名]** を選択し、件名を入力して **[OK]** を押します。

5. **[本文]** を選択し、本文を入力して **[OK]** を押します。

6. ファイルを添付するには、**[ファイルの追加]** を選択します。

添付するアイテム（動画、画像、またはサウンド）を選んでファイルを選択し、**[OK]** を押します。

- を選択すると、添付する写真を撮影できます。
- を選択すると、添付するビデオクリップを録画できます。
- EMnetメールに添付できるオーディオは1シートにつき1つです。

ヒント

- ファイル名が日本語のファイル（「花.jpg」など）を添付した場合は、別のファイル名（「img_001.jpg」など）が付けられて添付されます。

7. メッセージ画面を追加するには、**[メニュー]** > **[オプション]** > **[スライド]** > **[追加]** を選択します。その他のファイルを添付する場合は、手順6を繰り返してください。

メッセージ画面表示中に次の操作が行えます。

・**[メニュー]** > **[メールのプレビュー]** を選択すると、メッセージのプレビューを表示できます。

・ナビゲーションコントロールの左ボタンを押すと、前の画面を表示できます。

・ナビゲーションコントロールの右ボタンを押すと、次の画面を表示できます。

8. EMnetメール作成中に次の操作が行えます。

・**[メニュー]** > **[オプション]** > **[背景の色]** を選択すると、メッセージの背景色を選択できます。

・**[メニュー]** > **[オプション]** > **[送信オプション]** を選択すると、メッセージの送信時間、有効期限、優先度などを設定できます。(配信時間は既定値として保存することができません)

・**[メニュー]** > **[追加]** を選択すると、連絡先や予定表、その他のファイルを添付できます。

9. **[送信]** を押します。

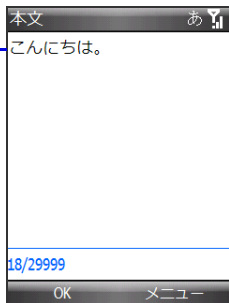
ヒント

• EMnetメールは次の操作でも作成できます。

・画像とビデオ画面のマイピクチャで写真を選択し、**[メニュー]** > **[EMnetメール送信]** を選択します。

・カメラで写真またはMMSビデオを撮影し、送信アイコン( ) を選択します。ファイルを送信ダイアログボックスで **[EMnetメール送信]** を選択します。

テンプレートを利用してEMnetメールを作成する

EMnetメール作成画面で **[メニュー]** > **[テンプレート]** > **[テンプレートから新規]** を選択します。

ヒント

- 作成したメッセージをテンプレートとして保存する場合は、**[メニュー]** > **[テンプレート]** > **[テンプレートとして保存]** を選択します。

本文を入力する

EMnetメール作成画面で **[本文]** を選択すると、次の本文入力画面が表示されます。

7
メールを使用する

EMnetメールを表示し、返信する

受信EMnetメールを表示する

●受信したEMnetメールを選択して表示し、Enterを押します。
●添付ファイルを確認するには、**[メニュー]** > **[添付表示]**を選択します。添付ファイル一覧画面で次の操作を行うことができます。
・添付ファイルを保存するには、ファイルを選択し、**[メニュー]** > **[保存]** または **[ファイルを保存]** を選択します。
・添付テキストファイルを定型文として登録するには、テキストファイルを選択し、**[メニュー]** > **[マイテキストとして保存]**を選択します。
・添付写真を連絡先の画像に設定するには、**[メニュー]** > **[連絡先に割り当て]**を選択します。

EMnetメールを返信する

送信者にメッセージを返信するには、**[メニュー]** > **[返信]** > **[EMnetメール]**を選択します。送信者を含むすべての宛先にメッセージを返信するには、**[メニュー]** > **[全員に返信]** > **[EMnetメール]**を選択します。

7
メールを使用する

SMS／EMnetメールのオプション設定

SMS／EMnetメールに関する全般的な設定を行います。

1. **[スタート]** > **[EMnetメール]** > **[設定]**を選択します。

2. 以下の項目を設定します。

・**一般設定**：署名の設定を行います。
・**EMnetメールの設定**：送受信モード、送受信の試行回数など、EMnetメールに関する設定を行います。
・**SMSの設定**：配信レポート、有効期限など、SMSに関する設定を行います。
・**メール設定 Web**：専用サイトに接続し、メールアドレスの変更やメールフィルタの設定などを行います。
・**バージョン情報**：EMnetメールのバージョン情報を表示します。

7.4　電子メールアカウントの種類

メールの送受信を実行する前に、本機で電子メールアカウントを設定する必要があります。本機で設定できるメールの種類は次のとおりです。

- Outlook メール: PC や Exchange Server で同期させるメールです。
- インターネットメール: インターネットサービスプロバイダ (ISP) が提供する POP3/IMAP4 メールアカウントです。
- Web メール: フリーメールなどです。

7.5　電子メールセットアップウィザード

Windows Mobile の電子メールセットアップウィザードを使うと、メールアカウントを簡単に設定することができます。プロバイダ (ISP) やその他のメールプロバイダ、Web ベースのフリーメールなどの電子メールアカウントを追加できます。

Outlook 電子メールの設定

同期ソフトウェアをPCにインストールして同期パートナーシップを確立すると、本機でOutlookメールを送受信する準備が完了します。同期ソフトウェアのインストール、同期パートナーシップの確立については、「5.4 PCと同期する」(P.102)をご覧ください。

POP3 または IMAP4 メールアカウントを設定する

メールの送受信を実行する前に、インターネットサービス プロバイダ (ISP)から取得したメールアカウントや、VPNサーバー接続を使ってアクセスするアカウントを設定する必要があります。

1. **[スタート]** > **[メール]** > **[電子メールの設定]** を選択します。
2. メールアドレスとパスワードを入力し、**[次へ]** を押します。

7 メールを使用する

3. **[インターネットから電子メール設定を自動的に取得する]** にチェックを入れます。このオプションを選択すると、手動でメール設定を行わなくても、メールサーバーによって自動的に設定されます。**[次へ]** を押します。

注意

• サーバーの種類によっては、自動的に設定されない場合があります。

4. 自動設定が完了したら、**[次へ]** を押します。

注意

• メールサーバーが自動設定に対応していない場合、以降の画面でメールサーバーやユーザー名を設定します。詳しくは、「メールサーバー設定を指定する」(P.136)をご覧ください。

5. **[名前]** の欄に名前を入力します。**[アカウントの表示名]** の欄を編集し、プロバイダ名などがわかるよう名称を変更できます。**[次へ]** を押します。

6. ユーザー名の欄にログイン名を入力します。次にパスワードを入力し、**[パスワードの保存]** にチェックを入れます。**[次へ]** を押します。

7. この時点でメール設定は完了です。**[自動送受信]** リストで本機が自動的にメールを送受信する頻度を選択します。

ヒント

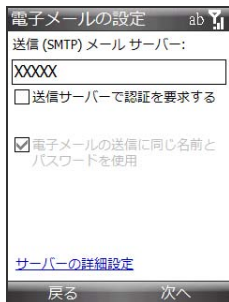
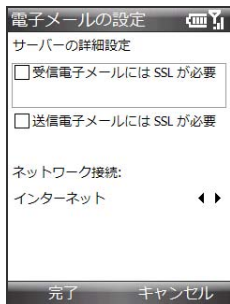
- **[すべてのダウンロード設定の確認]** を選択すると、ダウンロードオプションを選択したり、メール形式を HTML とテキストのどちらかから選ぶなど、各種設定が行えます。詳しくは、「ダウンロードとメール形式をカスタマイズする」（P.137）をご覧ください。

8. **[完了]** を押します。

[接続できません] という警告メッセージが表示された場合は、**[閉じる]** を押してメッセージを閉じた後、続けて手順９に進みます。

9. **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** > **[アカウントの設定]** を選択します。

10. **[アカウントの設定の編集]** を選択し、設定内容を変更せずに **[次へ]** を４回押します。

11. 送信サーバーの設定画面で **[サーバーの詳細設定]** を選択します。

12. ネットワーク接続で **[インターネット]** を選択して **[完了]** を押します。

13. 設定内容を変更せずに **[次へ]** を２回押して **[完了]** を押します。

14. **[完了]** を押します。

メールサーバー設定を指定する

メールサーバーが自動設定に対応していない場合、ご利用のプロバイダにお問い合わせになり、**受信メールサーバー**と**送信メールサーバー**の設定を確認してください。

また、次のようなオプションがあります。

- 必要に応じて、**[送信サーバーで認証を要求する]** にチェックを入れてください。
- 送信メールサーバーが、メール送信時には異なるユーザー名とパスワードを必要とする場合があります。この場合は、**[電子メールの送信に同じ名前とパスワードを使用]** のチェックを外してください。メール送信時には別のユーザー名とパスワードを入力します。
- ご利用のプロバイダがメールのセキュリティを高めるために SSL 接続を使用している場合、**[サーバーの詳細設定]** を選択し、**[受信電子メールにはSSLが必要]** ／ **[送信電子メールにはSSLが必要]** にチェックを入れてください。**[ネットワーク接続]** の一覧からインターネット接続時に使用するデータ接続を選択します。

ダウンロードとメール形式をカスタマイズする

POP3 または IMAP4 メールアカウントを設定して **[完了]** を押す前に、画面一番下に表示される **[すべてのダウンロードの設定を確認する]** を選択してダウンロードオプション、メッセージ形式、その他の設定を選択します。

オプション	説明
自動送受信	インターネットに自動接続し、メッセージを送受信する間隔を選択できます。
メッセージのダウンロード	本機にメッセージをダウンロードする日数を設定します。
詳細設定	**[送信]をクリックしたとき送受信を実行する**： 既定では、**[送信]** ボタンを押すとすぐにメッセージが送信されるよう設定されています。送信メールをまず送信トレイに保存するには、このチェックボックスのチェックを外してください（このチェックを外すと、**[メニュー]** > **[送受信]** を選択しなければメッセージは送信されません）。 **ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する**： インターネットに自動接続する間隔が設定されている場合、本機へのデータローミングも行うことができます。この方法は接続料金がかかるため、通常はチェックを外しておくことをお勧めします。 **メッセージの削除時**： 本機で削除した場合に、サーバー上のメールも削除するかどうか設定します。
メッセージ形式	HTMLかテキスト形式のいずれかを選択します。
メッセージのダウンロード制限	メールのダウンロードサイズを選択します。大量のメールを受信する場合、サイズの小さなメールをダウンロードするか、またはヘッダのみをダウンロードするよう選択してください。
添付ファイルのダウンロード(IMAP4メールアカウント設定時のみ)	添付ファイルのダウンロードサイズを選択します。すべての添付ファイルをダウンロードする／しないように設定することもできます。

注意

- 自動送受信をオンにすると電池の消耗が早くなります。

7.6　電子メールを送る/受ける

メールアカウントを設定すると、メールの送受信を行うことができます。

電子メールを作成・送信する

メールを作成し、送信する

1. **[スタート]** > **[メール]** を選択し、電子メールアカウントを選択します。
2. **[メニュー]** > **[新規]** を選択します。
3. 宛先の電子メールアドレスを入力します。複数の相手に送る場合はセミコロン (;) で区切ります。連絡先に保存されているメールアドレスから選択するには、**[宛先]** を選択します。
4. 件名を入力します。
5. メッセージを入力します。頻繁に使用するメッセージをすばやく挿入するには、**[メニュー]** > **[マイ テキスト]** を選択し、メッセージを入力します。
6. **[送信]** を押します。

ヒント

- 記号／顔文字の入力については、「2.4 記号／絵文字／顔文字を入力する」(P.69) をご覧ください。
- 優先度を設定するには、**[メニュー]** > **[メッセージのオプション]** を選択します。
- オフラインで作業している場合、作成したメールは送信トレイに保存され、次回接続が確立したときに送信されます。

メールにファイルを添付する

1. メッセージ作成画面で **[メニュー]** > **[挿入]** を選択し、添付するアイテム (**画像**、**ボイス メモ**、または**ファイル**) を選択します。

2. 添付するファイルを選択するか、またはボイスメモを録音します。

電子メールを表示し、返信する

メッセージ一覧を見る

受信したメッセージは、受信トレイのメッセージ一覧から確認できます。

受信メールを読む

既定では、受信メールを開いて読むとき、メールの最初の2キロバイトの情報だけが表示されるよう設定されています。以下のいずれかの方法で、メッセージ全体を読むことができます。

● メッセージを最後までスクロールし、**[メッセージと添付ファイルをすべて取得する]** を選択します。

● **[メニュー]** > **[ダウンロード]** を選択します。

次回 **[メニュー]** > **[送受信]** を選択してメールを送受信したときに、メッセージがダウンロードされます。

注意

- メッセージ一覧のサイズの欄には、メッセージのローカルサイズとサーバーサイズが表示されます。メッセージ全体がダウンロードされている場合でも、サーバーと本機ではメッセージサイズが多少異なる場合があります。

添付ファイルをダウンロードする

添付ファイルはメッセージの件名の下に表示されます。添付ファイルを選択すると、ファイル全体がダウンロードされている場合、ファイルを開きます。全体がダウンロードされていない場合、次回の送受信時にダウンロードするようにセットされます。

注意

- メッセージに複数のファイルが添付してある場合、すべての添付ファイルがダウンロードされます。
- 添付ファイルを自動的にダウンロードするよう本機を設定するには、「電子メール設定をカスタマイズする」（P.143）をご覧ください。

メールを返信・転送する

1. メッセージを開き、**[返信]** を選択するか、または **[メニュー]** > **[返信]** > **[全員へ返信]** または **[メニュー]** > **[返信]** > **[転送]** を選択します。
2. 返信内容を入力します。頻繁に使用するメッセージをすばやく挿入するには、**[メニュー]** > **[マイ テキスト]** を選択し、メッセージを入力します。
3. **[送信]** を押します。

ヒント

- ヘッダ情報を表示するには、上へスクロールします。
- オリジナルメッセージを常に引用する場合は、**[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** > **[送信設定]** を選択し、**[電子メールを返信するときに、元のメッセージのコピーを含める]** にチェックを入れます。
- Outlook メールアカウントでは、オリジナルメッセージを編集しないままにすると、返信するデータ量が少なくなり、通信パケット数を節約できます。

HTML メールを表示・返信する

すべてのメールアカウントから HTML メールを受信、表示、返信できます。HTML 形式はレイアウトやサイズが変更されることなく維持されます。

1. メッセージ形式を HTML に設定します。メッセージ形式の設定方法については、「電子メール設定をカスタマイズする」(P.143) をご覧ください。
2. **[スタート]** > **[メール]** を選択し、メールアカウントを選択します。
3. 受信した HTML メールを開きます。
4. 画面を横方向にスクロールしてメッセージをすべて表示するには、**[右にスクロールする]** を選択します。
5. メッセージの最後に表示された **[メッセージと添付ファイルをすべて取得する]** を選択すると、メッセージ全体をダウンロードし、表示できます。
6. メールがすぐにダウンロードされない場合は、**[メニュー]** > **[送受信]** を選択します。
7. メッセージに画像が表示されない場合は、**[インターネット上の画像をブロック]** を選択し、**[インターネット上の画像をダウンロードする]** を選択します。
8. **[メニュー]** を押し、送信者に返信するか、メッセージを転送するかを選択します。
9. 返信内容を入力し、**[送信]** を押します。

ヒント

• メールには Web ページへのハイパーリンクを含めることができます。

電子メールをダウンロードする

メッセージをダウンロードする方法は、設定されたメールアカウントにより異なります。

Outlook メールを送受信する

1. **[スタート]** > **[ActiveSync]** を選択します。
2. USB ケーブルか Bluetooth を使い、本機を PC に接続します。
3. 自動的に同期が開始され、本機が Outlook メールを送受信します。

ヒント

- ActiveSync の **[同期]** を選択するか、または Outlook Mobile で **[メニュー]** > **[送受信]** を選択すると、手動でいつでも同期を行うことができます。

POP3/IMAP4 メールを送受信する

プロバイダの提供するメールアカウントや、VPN サーバーを使用したアカウントをご利用の場合は、リモートメールサーバーを使ってメッセージを送受信できます。メッセージを送受信する前に、まずインターネットかネットワークに接続する必要があります。

1. **[スタート]** > **[メール]** を選択し、POP3 または IMAP4 メールアカウントを選択します。
2. **[メニュー]** > **[送受信]** を選択します。本機のメールとメールサーバーが同期されます。新しいメッセージが本機の受信トレイにダウンロードされ、本機の送信トレイにあるメッセージは送信されます。また、サーバーから削除されたメッセージは本機の受信トレイからも削除されます。

電子メール設定をカスタマイズする

Outlook メールのダウンロードサイズと形式を変更する

1. 本機を PC から切断します。

2. **[スタート]** > **[ActiveSync]** を選択します。

3. **[メニュー]** > **[オプション]** を選択し、**[電子メール]** を選んで **[設定]** を押します。

4. メール同期オプション画面で以下の設定を行います。
- **[メッセージの最大サイズ]** で任意のメールサイズを選択します。
- **[メッセージ形式]** で HTML またはテキストを選択します。

5. ActiveSync を閉じて本機を PC に再接続します。

POP3/IMAP4 メールのダウンロードサイズと形式を変更する

1. **[スタート]** > **[メール]** を選択し、アカウント選択画面で **[メニュー]** > **[設定]** を選択するか、またはアカウント選択後のメッセージ一覧画面で **[メニュー]** > **[ツール]** > **[オプション]** > **[アカウントの設定]** を選択します。

2. **[ダウンロードサイズの設定]** を選択します。

3. **[メッセージのダウンロード制限]** から任意のメールサイズを選択します。

4. **[メッセージ形式]** で HTML またはテキスト形式を選択します。

5. **[完了]** を押します。

全員に返信するときにメールアドレスを除外する

Outlook メールで全員に返信する場合、自分のメールアドレスも宛先に含まれます。自分自身のメールアドレスが宛先から除外されるよう、ActiveSync をカスタマイズすることができます。

1. **[スタート]** > **[ActiveSync]** を選択します。

2. **[メニュー]** > **[オプション]** を選択し、**[電子メール]** を選んで **[設定]** を押します。

3. **[メニュー]** > **[詳細設定]** を選択します。

4. **[標準の電子メール アドレス]** に自分のメールアドレスを入力します。

5. **[完了]** を押します。

IMAP4メールで添付ファイルを自動受信する

1. **[スタート]** > **[メール]** を選択します。

2. IMAP4メールアカウントを選択します。

3. **[メニュー]** > **[設定]** > **[ダウンロードサイズの設定]** を選択します。

4. **[添付ファイルのダウンロード]** からダウンロードサイズを選択します。

5. **[完了]** を押します。

7.7　キーボードショートカット

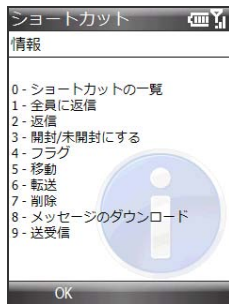
キーボードショートカットを利用して、メッセージの返信や転送などのメール機能をすばやく操作できます。

キーボードショートカットの一覧を表示する

1. **[スタート]** > **[メール]** を選択し、電子メールのメールアカウントを選択します。

2. メッセージ一覧画面で、ショートカット一覧が表示されるまで **「0」** キーを長押しします。

キーボードショートカットを使う

キーボードショートカットを利用するには、機能ごとに対応しているキーを長押しします。たとえば、メッセージをすばやく削除するときは、**「7」** キーを長押しします。

注意

・**「4 - フラグ」** は本機では機能しません。

第8章

インターネット

8.1 インターネットに接続する

インターネットに接続する方法

本機は、ワイヤレスや従来のネットワーク機能を使ってインターネットや社内ネットワークに接続できます。次のいずれかの方法が使用できます。

●ワイヤレスLAN
●パケット通信
●ダイヤルアップ （GSM のみ対応のため日本国内では使用できません）
●VPN (Virtual Private Network) やプロキシ接続など社内ネットワーク

8.2 ワイヤレスLAN

ワイヤレスLAN は最長100mの範囲で無線ネットワークを提供します。本機でワイヤレスLAN を利用してインターネットにアクセスするには、公衆または自宅のワイヤレスアクセスポイントに接続します。

注意

- 本機のワイヤレスLAN の受信強度や範囲は周囲の建物や障害物などの状況により異なります。
- 電池を節約するため、使用しないときはワイヤレスLAN をオフにしておくことをお勧めします。

ワイヤレスLANのオン/オフを切り替える

1. **[スタート]** > **[Comm Manager]** を選択します。
2. **[ワイヤレスLAN]** を選んでEnterボタンを押し、ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えます。
3. 利用可能なワイヤレスネットワークが検出されます。

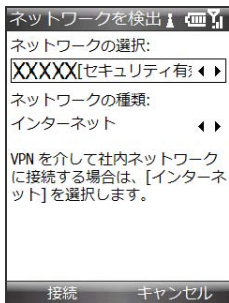
ワイヤレスネットワークへの接続

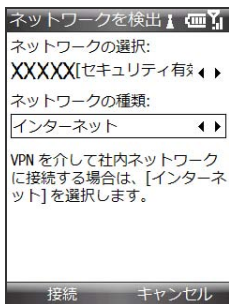
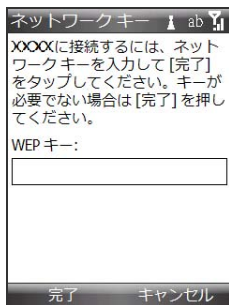
ワイヤレスLAN がオンになると、本機は利用可能なワイヤレスネットワークの検索を開始します。

ワイヤレスネットワークに接続する

1. 使用可能なネットワークの一覧を表示するかどうかの確認画面が表示されますので、**[はい]** を押します。

8
インターネット

2. **ネットワークの選択**で接続するワイヤレスLANを選択します。

3. ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する場合は、**ネットワークの種類**で **[インターネット]** を選択します。ワイヤレス LANを使って社内 LAN などのプライベートネットワークに接続する場合は、**[プライベート/社内ネットワーク]** を選択し、**[接続]** を押します。

8 インターネット

4. ワイヤレスLANがネットワークキーにより保護されている場合は、キーを入力し、**[完了]** を押します。

次回、本機を使ってワイヤレスネットワークを検出するときは、確認画面は表示されません。アクセスしたことのあるネットワークへ再度アクセスする場合は、ネットワークキーも入力する必要はありません（ただし、本機をフォーマットした場合を除きます）。

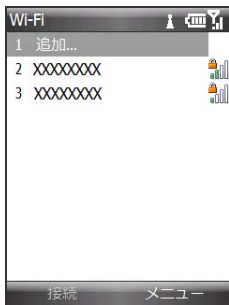
注意

- ワイヤレスLAN ネットワークは自動的に検出されますので、接続のための操作は必要ありません。ただし、一部の非公開ワイヤレスネットワークに関しては、ユーザー名やパスワードの入力が必要な場合があります。

ワイヤレス LAN の状態を確認する

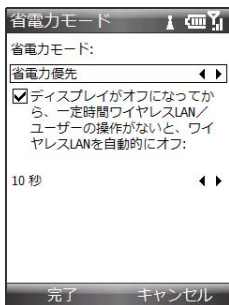
本機では、次の２つの画面でワイヤレス接続状態を確認できます。

● **タイトルバー**： 本機でワイヤレスLAN を有効にすると、タイトルバーにワイヤレスLAN オンのアイコン（ ）が表示されます。
ワイヤレスLAN がオンになると、本機は使用可能なワイヤレスネットワークを検索し、タイトルバーにはワイヤレス信号アイコン（ ）が表示されます。本機がワイヤレス LAN 信号を検出しているときは、アイコンの矢印が前後に動きます。ワイヤレス LAN への接続が確立すると矢印の動きが止まります。

● **ワイヤレス LAN 画面**：**[スタート]** ＞ **[設定]** ＞ **[接続]** ＞ **[ワイヤレスLAN]** ＞ **[Wi-Fi]** を選択します。ここでは、本機が接続しているワイヤレスネットワークの名前が表示されます。ワイヤレスネットワークの構成や信号の強度も表示されます。

・一覧の中のワイヤレスネットワークに接続するには、任意のネットワークを選択し、**[接続]** を押します。
・一覧にあるワイヤレスネットワークを選択して詳細を表示したり、または接続設定を変更することができます。
・**[追加]** を選択すると、新しいワイヤレスネットワークを追加できます。

8
インターネット

ワイヤレスネットワークに接続中に電池を節約するには

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[ワイヤレス LAN]** > **[省電力モード]** を選択します。

2. **[省電力モード]** で省電力モードを選択し、**[完了]** を押します。
[性能優先] を選択するとワイヤレスLAN 性能が向上し、**[省電力優先]** を選択すると電池を節約することができます。

ヒント

- 無操作状態が一定時間続いたとき、自動的にワイヤレスLANをオフにするには、**[ディスプレイがオフになってから、一定時間ワイヤレスLAN/ユーザーの操作がないと、ワイヤレスLANを自動的にオフ]** にチェックを入れて、ワイヤレスLANをオフにする時間を選択します。

8.3　3G パケット通信

3Gパケット通信は、パケット通信網により情報の送受信を行うデータ通信サービスです。インターネットに接続したり、電子メールを送受信することができます。3Gパケット通信を使用してデータの送受信を行うと、データのパケット数に応じて通信料が課金されます。

本機のパケット通信設定

本機には、あらかじめ次の2通りの3Gパケット通信設定が登録されています。

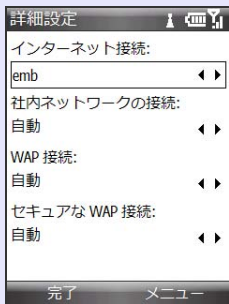
● **EMnet（標準設定）**：EMnetサービスを利用して通信を行います。

● **emb**：EMnetサービスを利用しない設定です。

注意

・EMnet 未加入のお客さまは、以下の手順にて接続名 **[EMnet]** から **[emb]** に切り替えることで、インターネットへの接続等が可能となります。

※EMnetに加入されている場合は、この操作は必要ありません。

1. **[スタート]** ＞ **[設定]** ＞ **[接続]** を選択します。
2. **[メニュー]** ＞ **[詳細設定]** を選択します。
3. インターネット接続で **[emb]** を選択します。

4. **[完了]** を押して、接続の設定を終了します。

8
インターネット

パケット通信の接続を設定する

パケット通信の設定内容を変更してしまった場合、アクセスポイント名やユーザー名、パスワードを以下の手順で設定してください。

[EMnet] を設定する場合

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[GPRS]** を選択します。
2. **[EMnet]** を選択します。
3. **[アクセス ポイント]** に **「emnet.connect」** と入力します。
4. **[ユーザー名]** および **[パスワード]** に **「emobile」** と入力し、**[完了]** を押します。
5. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[プロキシ]** を選択します。
6. **[HTTP]** を選択します。
7. **[プロキシ(名前:ポート)]** に「wm.internal.emnet.ne.jp:8080」と入力し、**[種類]** でHTTP を選択して、**[完了]** を押します。
8. **[SOCKS]** を選択します。
9. **[プロキシ(名前:ポート)]** に「wm.internal.emnet.ne.jp:1080」と入力し、**[種類]** で **Socks4** を選択して、**[完了]** を押します。

[emb] を設定する場合

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[GPRS]** を選択します。
2. **[emb]** を選択します。
3. **[アクセス ポイント]** に **[emb.ne.jp]** と入力します。
4. **[ユーザー名]** および **[パスワード]** に **「em」** と入力し、**[完了]** を選択します。

8.4 ダイヤルアップ/その他の接続

本機を使ってプロバイダやインターネットに接続する場合、接続時間に応じて課金される場合があります。

プロバイダへのダイヤルアップ接続を設定する

本機でダイヤルアップ接続を確立する場合は、プロバイダのサーバーの電話番号、ユーザー名、パスワードなどが必要となります。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[ダイヤルアップ]** を選択します。
2. **[追加]** を選択します。
3. **[名前]** で接続名を入力します。
4. **[接続先]** で **[インターネット]** を選択します。
5. プロバイダのサーバーの電話番号を入力します。
6. ユーザー名、パスワード、その他のプロバイダが必要とする情報を入力します。
7. **[完了]** を押します。

社内ネットワークへの接続

VPN (Virtual Private Network) 接続を利用すると、本機のインターネット接続を通して社内ネットワークにアクセスできます。

プライベートネットワークへの接続を設定する

1. ネットワーク管理者から以下の情報を入手してください。
   ・サーバーの電話番号
   ・ユーザー名
   ・パスワード
   ・メイン (および IP アドレスなど、必要とされるその他の設定)
2. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[ダイヤルアップ]** を選択します。
3. **[追加]** を選択します。

4. **[名前]** で接続名を入力します。

5. **[接続先]** で **[社内ネットワーク]** を選択します。

6. その他必要とする情報を入力し、**[完了]** を押します。

8.5　データ接続を始める

3G パケット通信などの接続を設定すると、本機を使ってインターネットへアクセスすることができます。インターネット接続を必要とするプログラムを起動すると、自動的に接続が確立します。たとえば、インターネットを閲覧するためにInternet Explorer Mobile を起動すると、本機は自動的にインターネットに接続されます。

3G パケット通信の接続を切断する

[スタート] > **[Comm Manager]** を選択し、**[データ接続]** を選んでEnterボタンを押します。

8.6 Internet Explorer Mobile

Internet Explorer を使って、モバイル向け／パソコン向けの各種サイトを閲覧できます。

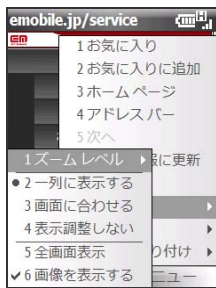
Internet Explorer を起動する

●**[スタート]** > **[Internet Explorer]** を選択します。

Webページを閲覧する

[メニュー] > **[アドレスバー]** を選択し、閲覧したいWebページのアドレスを入力します。**[移動]** を押すとWeb ページが開きます。

Internet Explorer メニューについて

Webページを表示中に **[メニュー]** を選択すると、次のような機能を利用できます。

表示中のWebページをお気に入りフォルダに保存するには、**[メニュー]** > **[お気に入りに追加]** を選択します。**[お気に入り]** を選択すると、保存したお気に入りを選択して表示できます。

Webページの文字サイズや表示方法を変更するには、**[メニュー]** > **[表示]** を選択します。

8 インターネット

表示中のWebページのURLを送信したり、Webページのプロパティを確認したり、Internet Explorer Mobileの設定をするには、**[メニュー]**＞**[ツール]**を選択します。

表示中のWebページを縮小表示するには、**[縮小]**を押します。元の表示サイズに戻すには、**[拡大]**を押します。

8.7　本機をモデムとして使う

インターネット共有とは、本機の 3G パケット通信によるインターネット接続をPC など他の機器から利用する機能です。USBケーブルまたはBluetoothによる接続を選択できます。
次の手順で本機を USB モデムとして接続できます。本機を Bluetooth モデムとして使用するには、「本機を Bluetooth モデムとして使う」（P.161）をご覧ください。

注意

- 本機にEM chip（USIMカード）が取り付けられ、パケット通信の設定が完了している必要があります。データ接続の設定が完了していない場合は、インターネット共有画面で**[メニュー]** > **[接続の設定]**を選択してください。
- USB ケーブルで接続している場合は、PCにWindows Mobileデバイスセンター、または Microsoft ActiveSync 4.5 以降がインストールされている必要があります。
- インターネット共有を使用する前に、PC の Windows Mobileデバイスセンターまたは ActiveSyncとの同期を中止してください。

本機を USB モデムとして設定する

1. 本機で **[スタート]** > **[インターネット共有]** を選択します。

2. **[PC との接続]** の一覧で **[USB]** を選択します。

3. **[ネットワーク接続]**から本機がインターネット接続で使用している接続名を選択します。

4. USB ケーブルで本機と PC を接続します。

5. **[接続]** を押します。

インターネット接続を終了する

インターネット共有画面で **[切断]** を選択します。

本機を Bluetooth モデムとして使う

Bluetooth を使って本機をノート PC やデスクトップ PC に接続し、本機をモデムとして使用することができます。

注意

- PC に Bluetooth 機能が搭載されていない場合は、Bluetooth アダプタを使用してください。

PC が本機の接続を利用してインターネットにアクセスする場合、本機のインターネット共有を有効にし、PC と本機との間で PAN (Bluetooth Personal Area Network) を設定する必要があります。

1. 本機で Bluetooth をオンにし、検出可能モードにします。

2. 「Bluetooth パートナーシップを確立する」（P.171）の手順に従い、本機から Bluetooth のペアリングを行います。

3. 本機のインターネット共有プログラムを開きます。**[スタート]** > **[インターネット共有]** を選択します。

4. **[PC との接続]** で **[Bluetooth PAN]** を選択します。

5. **[ネットワーク接続]**から本機がインターネット接続で使用している接続名を選択します。

6. **[接続]** を押します。

7. PC で Bluetooth PAN (Personal Area Network) を設定します。

Windows Vista の場合:

a. **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[ネットワークとインターネット]** > **[ネットワークと共有センター]** をクリックします。

b. **[ネットワーク接続の管理]** をクリックし、**[パーソナルエリアネットワーク]** で **[Bluetooth ネットワーク接続]** をダブルクリックします。

c. **[Bluetooth パーソナルエリアネットワークデバイス]** のダイアログボックスで本機を選択し、**[接続]** をクリックします。

Windows XP の場合：

a. **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[ネットワーク接続]** をクリックします。

b. **[パーソナルエリアネットワーク]** で **[Bluetooth ネットワーク接続]** アイコンをクリックします。

c. **[ネットワークタスク]** で **[Bluetooth ネットワークデバイスを表示]** をクリックします。

d. **[Bluetooth パーソナルエリアネットワークデバイス]** のダイアログボックスで本機を選択し、**[接続]** をクリックします。

8. 本機のインターネット共有画面で、接続ステータスが表示されていれば、PC が 本機を Bluetooth モデムとして使用し、インターネットに接続されたことを意味します。

8.8　Windows Live

Windows Live は、本機でインターネット機能を楽しむためのツールです。
インターネット上で情報を検索したり、友人や家族と連絡を取ることが、より簡単になります。
Windows Live には次のような機能があります。
●**Live Search バー**：Web 上の情報を検索します。
●**Live Messenger**：MSN Messenger Mobile の次世代プログラムです。
●**Live Mail**：Hotmail の次世代バージョンです。
●**Live Contacts**：Live Mail、Live Messenger、Hotmail の連絡先を保存するアドレス帳です。

Windows Live を設定する

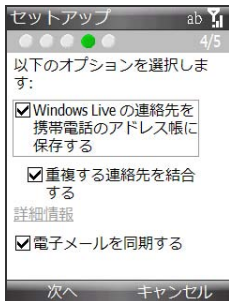
初めて Windows Live を使用するときは Windows Live ID（お手持ちの Windows Live Mail または Hotmail のメールアドレス）を使ってサインインします。

初めて Windows Live を設定する

1. **[スタート]** > **[Windows Live]** を選択します。
2. **[クリックしてサインインします]** を選択します。
3. 次の画面でWindows Liveの使用規定とマイクロソフトのプライバシーポリシーをお読みください。最後に **[承諾]** を押します。

4. ご利用の Windows Live Mail またはHotmail アドレスとパスワードを入力し、**[パスワードを保存する]** にチェックを入れ、**[次へ]** を押します。

5. Windows Live アプリケーションをホーム画面に表示するかどうかを選択し、**[次へ]** を押します。

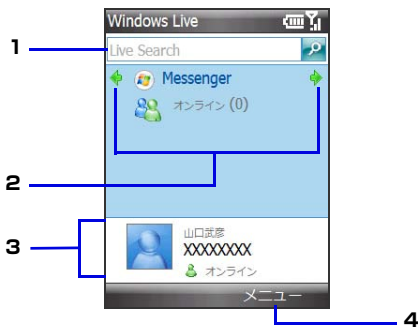
6. 本機と同期させる情報を選択します。

[Windows Liveの連絡先を携帯電話のアドレス帳に保存する] を選択した場合、Windows Liveの連絡先が本機の連絡先と Live Messenger の両方に追加されます。

[電子メールを同期する]を選択した場合、Windows Live Mail または Hotmailの受信トレイにあるメッセージが本機にダウンロードされます。

7. **[次へ]** を選択します。

8. 同期が完了したら、**[完了]** を押します。

Windows Liveのインターフェース

Windows Liveのメイン画面には検索バー、ナビゲーションバー、そしてカスタマイズエリアが表示されます。この部分には自分の画像を表示できます。

1 Live Search バー

2 左右の矢印を選択すると、Windows Live Messenger、 Live Mail、同期ステータスを切り替えます。

3 Windows Live Messenger の設定を開きます。

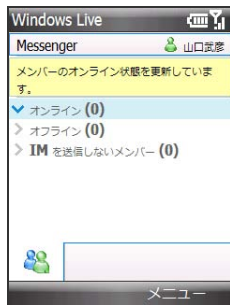
4 **[メニュー]** を選択し、設定の確認や変更を行います。

ヒント

- ホーム画面に Windows Live アプリケーションを表示するよう設定できます。これらの表示/非表示を切り替えるには、Windows Live を開き、**[メニュー]** > **[オプション]** > **[ホーム画面のオプション]**を選択します。

Windows Live Messenger

Windows Live Messenger では、オンラインでインスタントメッセージを送受信できます。PCのWindows Live Messengerと同様に、以下の機能がご利用になれます。

●文字や音声のインスタントメッセージ
●複数ユーザー同士の会話
●絵文字
●オンライン状態が表示されるメンバーリスト
●画像などのファイルの送受信
●オンライン状態や表示名の変更
●オンライン状態、グループなどでメンバーを分類表示
●メンバーがオフラインのときでもメッセージ送信可能

注意

・Live Messenger を使用するには、本機をインターネットに接続する必要があります。インターネットへの接続方法については、「8.1 インターネットに接続する」（P.148）をご覧ください。

メッセンジャーを起動し、サインイン

Windows Live Messenger を開く

● **[スタート]** > **[Messenger]** を押します。

サインインとサインアウト

1. サインインするには、メッセンジャー画面で **[サインイン]** を押します。

2. 初めてサインインするときは、本機の連絡先リストにメッセンジャーのメンバーが追加されることを知らせる通知が表示されます。**[OK]** を押してメンバーを追加します。
ご利用の接続状態により、サインインには数分かかる場合があります。

3. サインアウトするには、**[メニュー]** > **[サインアウト]** を選択します。オンライン状態がオフラインに変わります。

注意
・サインインすると通信が発生し、電池の消耗が早くなります。

会話を始める/終了する

1. メンバーリストでメンバーを選択し、**[メッセージの送信]**を選択し、メッセージ画面を開きます。

2. メッセージ画面の文字入力欄に文字のメッセージを入力します。

3. 絵文字を追加するには、**[メニュー]** > **[絵文字の追加]** を選択し、絵文字の一覧から使用するアイコンを選択します。

4. **[送信]** を選択します。

5. 会話を終了するには、**[メニュー]** > **[会話を終了]** を選択します。

ヒント
・ファイルを送信するには、**[メニュー]** > **[送信]** を選択します。画像、音声メモ、その他のファイルを選択できます。
・進行中の会話に他のメンバーを招待するには、**[メニュー]** > **[オプション]** > **[参加者の追加]** を選択します。

Windows Live のメンバーを追加する

Windows Live Messenger または本機の連絡先で、Windows Live のメンバーを追加できます。

Windows Live Messenger で Windows Live のメンバーを追加する

1. **[メニュー]** > **[新しいメンバーの追加]** を選択します。

2. メンバーの電子メールアドレスを入力し、**[OK]** を選択します。

連絡先 で Windows Live のメンバーを追加する

1. **[連絡先]** を押します。

2. **[新規作成]** を選択し、**[Windows Live]** を選択します。

3. **[IM]** 欄を選択し、相手の Windows Live ID であるメンバーの電子メールアドレス、またはその他のメールアドレスを入力します。

ヒント

- 必要に応じてメンバーのその他の情報も入力できますが、Windows Live Messenger や Live Mail のみを使って連絡する相手であれば、必須ではありません。

第9章

Bluetooth

9.1　Bluetoothのモード

Bluetooth とは近距離における無線通信技術です。Bluetooth 対応機器同士であれば、約8m 以内で無線通信を行うことができます。
本機の Bluetooth には3つのモードがあります。

- ●**オン**: 本機は他の Bluetooth 対応機器を検出することができますが、相手側の機器から検出することはできません。
- ●**オフ**: このモードでは、Bluetooth を使ってデータを送受信することはできません。電池を節約したい場合や、航空機内、病院内などワイヤレス通信機器の使用が禁じられている場所では Bluetooth をオフにしてください。
- ●**検出可能**: Bluetooth がオンになっており、他の Bluetooth 対応機器が本機を検出できます。

注意

- 既定では Bluetooth はオフになっています。Bluetooth をオンにした状態で本機の電源を切ると、Bluetooth もオフになります。本機の電源を入れると、Bluetooth は自動的にオンになります。

Bluetooth をオンにし、本機を検出可能にする

1. 本機で **[スタート]** > **[Comm Manager]** を選択します。
2. **[Bluetooth]** を選んでEnterボタンを押し、Bluetoothをオンにします。

9
Bluetooth

9.2　Bluetooth パートナーシップ

Bluetooth パートナーシップ（ペアリング）とは、本機と他の Bluetooth 対応機器との間で安全なデータ通信を行うための接続関係です。

Bluetooth パートナーシップを確立する

1. 本機で **[スタート]** ＞ **[設定]** ＞ **[接続]** ＞ **[Bluetooth]** ＞ **[Bluetooth]** を選択します。
2. **[新しいデバイスの追加]** を選択します。本機が他の Bluetooth デバイスを検索し、一覧に表示します。
3. ここで任意の名前を選択します。
4. **[次へ]** を押します。
5. 安全な接続を確立するため、パスコードを指定します。パスコードは 1 ～16 文字で設定します。
6. **[次へ]** を押します。
7. 相手のデバイスがパートナーシップを受け入れるまで待ちます。パートナーシップを受け入れる側も、送信側と同じパスコードを入力する必要があります。
8. パートナーシップが確立すると、相手のデバイスの名前が表示されます。この名前は任意に変更できます。
9. ペアリングしたデバイスから使用するサービスにチェックを入れます。
10. **[完了]** を押します。

Bluetooth パートナーシップを受け入れる

1. Bluetooth がオンになっており、検出可能モードにあることを確認します。
2. 他のデバイスからパートナーシップの要求を受けたときに、**[はい]** を選択します。
3. パスコードを入力します（パートナーシップ要求側が入力したものと同じパスコード）。パスコードは 1 ～16 文字です。

4. **[次へ]** を押します。

5. **[完了]** を押します。

以上でペアリングした相手とデータ通信ができるようになります。

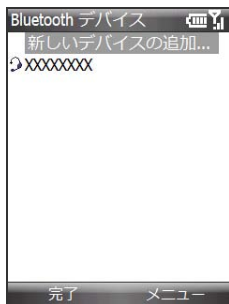
ヒント

- Bluetooth　パートナーシップの名前を変更するには、パートナーシップを選んで、**[メニュー]** > **[編集]** を選択します。
- Bluetooth パートナーシップを削除するには、パートナーシップを選んで、**[メニュー]** > **[削除]** を選択します。

9.3　Bluetoothヘッドセットを接続する

ハンズフリー通話には、Bluetooth 対応のハンズフリーヘッドセットをご利用ください。
本機は Bluetooth でのステレオオーディオを実現する A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応しています。このため、本機で Bluetooth ステレオヘッドセットを使用し、通話したり、音楽を聴くことができます。

Bluetooth 対応ハンズフリーまたはステレオヘッドセットを接続する

1. 本機と Bluetooth ヘッドセットの両方がオンになっていること、通信範囲内にあること、検出可能となっていることを確認します。ヘッドセットを検出可能モードに切り替える方法については、メーカーの取扱説明書をご覧ください。
2. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** を選択します。
3. **[Bluetooth]** > **[Bluetooth]** > **[新しいデバイスの追加]** を選択します。本機が他の Bluetooth デバイスを検索し、一覧に表示します。

4. Bluetooth ヘッドセットの名前を選んで、**[完了]** を押します。

ヒント

- Bluetooth ステレオヘッドセットが切断された場合は、ヘッドセットをオンにして、1～3の手順を繰り返します。Bluetooth ステレオヘッドセットの名前を選んで、**[メニュー]** > **[ハンズフリーに設定]** を選択します。

9.4 Bluetoothで情報をビームする

連絡先、予定表のアイテム、仕事などのデータ、およびその他のファイルをBluetooth 対応の PC やデバイスに転送することができます。

注意

- PC に Bluetooth 機能が搭載されていない場合は、Bluetooth アダプタを使用してください。
- PCによっては、Bluetoothの設定方法が異なる場合があります。

本機の情報を PC にビームする

1. 本機の Bluetooth をオンにし、検出可能に設定します。方法については、「Bluetooth をオンにし、本機を検出可能にする」（P.170）をご覧ください。

2. 以下の手順に従って、PCのBluetooth機能および検出可能モードをオンにします。

a. PCのコントロールパネルから**[Bluetoothデバイス]**を開き、**[オプション]**タブをクリックします。

b. Windows Vistaの場合は、**[Bluetooth デバイスによる、このコンピュータの検出を許可する]**を選択します。

Windows XPの場合は、**[発見機能を有効にする]**と**[Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する]**を選択します。

c. 本機と PC の間で Bluetooth パートナーシップを確立します。パートナーシップの確立方法については、「9.2 Bluetoothパートナーシップ」（P.171）をご覧ください。

d. **[Bluetoothデバイス]**の**[オプション]**タブで、**[Bluetoothアイコンを通知領域に表示する]**を選択します。

e. Bluetooth によるビームを行うには、PCの画面の右下にあるBluetoothアイコンを右クリックして、**[ファイル受信]**を選択します。

3. 本機でアイテムを選択したままにし、ビームを行います。連絡先や予定表、仕事、画像、その他のファイルなどをビームできます。

4. 連絡先をビームするときは **[メニュー]** > **[連絡先の送信]** > **[ビーム]** を、画像をビームするときは **[メニュー]** > **[ビーム]** を選択します。

その他の情報をビームするには、**[メニュー]** > **[ビーム]** を選択します。

5. ビーム先のデバイス名を選んで **[ビーム]** を押します。

6. Outlook アイテムをビームする場合、自動的に Outlook には追加されませんので、Outlook で **[ファイル]** > **[インポートとエクスポート]** を選択し、インポートする必要があります。

ポケット PC などの Bluetooth 対応機器にビームする場合は、1～5の手順で行います。

注意

- PCにBluetooth機能が搭載されていない場合、コントロールパネルに **[Bluetoothデバイス]** アイコンは表示されません。
- PCにBluetooth機能が搭載されている場合でも、コントロールパネルに **[Bluetoothデバイス]** アイコンが表示されず、他の方法を利用している場合があります。

ヒント

- ビームで受信したアイテムが保存されるデフォルトフォルダは、Windows XPでは**マイドキュメント**、Windows Vistaでは**ドキュメント**となります。
- 本機でビームを受信するには、**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[ビーム]** を選択し、**[着信ビームを受信する]** にチェックを入れます。

9.5 Bluetooth ExplorerとBluetoothファイル共有

Bluetooth Explorerを利用して、他のBluetoothデバイスとの間でファイルのやり取りを行うことができます。

Bluetooth ExplorerとBluetoothファイル共有を有効にする

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[Bluetooth]** > **[Bluetooth FTP]** を選択します。
2. **[Bluetooth エクスプローラーの有効]** にチェックを入れます。
   ファイル エクスプローラに**Bluetooth**デバイスフォルダが表示されるようになります。
3. **[ファイルの共有の有効]** にチェックを入れます。
   [My Documents] > **[Bluetooth 共有フォルダ]** を他のBluetoothデバイスからアクセス可能にします。**[参照]** を選択して他のフォルダを指定することもできます。
4. **[完了]** を押します。

Bluetooth Explorerを使う

1. **[スタート]** > **[Bluetooth Explorer]** を選択します。
   自動的にBluetoothデバイスの検出が行われ、一覧表示されます。
2. 接続したいデバイスを選択してEnterボタンを押します。
   相手のデバイスによってはパスコードを入力する画面が表示されるので、画面の指示に従って操作します。
3. 画面に相手のデバイスの Bluetooth 共有フォルダの内容が表示されるので、フォルダ／ファイルの選択やコピーなどの操作を行います。

第10章

マルチメディアを楽しむ

10.1 カメラを使う

本機に内蔵されたカメラを使って、写真や音声付きビデオクリップを撮影することができます。

カメラ画面を開く

●本体側面のカメラボタンを長押しします。
●**[スタート]** > **[カメラ]** を選択します。

カメラを終了する

●終了ボタンを押します。

キャプチャモード

本機のカメラを使い、さまざまなモードで画像やビデオクリップを撮影することができます。既定のキャプチャモードはフォトに設定されています。

キャプチャモードを切り替える

ナビゲーションコントロールの上下ボタンを押してキャプチャモードを切り替えます。

現在のキャプチャモード

このカメラでは、以下のキャプチャモードが使用できます。

アイコン	キャプチャモード	
	フォト	標準の静止画像を撮影します。
	ビデオ	ビデオクリップを音声付き／音声なしで撮影します。
	MMS ビデオ	EMnet メール で送信するビデオクリップを撮影します。
	連絡先ピクチャ	静止画像を撮影し、この画像をすぐに連絡先のフォトID として使用できます。
	ピクチャのテーマ	静止画像を撮影し、フレームに挿入します。
	パノラマ	同じ方向で連続した静止画像を複数撮影し、これらをつなぎ合わせて風景のパノラマビューを作成します。

対応ファイル形式

上記のキャプチャモードでは、次の画像形式で撮影できます。

キャプチャタイプ	形式
静止画像/連絡先ピクチャ/ピクチャのテーマ/パノラマ	JPEG
ビデオ/MMSビデオ	MPEG-4 (mp4)、H.263 (3gp)

カメラの操作

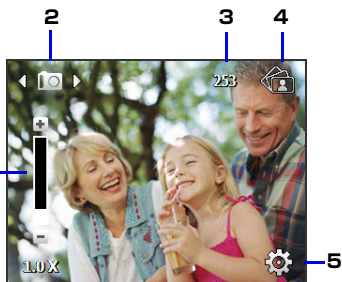
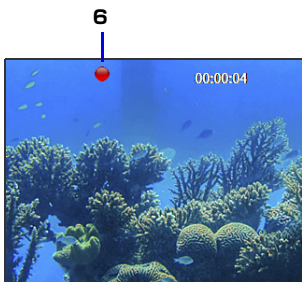
写真を撮影する

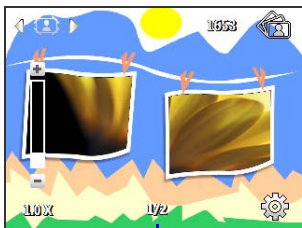
●カメラボタンまたはEnterボタン押し、写真や連絡先ピクチャを撮影します。
●ピクチャのテーマやパノラマ用写真を撮影するときは、1 回ずつ Enter ボタンを押します。

ビデオを撮影する

カメラボタンまたはEnter ボタンを押してビデオ録画を開始します。もう一度押すと録画を停止します。

画面上のボタンとアイコン

カメラを起動すると、撮影画面は自動的に横画面表示に変わります。

1	ズーム	＋／－を選択してズーム倍率を切り替えます。キャプチャモードや解像度によって選択できる倍率が異なったり、ズームが行えない場合があります。
2	モード切り替え	キャプチャモードを切り替えることができます。
3	残り枚数／時間表示	フォト、連絡先ピクチャ、ピクチャのテーマ、パノラマでは、現在の設定で撮影可能な残り枚数を提示します。ビデオモードでは、録画可能な残り時間を提示します。 ビデオ録画中は、ここに録画経過時間が表示されます。
4	カメラアルバム	アルバムで写真やビデオを表示します。
5	メニュー	カメラ詳細設定画面を開きます。
6	録画インジケータ	ビデオ録画実行中は赤いインジケータが点滅します。

ピクチャのテーマモード

パノラマモード

7	**進度インジケータ**	ピクチャのテーマ、パノラマで、連続撮影の合計枚数を示します。

ズーム

カメラで静止画像やビデオクリップをキャプチャするとき、被写体をより大きく撮るためにズームインしたり、またはより広い範囲を撮るためにズームアウトすることができます。

ズームインする

ナビゲーションコントロールの右ボタンを押します。

ズームアウトする

ナビゲーションコントロールの左ボタンを押します。
画像やビデオクリップ撮影時のズーム範囲はキャプチャモードやキャプチャサイズにより異なります。下表を参照してください。

キャプチャモード	キャプチャサイズ設定	ズーム範囲
フォト	3M (2048 × 1536)	1.0× ～ 2.0×
	2M (1600 × 1200)	1.0× ～ 2.0×
	1M (1280 × 1024)	1.0× ～ 2.0×
	大 (640 × 480)	1.0× ～ 2.0×
	中 (320 × 240)	1.0× ～ 4.0×
ビデオ	CIF (352 × 288)	1×、2.0×
	大 (320 × 240)	1×、2.0×
	中 (176 × 144)	1×、2.0×
	小 (128 × 96)	1×、2.0×
パノラマ	大 (640 × 480)	1×、2×
	中 (320 × 240)	1×、2×、4×
MMS ビデオ	中 (176 × 144)	1×、2.0×
	小 (128 × 96)	1×、2.0×
連絡先ピクチャ	中 (320 × 240)	1.0× ～ 4.0×
ピクチャのテーマ	テンプレートによる	使用するテンプレートのサイズによる

レビュー画面

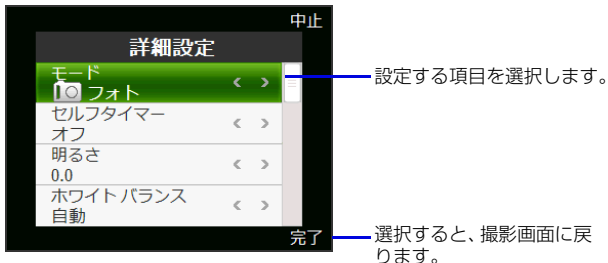
静止画像やビデオクリップを撮影した後、撮影した写真やビデオをレビュー画面で確認できます。

画面中央のアイコンは、ナビゲーションコントロールのEnterボタン／上下左右ボタンに割り当てられています。

レビュー画面の下にあるアイコンを選択すると、キャプチャした画像やビデオを削除したり、メールで送信したり、その他の操作を行うこともできます。

アイコン		機能
	戻る	選択するとカメラ画面に戻ります。
	削除	選択するとキャプチャした画像やビデオを削除します。
	送信	選択するとメールで送信します。
	表示	選択すると、カメラアルバムで画像を表示したり、Windows Media Player Mobile でビデオを再生したりします。
	アイコン表示／非表示	選択するとレビュー画面のアイコンを非表示にします。再度選択するとアイコンが表示されます。
	連絡先に割り当てる	選択すると写真を選択した連絡先に割り当てます（キャプチャモードが連絡先ピクチャのときのみ表示されます）。

カメラ詳細設定画面

キャプチャモードで静止画像またはビデオクリップをキャプチャする場合、メニューアイコン（⚙）を選択すると、カメラ詳細設定画面を開くことができます。カメラ詳細設定画面では、キャプチャ設定を変更することができます。
使用可能なメニューやオプションは、キャプチャモードにより異なります。
表示される項目はキャプチャモードによって異なります。

●**モード**：フォト、ビデオ、連絡先ピクチャなど、異なるキャプチャモードを選択します。キャプチャモードについては、「キャプチャモードを切り替える」（P.178）をご覧ください。モードを切り替えると、選択しているモードで設定できる項目が表示されます。
●**セルフタイマー**：写真または連絡先ピクチャを撮影する際、セルフタイマーの時間を2秒または10秒に設定します。
●**明るさ**：画像の明るさを-2から+2の範囲で調整します。
●**ホワイトバランス**：ホワイトバランスを調整します。自動、日光、暗所、電球、蛍光灯 から選択します。
●**解像度**：写真／ビデオの解像度を選択します。
●**画質** ：すべての静止画像に対し、JPEG 画質を選択します。ベーシック、ノーマル、ファイン、スーパーファインのいずれかを選択します。
●**キャプチャ形式**（動画のみ）：任意のファイル形式を選択します。
●**タイムスタンプ**（フォトのみ）：撮影日時を入れるかどうかを選択します。
●**ストレージ**：ファイルを保存する場所を選択します。メインメモリまたはmicroSDカードに保存できます。

● **バックライトを維持**：カメラ使用中にバックライトを使用するかどうかを設定します。カメラ使用時は、カメラのバックライト設定が通常時のバックライト設定よりも優先されます。
● **レビュー時間**: 写真やビデオを撮影後、自動的に保存してカメラ画面に戻る前に、写真やビデオをプレビューする時間を設定します。時間制限を設定したくない場合は、**[無限]** を選択します。撮影後すぐにカメラ画面に戻る場合は、**[レビューしない]** を選択します。
● **効果**：**グレースケール**、**セピア**など、写真やビデオクリップに特殊効果を適用することができます。
● **測光モード**：測光モードを選択すると、最適な露出を計算するため、カメラが画像の中央のみで測光するか、または画像全体で測光するかを決定することができます。**[中心エリア]** を選択すると画像の中央で測光し、**[平均]**を選択すると画像全体で測光します。
● **保存ファイル名**：キャプチャした画像やビデオクリップの名前の付け方を指定します。**[デフォルト]** が選択されていると、キャプチャされたファイルはIMAGE または VIDEO という名前と数字の組み合わせで表示されます（例：IMAGE_001.jpg)。現在の**日付**または**日付/時刻**をプレフィックスとしてファイルを表示することもできます。
● **カウンター**：既定では、新しくキャプチャされた画像やビデオファイルはプレフィックスと001、002などの番号で表示されるようになっています。この番号を "001" にリセットするには、**[リセット]** を選択します。
● **ちらつき調整**：室内で撮影する場合、カメラ画面の縦スキャンと蛍光灯の点滅周波数との間で不整合が生じ、カメラ画面がちらつくことがあります。ちらつきを軽減するには、ちらつき調整を **[自動]** に設定するか、または本機をご利用になっている地域の正しい周波数 (**50Hz** または **60Hz**) に設定してください。
● **音声録音**（動画のみ）：ビデオクリップを音声と一緒に録画する場合は **[オン]** を選択します。既定ではオンになっています。**[オフ]** を選択してビデオ撮影を行うと、音声は録音されません。
● **通知を表示**（連絡先ピクチャモードのみ）：撮影した画像を連絡先に設定することを確認するメッセージを表示するかどうかを設定します。
● **テンプレート**（ピクチャのテーマモードのみ）：テンプレートを選択します。
● **記録制限**（ビデオモードのみ）：録画可能な最長時間または最大ファイルサイズを指定します。

● **テーマフォルダ**（ピクチャのテーマモードのみ）：既定では、テンプレートは本機メインメモリの¥My Documents¥Templates フォルダに保存されています。ファイル　エクスプローラなどを使ってmicroSDカードにテンプレートを転送してある場合は、このオプションを **[メイン+カード]** に設定し、メインメモリとmicroSDカードの両方からテンプレートを読み取れるようにします。
● **方向**　（パノラマモードのみ）：パノラマモードで画像をつなぎ合わせる方向を選択します。
● **連結枚数**　（パノラマモードのみ）：パノラマでつなぎ合わせる写真の枚数を選択します。
● **バージョン情報**：カメラのバージョン情報を表示します。

10.2 カメラアルバム

カメラで撮影した写真やビデオクリップは、「カメラアルバム」で見ることができます。カメラアルバムでは、画像の拡大表示やスライドショー表示、連絡先の画像登録などを行うことができます。

注意

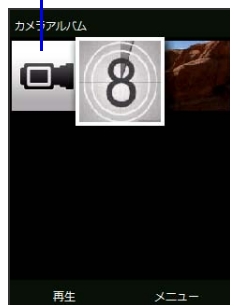
- ファイルによってはアルバム表示できない場合があります。対応しているファイル形式については、「対応ファイル形式」（P.195）をご覧ください。

アルバムを開く

以下のいずれかの手順でアルバムを開きます。

● **[スタート]** > **[カメラアルバム]** を選択します。

● カメラ起動中に を選択します。キャプチャモードによって、フォトまたはビデオのいずれかのカメラアルバムが表示されます。ビデオアルバムを表示するには、キャプチャモードをビデオまたはMMSビデオモードに切り替えます。

フォトモードからカメラアルバムを起動

ビデオモードからカメラアルバムを起動

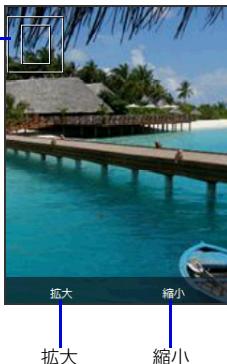
フォトアルバムの見かた

フォトアルバムでサムネイル画像を選択すると、その静止画を全画面表示します。全画面表示画面では、画像の拡大／縮小表示やスライドショーなどの操作を行うことができます。

全画面表示中にEnterボタンを押して**[メニュー]**を押すと、以下のメニュー項目が表示されます。

項目	機能
スライドショー	スライドショーを開始します。
送信	画像が添付されたメールを作成します。
連絡先に保存	表示中の画像を連絡先に登録します。
削除	表示中の画像を削除します。
プロパティ	画像のファイルの情報を確認します。
オプション	画像やスライドショーの表示方法を設定します。

静止画を拡大表示する

全画面表示画面で **[拡大]** を押すと画像が拡大表示され、**[縮小]** を押すと画像が縮小表示されます。ナビゲーションコントロールの上下左右ボタンを押して、拡大表示する画像の位置を選択することができます。

ヒント

- 拡大表示しているときにEnterボタンを押すと、元の表示サイズに戻ります。

前後の静止画に切り替える

静止画の表示中にナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、前後の静止画に切り替わります。

画像をスライドショー表示する

フォトアルバム画面で**[スライドショー]**を押すか、全画面表示画面で**[メニュー]**＞**[スライドショー]**を選択すると、スライドショーを表示します。スライドショー再生中にEnterボタンを押すと、スライドショーを停止します。

ビデオアルバムの見かた

ビデオアルバムのサムネイル画像を選択すると、Windows Media Playerでビデオを再生することができます。

ヒント

- Windows Media Playerでビデオファイルを選択し、**[再生]**を選択して再生することもできます。（P.198）

カメラアルバムを終了してカメラに戻る

カメラアルバム画面で または を選択します。

カメラアルバムを終了する

カメラアルバム画面で終了ボタンを押します。

10.3 画像とビデオを使う

画像とビデオでは、本機に保存されている画像やビデオクリップを集め、整理し、分類することができます。

ファイルタイプ	ファイル拡張子
画像	bmp、jpg、gif、png
GIF アニメーション	gif
ビデオ	avi、wmv、mp4、3gp、3g2
オーディオ	wma

画像とビデオを表示する

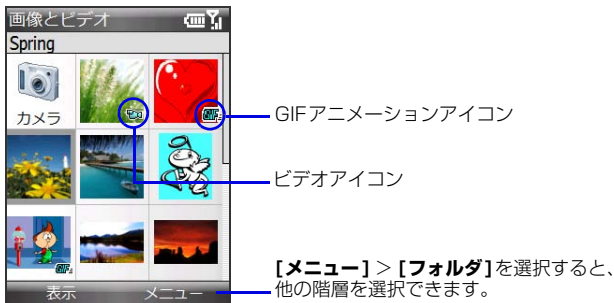
[スタート] ＞ **[画像とビデオ]** を選択します。

メディアファイルを本機にコピーする

- PCやmicroSDカードから、本機のマイ ピクチャフォルダに画像やGIFアニメーションをコピーします。
- PCやmicroSDカードから、本機のマイ ビデオフォルダにビデオファイルをコピーします。

ファイルのコピーや管理についての詳細は、「11.4 ファイルをコピー/管理する」（P.218）をご覧ください。

メディアファイルを表示する

1. **[スタート]** > **[画像とビデオ]** を選択します。
2. メディアファイルを選択し、**[表示]** または **[再生]** を選択します。

画像とビデオのメニューオプション

メディアファイルを選択して **[メニュー]** を押すと、実行可能なオプション一覧が表示されます。

設定しているメールアカウントを使用して送信したり、他のデバイスにビームしたり、写真をスライドショーで表示したり、Windows Liveの自分のスペースに送信したりできます。
[オプション]を選択すると、画像の設定やスライドショーの表示方法を設定できます。

注意
- 表示されるメニューオプションは、選択しているメディアファイルによって異なります。

画像を編集する

簡単な操作で静止画ファイルの回転やトリミングが行えます。

1. 画像とビデオ画面で編集したい画像を選んで**[表示]**を押します。
2. **[メニュー]** > **[編集]**を選択します。
3. **[メニュー]**を選択して編集オプションを選択します。

ヒント
- **[回転]**を選択するたびに、時計回りに90度ずつ画像が回転します。

4. **[完了]**を押します。

10.4　Windows Media Player Mobile を使う

Windows Media Player Mobile を使い、本機やネットワーク上のデジタルオーディオやビデオファイルを再生することができます。

Windows Media Player Mobile を起動する

[スタート] > **[Windows Media]** を選択します。

コントロールについて

以下は Windows Media Player Mobile で使用できるコントロールボタンです。
ファイルを再生/一時停止します。

現在のファイルの最初、または前のファイルにジャンプします。

次のファイルにジャンプします。

ファイルを再生/一時停止します。

画面とメニューについて

Windows Media Player Mobile には３つの主要画面があります。

● **再生画面**：再生コントロール (再生、一時停止、次へ、戻る) とビデオウィンドウが表示される最初の画面です。この画面の外観は、他のスキンを選ぶと変更することができます。

● **プレイビュー画面**：プレイビュー再生リストを表示する画面です。この再生リストには、現在再生されているファイルと次に再生されるファイルが表示されます。
● **ライブラリ画面**：オーディオファイル、ビデオファイル、再生リストなどをすばやく見つけることができる画面です。

各画面で **[メニュー]** を選択すると、実行可能なオプション一覧が表示されます。各画面のメニューオプションについては、本機のヘルプをご覧ください。

対応ファイル形式

ビデオファイル

ファイル形式	ファイル拡張子
Windows Media Video	wmv、asf
MPEG4 Simple Profile	mp4
H.263	3gp、3g2
H.264	mp4、3gp、3g2、m4v
Motion JPEG	avi

オーディオファイル

ファイル形式	ファイル拡張子
Windows Media Audio	wma
MP3	mp3
MIDI	mid
AMR ナローバンド	amr
AMR ワイドバンド	awb
AAC	m4a

ライセンスと保護されたファイルについて

保護されたファイルを PC から本機にコピーする場合、PCのWindows Media Playerを使ってファイルを本機に同期させてください (PC から本機のデバイスにドラッグするだけではコピーできない場合があります)。同期により、保護されたファイルはライセンスとともにコピーされます。ファイルの同期に関する詳細は、PCのWindows Media Playerのヘルプをご覧ください。

ヒント

- ファイルのプロパティでファイルの保護状態を確認することができます (**[メニュー]** > **[プロパティ]** を選択)。

メディアファイルを本機にコピーする

最新バージョンのPCのWindows Media Playerを使い、メディアファイルを本機に同期させます。PCのWindows Media Playerを使うと、保護されたファイルはライセンスと一緒にコピーされます。

コンテンツを自動的に本機に同期する

Windows Media Playerバージョン11 での操作を例に説明しています。

1. PC で Windows Media Player を起動し、本機を PC に接続します。
2. デバイスセットアップウィザードでデバイス名を入力し、**[完了]** をクリックします。
3. 一番左のウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、**[同期の設定]**を選択します。
4. **[このデバイスを自動的に同期させる]** にチェックを入れます。
5. 同期させる再生リストを設定し、**[完了]** をクリックします。
   ファイルの同期が始まります。次回、デスクトップバージョンのWindows Media Player を実行中に本機を PC に接続すると、自動的に同期が始まります。

コンテンツを手動で本機と同期およびコピーする

1. 本機とPCとの間で同期設定を行っていない場合、「コンテンツを自動的に本機に同期する」の手順１～３を実行します。

2. PCでWindows Media Playerの**[同期]**タブをクリックします。一番左のウィンドウで再生リストまたはライブラリを選択します。

3. 中央のファイルリストから再生リストやメディアファイルを選択し、右側の同期リストにドラッグ＆ドロップします。

4. 同期リスト画面の下方にある **[同期の開始]** をクリックします。

注意

- メディアファイルを本機に同期するには、PCで Windows Media Player 11以上を使用してください。
- PCのWindows Media Playerが本機へコピーするオーディオファイルの音質を自動設定するよう構成されている場合、オーディオファイルのコピーが速くなります。詳しくは、PCのWindows Media Playerのヘルプをご覧ください。

メディアの再生

Windows Media Player Mobile のライブラリを使って本機やmicroSDカードに保存された音楽、ビデオ、再生リストなどを再生することができます。

ライブラリを更新する

1. ライブラリ画面を開くには、**[メニュー]** > **[ライブラリ]** を選択します。
2. **[メニュー]** > **[ライブラリ]** を選択し、使用するメディア保存場所を選択します。
3. 自動的にWindows Media Player Mobileのライブラリが更新されます。
   [メニュー] > **[ライブラリの更新]** を選択すると手動でライブラリリストを更新することもできます。本機やmicroSDカードにコピーした新しいファイルを確認できます。

本機でメディアファイルを再生する

1. ライブラリ画面を開くには、**[メニュー]** > **[ライブラリ]** を選択します。
2. カテゴリを選択します (マイ ミュージック、再生リストなど)。
3. 再生するアイテム (アルバム、アーティスト名など) を選んで **[再生]** を押します。

ヒント

- 本機に保存されているが、ライブラリには保存されていないファイルを再生するには、ライブラリ画面で **[メニュー]** > **[ファイルを開く]** を選択します。再生するアイテム (ファイルやフォルダなど) を選んで **[再生]** を押します。
- インターネット上のメディアファイルを再生するには、**[メニュー]** > **[ライブラリ]** を選択し、**[メニュー]** > **[URL を開く]** を選択してURLを入力します。

再生リストを使う

再生リストとは、特定の順序でメディアファイルを再生するためのリストです。再生リストを利用すると、オーディオやビデオファイルをグループごとにまとめ、再生することができます。
PCのWindows Media Playerでメディアファイルの再生リストを作成し、本機をPCのWindows Media Playerと同期させることができます。メディアの同期については、「メディアファイルを本機にコピーする」（P.196）をご覧ください。
本機の Windows Media Player Mobile では、再生リストは再生リストカテゴリのライブラリに保存されています。また、プレイビューと呼ばれる一時的な再生リストもあります。プレイビューには現在再生中のファイルと次に再生されるファイルが表示されます。現在のプレイビュー再生リストに名前を付けて保存すると、本機で新しい再生リストを作成することができます。

新しい再生リストを保存する

1. ライブラリ画面を開くには、**[メニュー]** > **[ライブラリ]** を選択します。

2. カテゴリを選択します（マイミュージック、再生リストなど）。

3. メディアファイルを選択し、**[メニュー]** > **[再生待ちに追加]** を選択します。これでファイルはプレイビューリストに追加されます。
希望のメディアファイルがすべてプレイビューリストに追加されるまで、このステップを繰り返してください。

注意
・同時に複数のファイルを選択することはできません。

4. メディアファイルを追加した後、**[メニュー]** > **[プレイビュー]** を選択します。

5. プレイビュー画面で **[メニュー]** > **[再生リストの保存]** を選択します。

6. 再生リスト名を入力し、**[終了]** を押します。

7. 作成した再生リストを再生するには、ライブラリで **[再生リスト]** を選択し、任意の再生リストを選択して **[再生]** を押します。

トラブルシューティング

Windows Media Player Mobile を使用中に問題が生じた場合は、問題解決のためのさまざまなサポートが用意されています。
詳しくは、Microsoft Web サイトの Windows Media Player Mobile のトラブルシューティングページ (http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/player/windowsmobile/) をご覧ください。

10.5　オーディオプレーヤー

オーディオプレーヤーは、音楽ファイルの管理と再生を行うソフトです。デバイス上にあるすべての音楽ファイルにアクセスし、曲名、アーティスト名、アルバム名などのカテゴリで整理することで、聞きたい曲を簡単に表示することができます。また、お気に入りの曲をまとめたプレイリストを作成して、ミュージックプレーヤーで再生することもできます。

オーディオプレーヤーを起動する

[スタート] ＞ **[オーディオプレーヤー]** を選択します。

注意

- オーディオプレーヤーは、本体メモリとmicroSDカード上にあるMP3、WMA、AAC、AAC+フォーマットの音楽ファイルを検索します。それぞれの検索対象は、以下の場所となります。
  本体メモリ：　　¥Music
  　　　　　　　　¥My Documents（すべてのサブフォルダを含む）
  microSDカード：¥メモリ カード（すべてのサブフォルダを含む）
- 音楽ファイルからアーティスト名、アルバム名、ジャンルなどのメタデータが見つかった場合、自動的にカテゴリ分類が行われます。

ライブラリ

オーディオプレーヤーのライブラリ画面では、サブメニューが利用可能な項目に矢印が付きます。項目名を選択することで、サブメニューを開くことができます。

ライブラリ：メイン画面　　ライブラリ：すべての画面

1 ファイル名や曲名から音楽ファイルを探し出すサブメニューを開きます。

2 再生リストを作成、再生するサブメニューを開きます。

3 選択されたカテゴリから音楽を探し出すサブメニューを開きます。

4 再生画面に切り替えます（ミュージックプレーヤーは自動的に再生を開始しないため、再生アイコンを選択する必要があります）。

5 現在のサブメニュー名を表示します。**[戻る]**を押すことで上位メニューに戻ります。

6 すべての曲画面を表示している場合、音楽ファイルのファイル名または曲名を表示します。選択またはナビゲーションコントロールボタンを使うことで、音楽ファイルを選択して再生することができます。**アーティスト**、**アルバム**などカテゴリを表示する画面の場合、さらにサブメニューを開くことができます。選択もしくはナビゲーションコントロールボタンをお使いください。

ライブラリのメイン画面にあるカテゴリ名を選択すると、階層が複数あるサブメニューが表示されることがあります。たとえば、**[アーティスト]**を選択すると、複数のアーティスト名がリスト化されたサブメニューが表示されます。そのアーティスト名のいずれかを選択すると、さらにアルバム名がリスト化されたサブメニューが表示されます。再生する曲名を選択するまでサブメニューが表示されます。

DRM(デジタル著作権管理)で保護された音楽ファイルは、**[著作権保護]**のカテゴリに分類されます（AAC+、MP3のみ）。ファイル情報を確認する場合は、ファイルを選択して**[メニュー]** ＞ **[プロパティ]**を選択してください。曲名の前に×印が表示されている音楽ファイルは、権利が無効のため再生することができません。**[削除]**を選択してファイルを削除できます。

注意

・オーディオプレーヤーを終了しても、前回最後に開いたサブメニューが記憶され、次回起動時に表示されます。ライブラリのメイン画面に戻るには、画面上部にあるサブメニュー名を選択します。

再生画面の見かた

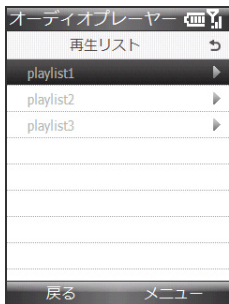
オーディオプレーヤーのライブラリの曲を選択すると、音楽ファイルが再生されます。再生画面では、以下のコントロールボタンを使用できます。

ヒント

・**[メニュー]** > **[終了]**を選択すると、オーディオプレーヤーが終了します。次回オーディオプレーヤーを起動したときは、再生画面が開きます。**[ライブラリ]**を押すと、オーディオプレーヤーのライブラリ画面に戻ります。

再生リスト

再生リストは連続再生を行うための音楽ファイル一覧です。本体メモリとmicroSDカードの再生リストが画面に表示されます。
再生リスト画面には次の再生リストが表示されます。

・**Windows Media Player再生リスト**：Windows Media Player Mobileライブラリにある再生リストで（PCのWindows Media Playerに同期）、Windows Media Playerアイコン（ ）が表示されます。オーディオプレーヤーのミュージックプレーヤーで再生できますが、編集を行うことはできません。
・**カスタム再生リスト**：オーディオプレーヤーで作成した再生リストです。自由に編集できます。

注意

• オーディオプレーヤーは、以下の場所について再生リストを検索します。
  デバイス　　　　：￥ApplicationData\HTC\AudioManager\playlists
  　　　　　　　　：￥Playlists
  microSDカード：￥メモリ カード\Playlists
• 上記フォルダは、オーディオプレーヤーで再生リストを作成したり、PCのWindows Media Playerの再生リストを同期するまで作成されません。
• Windows Media Playerの再生リストが音楽、ビデオ、画像ファイルを含む場合は、オーディオプレーヤーでは音楽ファイルのみが認識されます。

再生リストを作成する

1. ライブラリメイン画面で **[再生リスト]** を選択します。
2. 再生リスト画面で **[メニュー]** > **[新規作成]** を選択します。
3. 再生リスト名を入力し、**[OK]** を押します。
4. 再生リスト画面で作成した再生リストを選択し、**[メニュー]** > **[編集]** を選択します。
5. **[メニュー]** > **[追加]** を選択します。
6. 再生リストに追加する曲のタイトルにチェックを入れます。すべての曲を追加するときは、**[メニュー]** > **[すべて選択]** を選択します。
7. **[OK]** を押すと、再生リストに登録された曲が表示されます。
8. **[OK]** を押すと、再生リストが保存されます。保存を知らせるメッセージに対して **[OK]** を押し、再生リストの一覧画面に戻ります。

再生リストを再生する

1. 再生リスト画面で再生リストを選択します。
2. 最初に再生する曲を選択します。オーディオプレーヤーが起動し、再生リストの再生が始まります。

注意

- 音楽ファイルが本体メモリまたは microSD カードから削除された場合、再生リストの内容は自動的に更新されません。再生リストの音楽ファイルが削除された場合は、通知メッセージが表示されます。

再生リストを編集する

1. 再生リスト画面で編集したい曲を選択します。
2. **[メニュー]** > **[編集]** を選択します。
3. **[メニュー]** を押し、編集オプションから項目を選択して、曲の追加やコピー、削除などを行います。
4. 編集が終わったら、**[OK]** を２回選択します。

5. 再生リスト画面に戻るには、再生リスト名を選択します。

再生リストを他の再生リストにコピーする

1. 再生リスト画面でコピーする再生リストを選択します。
2. **[メニュー]** > **[再生リストにコピー]** を選択します。
3. コピー先の再生リストを選んで **[追加]** を押します。新規の再生リストを作成する場合は、**[新規プレイリスト]** を選択します。

10.6 オーディオブースター

オーディオブースターは音楽を聴くときのサウンド設定を調節するためのプログラムです。オーディオブースターでは、3Dサウンドや高音・低音の調節をしたり、イコライザのプリセット設定をカスタマイズしたりできます。

オーディオブースターを開く

[スタート] > **[オーディオブースター]** を選択します。

注意

- オーディオブースターを起動するときは、イヤホンマイクを本体のミニ USB 端子に接続する必要があります。
- オーディオブースターは、Bluetoothヘッドセットでは利用できません。

名称		機能
1	イコライザプリセット	プリセット設定されているイコライザを選択します。
2	オン	イコライザのオン／オフを設定します。イコライザを有効にするには、**[オン]** にチェックを入れて、イコライザ設定を調節します。詳細については、「イコライザのプリセットをカスタマイズする」（P.210）をご覧ください。
3	完了	オーディオブースターの変更内容を適用します。

名称		機能
4	周波数コントロール	ナビゲーションコントロールを使って、各バンドの周波数を調節します。
5	メニュー	変更内容を適用せずにオーディオブースターを閉じるには、**[メニュー]** > **[キャンセル]** を選択します。

イコライザ

イコライザでは、あらかじめ設定されているヒップホップ、ジャズ、ロックなどのプリセット設定を選択して、最適な音質で楽曲を再生することができます。
また、イコライザを手動でカスタマイズして、お好みの音質で楽曲を再生することもできます。

プレイセットを選択する

1. **[オン]** にチェックを入れて、イコライザを有効にします。
2. イコライザプリセットを選択して、リストからプリセットするイコライザを選択します。

イコライザのプリセットをカスタマイズする

1. イコライザプリセットを選択して、リストからカスタマイズするイコライザのプリセットを選択します。

2. 周波数コントロールを選んでEnterボタンを押し、ナビゲーションコントロールの上下左右ボタンでイコライザの設定を調節します。
イコライザの現在の設定値が各コントロールの上部に表示されます。

3. 調節が終わったら、Enterボタンを押します。

4. **[メニュー]** > **[プリセットとして保存]** を選択して設定内容を保存します。

5. プリセット名を入力して、**[完了]**を押します。
作成したプリセット名がドロップダウンメニューに追加されます。

イコライザのプリセットを削除する

1. イコライザプリセットを選択して、リストから削除するイコライザのプリセットを選択します。

2. **[メニュー]** > **[プリセットを削除]** を選択し、**[はい]**を選択します。

注意

- カスタムプリセットのみ削除できます。あらかじめインストールされているイコライザプリセットは削除することはできません。

第11章

アプリケーションとデータ管理

11.1 プログラムについて

本機には次のようなプログラムがインストールされています。

アイコン	説明
	メール：電子メールの送受信ができます。
	予定表：カレンダーにスケジュールを登録します。
	連絡先：友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。
	Internet Explorer：Web サイトを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。
	仕事：仕事の進捗などを管理できます。
	Windows Media：ビデオやオーディオファイルを再生します。
	Office Mobile：モバイル向けの Microsoft Office アプリケーションです。
	Excel Mobile：Microsoft Excelワークブックの表示、編集ができます。
	OneNote Mobile：Microsoft OneNoteファイルを新規作成、表示、編集できます。
	PowerPoint Mobile：Microsoft PowerPoint のスライドやプレゼンテーションを表示できます。
	Word Mobile：Microsoft Word ドキュメントを表示、編集できます。
	通話履歴：不在着信や発着信履歴を確認できます。
	ゲーム：Bubble Breaker とソリティアの２種類のゲームがあります。
	ボイスメモ：音声を録音します。着信音として設定もできます。
	画像とビデオ：本機やmicroSDカードに保存されている写真、アニメーション GIF、ビデオファイルなどを表示および管理します。
	お使いになる前に：本機の基本的な機能や設定の概要を確認できます。

アイコン	説明
	アクセサリ
	SIM マネージャ：EM chip（USIMカード）に保存されている連絡先を管理します。また、EM chipに保存されているデータを本機の連絡先にコピーすることもできます。
	ストレージをクリア：メモリからすべてのデータとファイルを消去し、本機を工場出荷時の初期設定に戻します。
	タスクマネージャ：終了ボタンでプログラムを終了するか、またはプログラム画面を非表示にするかを設定します。詳しくは「12.7 タスクマネージャ」（P.252）をご覧ください。
	電卓：加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。
	インターネット共有：本機からのインターネット接続を、他のPCなどから利用します。
	ActiveSync：本機と PC または Exchange Server の間で情報の同期ができます。
	Messenger：モバイル版の Windows Live Messenger を利用できます。
	Windows Live：MicrosoftのWindows Liveサービス（メール、メッセンジャー、スペース、サーチ）を利用できます。
	Adobe Reader LE：PDFファイルを閲覧することができます。
	Bluetooth Explorer：ファイル共有が可能な他の Bluetooth デバイスを検索し、Bluetooth 共有フォルダにアクセスすることができます。
	Comm Manager：電話機能のオン/オフの切り替え、データ接続の管理などを行うことができます。
	EMnetメール：SMS／EMnetメールの送受信ができます。
	NAVITIME：目的地までの経路を検索することができます。
	エクスプローラ：本機のファイルを整理し、管理します。
	オーディオブースター：音楽再生時のサウンド設定を調節します。
	オーディオプレーヤー：音楽を再生します。

アイコン	説明
	カメラ：写真を撮影したり、音声付きビデオを撮影したりできます。
	カメラアルバム：写真やビデオを表示します。
	クイックメモ：手軽なメモ入力ツールです。入力したメモはメール送信もできます。
	スピードダイヤル：スピードダイヤルに登録している連絡先一覧を確認できます。
	ビデオ レコーダ：音声付きビデオを撮影します。
	時計とアラーム：現在の日時やアラームを設定します。

11.2 Microsoft Office Mobile

Office Mobileでは、以下の4つのアプリケーションを使用して、PCで作成したMicrosoft文書を編集、閲覧することができます。

- ●**Word Mobile** は Microsoft Word の簡易バージョンです。PC で作成した Word ドキュメントやテキストを本機で開くことができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。
- ●**Excel Mobile** を使うと、PC で作成した Excel ワークブックやテンプレートを開くことができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。
- ●**PowerPoint Mobile** では、PCで作成したpptおよびpps形式のスライドショープレゼンテーションを実行することができます（編集は行えません）。
- ●**OneNote Mobile** では、PCで作成したOneNoteファイルを開いたり、OneNoteファイルを新規に作成することができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。

Office Mobile アプリケーションを起動する

[スタート] ＞ **[Office Mobile]** を選択し、起動するOffice Mobile アプリケーションを選択します。

注意

- Word Mobile は Microsoft Word のすべての機能に対応しているわけではありません。変更履歴やパスワード保護などはご利用になれません。ドキュメントを本機で保存すると、一部のデータや形式が失われることがあります。Word Mobile で対応している機能を確認するには、本機のヘルプをご覧ください。
- Excel Mobile は関数やセルコメントなど、一部の機能に対応していません。ワークブックを本機で保存すると、一部のデータや形式が失われることがあります。Excel Mobile で対応している機能を確認するには、本機のヘルプをご覧ください。
- OneNote Mobileは、パソコン用Microsoft OneNoteとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。

11.3 Adobe Reader LEを使う

Adobe Reader LE を使うと、PDF ファイルを表示することができます。

Adobe Reader LE を起動する／ファイルを開く

1. **[スタート]** > **[Adobe Reader LE]** を選択します。
最近開いたファイル一覧が表示されます。
初めてAdobe Reader LEを起動したときは､マイデバイス配下のフォルダやファイルが一覧表示されます。

2. ファイルを選択します。
・最近開いたファイル一覧にファイルが表示されない場合は、**[参照]** を押してマイデバイスからファイルを選択してください。

PDF ファイルを操作する

PDF ファイルでは次のような操作ができます。

●ナビゲーションコントロールの上、下、左、右ボタンを押すと、ページを上下に移動したり、ページ内をスクロールしたりできます。

●**[ツール]** > **[移動]** を選択すると、特定のページへ直接移動することができます。

PDF ファイルで文字を検索する

1. PDF ファイルを開きます。

2. **[ツール]** > **[検索]** > **[文字列]** を選択します。

3. 検索する文字を入力します。

4. 大文字・小文字を区別する、単語全体、後方検索など、検索条件を選択し、**[検索]** を押します。

Adobe Reader LE を終了する

[メニュー] > **[終了]** を選択します。

ヒント

- Adobe Reader LE では ブックマークを含む PDF ファイルのためにブックマークウィンドウが表示されます。ブックマークを選択すると、ファイル内の特定部分やページにジャンプすることができます。
- Adobe Reader LE は最大 128 ビット暗号までのパスワード保護された PDF に対応しています。パスワードにより保護された PDF ファイルを開くと、まずパスワードを入力するよう要求されます。

11.4 ファイルをコピー/管理する

本機に登録されている画像、動画、音楽などのファイルは、エクスプローラを使って管理します。本機をPCに接続すれば、PCのエクスプローラを使ってファイル管理することもできます。

エクスプローラを使う

本機のルートフォルダは「マイ デバイス」となり、PCの「マイ コンピュータ」と同様に「My Documents」、「Program Files」、「Temp」、「メモリカード」および「Windows」フォルダなどを含んでいます。

エクスプローラを起動する

1. **[スタート]** > **[エクスプローラ]** を選択します。
2. 開きたいフォルダまたはファイルを選択します。
3. 上の階層に戻るには、**[上へ]** を押してフォルダを選択します。
4. ファイルの削除、名前の変更、コピーなどをすばやく行うには、ファイルを選んで **[メニュー]** > **[編集]** を選択し、項目を選択します。

microSDカードにファイルをコピーする

1. 本機にmicroSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。
2. **[スタート]** > **[エクスプローラ]** を選択し、目的のフォルダへ移動します。
3. コピーするファイルを選んで、**[メニュー]** > **[編集]** > **[コピー]** を選択します。
4. **[上へ]** を押し、**[メモリカード]** を選択します。
5. **[メニュー]** > **[編集]** > **[貼り付け]** を選択します。

ヒント

- ファイルまたはメモの一覧では、microSD カードに保存されたファイルの隣に 記号が表示されます。

本機に接続したPCからファイルを管理する

Windows MobileデバイスセンターやActiveSyncでPCと接続すると､PCのエクスプローラを使って本機に登録されているファイル（画像、動画、音楽など）をコピーしたり、PCのファイルを本機にコピーしたりできます。

1. 本機を PC に接続します。

2. PC の Windows Mobileデバイスセンターで **[ファイル管理]** > **[デバイスのコンテンツの参照]** をクリックするか、ActiveSync で **[エクスプローラ]** をクリックします。
本機のファイル／フォルダがPCのエクスプローラに表示されます。

3. PC のエクスプローラで、フォルダ／ファイルの選択やコピーの操作を行います。

11.5 ZIP を使う

ZIP 形式に圧縮されたファイルを展開することができます。

ZIPファイルを開く

ZIP ファイルを開き、ファイルを展開する

1. **[スタート]** > **[エクスプローラ]** を選択します。
2. ファイルを選択し、**[開く]** を押します。

注意

・複数の ZIP ファイルを同時に選択することはできません。

3. ZIP ファイルに含まれるファイルが表示されます。以下のいずれかの方法でファイルを選択します。
   ・ファイルを選択します。
   ・すべてのファイルを選択するには、**[メニュー]** > **[すべて展開]** を選択します。
4. ファイル名を入力してファイルを展開する場所を選択し、**[保存]** を押します。

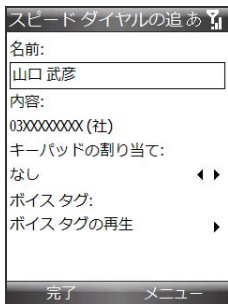
アプリケーションとデータ管理

11

11.6 ボイス短縮ダイヤルを使う

音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行したりするために、ボイスタグを録音しておくことができます。

電話番号のボイスタグを作成する

1. **[連絡先]** を押し、連絡先一覧を表示します。
2. 連絡先を選択してボイスタグを作成する電話番号を選び、**[メニュー]** ＞ **[ボイスタグの追加]** を選択します。
3. クリック音の後、任意のボイスタグを録音します。
4. 録音を終えると、ボイスタグが再生されます。**[OK]** を押します。
5. ボイスタグの名前を入力し、**[完了]** を押します。

・**[キーパッドの割り当て]** でダイヤルキーを割り当てると、選択した電話番号をスピードダイヤルに登録できます。
・**[ボイス タグの再生]** を選択すると、ボイスタグを再生できます。
・ボイスタグを削除するには、**[メニュー]** ＞ **[ボイスタグの削除]** を選択します。

ヒント
・音声認識の精度を上げるため、静かな場所で録音を行ってください。

プログラムのボイスタグを作成する

1. **[スタート]** を選択します。
2. プログラムを選んで、**[メニュー]** > **[スピードダイヤルの追加]** > **[ボイス タグの追加]** を選択します。プログラムに対してボイスタグを作成する方法は、電話番号に対するときと同じです。
3. プログラムのボイスタグを作成すると、ボイスタグを使って簡単にプログラムを起動できます。

ボイスタグを使った音声発信やプログラム起動

1. 通話ボタンを長押しします。
2. 発信音の後、電話番号またはプログラムに割り当てたボイスタグを発声します。システムがボイスタグを再生し、該当する番号に発信、または該当するプログラムを起動します。

注意

- ボイスタグがうまく認識されない場合は、ボイスタグが認識されやすいようにはっきり発音したり、周囲の雑音が少なくなるよう工夫して、もう一度録音してください。

11.7 Comm Manager を使う

Comm Manager では、電話機能のオン/オフを切り替えたり、データ接続を管理することができます。

Comm Manager を開く

●**[スタート]** > **[Comm Manager]** を選択します。

1 フライトモードのオン/オフを切り替えます。フライトモードをオンにすると、電話、Bluetooth機能、ワイヤレスLANがオフになります。

2 電話機能のオン/オフを切り替えます。着信音やその他の設定を行うには、**[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** を選択します。電話設定の詳細は、「12.3 電話の設定とサービスをカスタマイズする」(P.243) をご覧ください。

3 Bluetoothのオン/オフを切り替えます。本機の Bluetoothを設定するには、**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[Bluetooth]** を選択します。詳しくは「9.1 Bluetoothのモード」(P.170) をご覧ください。

4 ワイヤレスLAN のオン/オフを切り替えます。本機のワイヤレスLANを設定したり、接続状態を確認するには、**[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** > **[ワイヤレス LAN]** を選択します。

5 ダイレクトプッシュ機能のオン/オフを切り替えます。ダイレクトプッシュ機能は、Microsoft Exchange Serverと連携して使用する場合にのみオン/オフ可能です。

6 有効なデータサービスを切断します。Comm Manager では、データサービスに再接続できません。

11.8 NAVITIME

NAVITIMEは目的地への最適な経路を検索し、出発から到着までをナビゲーションしてくれるサービスです。

会員登録する

●NAVITIMEをご利用になるには、EMnetへの加入が必要です。
●会員登録は月額課金契約への登録となります。地図検索や乗換検索などの一部機能は、会員登録をしなくてもご利用になれます。

1. **[スタート]** > **[NAVITIME]** を選択します。
初めてNAVITIMEを起動した場合は、通信を行うかどうかの確認画面が表示されます。**[はい(次回以降も同様)]** を選択すると、次回から確認画面は表示されなくなります。

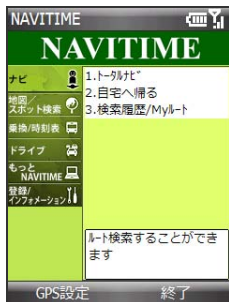
2. **[登録／インフォメーション]** > **[会員登録／解除]** を選択します。
会員登録／解除画面が表示されます。
以降は、画面の指示に従って操作してください。

NAVITIMEを利用する

NAVITIMEは目的地までの経路検索や現在地、周辺などの地図検索、乗り換え案内など、さまざまな情報を検索することができます。
●NAVITIME の詳細については、NAVITIME のヘルプを参照してください。

1. **[スタート]** > **[NAVITIME]** を選択します。

2. 情報を検索します。
カテゴリを選択し、目的のメニューを選択します。

カテゴリを選択すると、画面右下に概要が表示されます。

・操作中にNAVITIMEのトップメニュー画面に戻る場合は、[トップへ]を押します。

ヒント

・市販のGPS受信機を利用する場合は、トップメニューで **[GPS設定]** を押し、**[GPSを使用する]** にチェックを入れます。

11.9　その他

Bubble Breaker

となり合っている同色のバブル（シャボン玉）を消していくゲームです。一度に多くの同色バブルを消すと、高い得点になります。

1. **[スタート]** > **[ゲーム]** > **[Bubble Breaker]** を選択します。

2. 消すバブルを選んでEnterボタンを押します。
消せるバブルが線で囲まれ、得られる得点が表示されます。

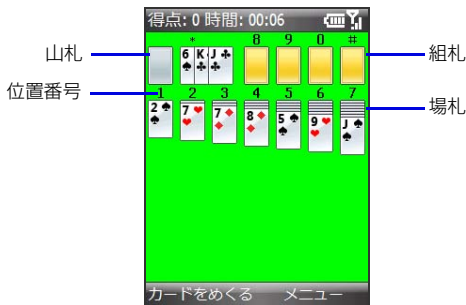
3. もう一度Enterボタンを押します。
バブルが消え、得点が加算されます。
同様の操作を繰り返し、消せるバブルがなくなると終了です。
・新しくゲームを始める場合は、**[新しいゲーム]** を選択します。

ソリティア

山札と場札のカードすべてを使い切って、組札に積み重ねるゲームです。

●ルールは以下のとおりです。
- 組札には 1 から K までの同じ種類のカードを、小さい順に積み重ねることができます。
- 場札には、大きい順に赤・黒のカードを交互に積み重ねることができます。
- すべてのカードを組札に積み重ねることができたら、ゲームクリアです。
- 移動できるカードがなくなるとゲームオーバーです。

1. **[スタート]** > **[ゲーム]** > **[ソリティア]** を選択します。

2. **[カードをめくる]** を押して山札をめくります。

3. 移動するカードの位置番号に対応するダイヤルキーを押します。

4. 移動先の位置番号に対応するダイヤルキーを押します。
同様の操作を繰り返します。
- 新しいゲームを開始する場合は、**[メニュー]** > **[新しいゲーム]** を選択します。

第12章

本機を管理する

12.1 本機の設定項目一覧

本機はお客さまの利用に合わせてさまざまな設定を行うことができます。**[スタート]** > **[設定]** を選択すると各種設定項目が表示されます。

■設定

項目	サブ項目
電話	ネットワーク
	割り込み通話
	自動応答
	自動転送
	詳細設定
	帯域の選択
	通話のオプション
	発信者番号通知
	発着信制限
サウンド	着信音
	アラーム(Outlook)
	新着電子メール
	新着ボイス メッセージ
	新着インスタント メッセージ
	メッセージ(警告)
	メッセージ(問い合わせ)
	警告
	キーパッド制御
	キーボードスライディング
プロファイル	

項目	サブ項目	
ホーム画面	ホーム画面のレイアウト	
	配色	
	背景イメージ	
	タイムアウト	
時計とアラーム	日付/時刻	タイムゾーン
		日付
		時刻
		自動時間/タイムゾーン
	アラーム1	
	アラーム2	
接続	Comm Manager	フライトモード
		通話
		Bluetooth
		ワイヤレスLAN
		Microsoft Direct Push
		データ接続
	ビーム	
	Bluetooth	Bluetooth
		対応プロファイル
		セキュリティ
		インターネット共有
		検出タイムアウト
		Bluetooth FTP
	ダイヤルアップ	
	GPRS	
	プロキシ	
	VPN	

項目	サブ項目	
接続	ワイヤレスLAN	
	SMSサービス	SMSを使用するためのサービス
	PCへのUSB接続	
	ドメインへの登録	
セキュリティ	デバイスのロック	
	SIMカード暗証番号（PIN）を有効にする	
	暗証番号（PIN）2を変更する	
	証明書	
	暗号化	
	発着信規制用暗証番号の変更	
電源	パワーマネージメント	メイン バッテリ
		バックライトの明るさの調整
		バックライトの明るさ
		バッテリ使用時のバックライトのタイムアウト
		AC使用時のバックライトのタイムアウト
		バッテリ使用時のディスプレイのタイムアウト
		AC使用時のディスプレイのタイムアウト
		ライトセンサーによりキーパッドのバックライトを調整
		デバイスの電源が入っており、PCに接続されているときにはバッテリを充電しない
	電源情報	

項目	サブ項目
プログラムの削除	
ユーザー補助	確認タイムアウト
	着信通知の音量
地域	言語
	地域
	短い日付の形式
	長い日付の形式
	時刻の形式
	正の値
	負の値
	正の通貨
	負の通貨
オーナー情報	
バージョン情報	
エラー報告	
カスタマ フィードバック	
Windows Update	
ロック解除時の時計表示	
キーロック	
GPRS認証	
CSDラインの種類	データレート
	接続要素
デバイス情報	
管理プログラム	
電子メールの設定	
デバイス名	

12.2 各種設定

電話

通信やオプションサービスに関する設定を行います。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** を選択します。

2. 以下の項目を設定します。

- **ネットワーク**：使用するネットワークを選択します。
- **割り込み通話**：割込通話サービスを設定します。
- **自動応答**：ハンズフリー対応機器利用時の自動応答の設定を行います。
- **自動転送**：転送電話サービスの設定を行います。
- **詳細設定**：着信時の動作などを設定します。
- **帯域の選択**：ネットワークの種類を選択します。
- **通話のオプション**：着信応答時のキー設定や、EM chip（USIMカード）に登録されている連絡先の表示についての設定を行います。
- **発信者番号通知**：発信者番号通知サービスの設定を行います。
- **発着信制限**：発着信制限の設定を行います。

3. **[完了]** を押します。

サウンド

着信音やアラーム音などを種類ごとに設定します。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[サウンド]** を選択します。

2. 以下の項目を設定します。

- **着信音**：電話の着信音を選択します。
- **アラーム(Outlook)**：予定表や仕事のアラーム音を選択します。
- **新着電子メール**：新着電子メールの通知音を選択します。
- **新着ボイスメッセージ**：新着ボイスメッセージの通知音を選択します。
- **新着インスタントメッセージ**：新着インスタントメッセージの通知音を選択します。
- **メッセージ(警告)**：警告ポップアップ表示時の通知音を選択します。
- **メッセージ(問い合わせ)**：確認ポップアップ表示時の通知音を選択します。
- **警告**：システム警告時の通知音を選択します。

・**キーパッド制御**：ダイヤルキーおよびQWERTYキーを押したときに音を鳴らすかどうかを選択します。**[トーン]** を選択すると、電話画面でダイヤル操作を行うときのみトーン音が鳴ります。**[クリック]** を選択すると、ダイヤル操作時のトーン音に加えて、それ以外の場面でボタンを押したときにはクリック音が鳴るように設定されます。
・**キーボードスライディング**：QWERTYキーボードを引き出したときや閉じたときに鳴らす音を選択します。

3. **[完了]** を押します。

プロファイル

プロファイルごとに、着信音・アラーム音の通知方法や音量が設定されています。また、それぞれのプロファイルの設定内容を変更することもできます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[プロファイル]** を選択します。
現在設定されている項目の右端には、チェックが付いています。

2. 以下の項目から選択してEnterを押します。
・**標準**：標準的な設定です。
・**サイレント**：スピーカーから出る音を鳴らさないようにする設定です。
・**バイブ**：スピーカーから出る音を鳴らさないようにする設定です。着信は振動でお知らせします（マナーモード）。
・**アウトドア**：屋外でも聞こえるように、音量が最大の設定です。
・**自動切替**：予定表と連動し、自動的に標準モードとバイブモードが切り替わります。

プロファイルの設定内容を変更する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[プロファイル]** を選択します。

2. 設定を変更したいプロファイルを選択し、**[メニュー]** > **[編集]** を選択します。

3. それぞれの項目を設定します。

4. **[完了]** を押します。

ヒント
・操作2で **[メニュー]** > **[既定にリセット]** を選択すると、そのプロファイルの設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

ホーム画面

ホーム画面のレイアウトや背景イメージなどを設定します。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[ホーム画面]** を選択します。

2. それぞれの項目を設定します。

3. **[完了]** を押します。

ヒント

- **[最近使ったプログラムの表示]** のチェックを外すと、ホーム画面で **[スタート]** を押したときに最近使ったプログラムを表示しないように設定できます。

マイピクチャからホームの背景を設定する

マイピクチャに保存されている画像をホーム画面の**背景イメージ**に設定できます。ホーム画面で背景イメージに設定したい画像が表示されない場合などは、**画像とビデオ**から設定してください。(P.191)

時計とアラーム

日付と時刻を設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[時計とアラーム]** > **[日付/時刻]** を選択します。

2. 現在地を選択し、日付または時刻を変更します。

3. **[完了]** を押します。

注意

- お買い上げ時の状態では、EM chipを取り付けた後（または取り付け直した後）にイー・モバイルの提供するサービスエリア内で電源を入れると、自動的に時刻が設定されます。この設定を無効にするには、**[日付/時刻]** の設定画面で **[自動時間/タイムゾーン]** を **[無効にする]** に設定してください。
- 同期を行うと、本機の時刻は PC の時刻に合わせて変更されます。PC との同期に関する詳細は、「5.4 PCと同期する」（P.102）をご覧ください。

アラームを設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[時計とアラーム]** > **[アラーム 1]** ／ **[アラーム 2]** を選択します。
2. アラーム時刻や設定する日などの項目を設定します。
3. **[完了]** を押します。

注意

・アラームを設定した場合、プロファイルがサイレントモードやバイブモードに設定されていても、指定した時刻にアラームが鳴動します。

接続

接続や通信に関する設定を行います。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[接続]** を選択します。
2. 以下の項目を設定します。
   - **Comm Manager**：各種通信機能のオン／オフの切替を行います。
   - **ビーム**：着信ビームの受信設定を行います。
   - **Bluetooth**：Bluetoothに関する設定を行います。
   - **ダイヤルアップ**：ダイヤルアップ接続時の電話番号やユーザー名などを設定します。
   - **GPRS**：パケット通信での接続先やユーザー名などを設定します。
   - **プロキシ**：プロキシを設定します。
   - **VPN**：VPNを設定します。
   - **ワイヤレスLAN**：ワイヤレスLAN（無線LAN）に関する設定を行います。
   - **SMSサービス**：SMSを使用するためのサービスをGPRS、GSMから設定します。
   - **PCへのUSB接続**：USBケーブルを使用して、パソコンと本機を接続するときの接続形式の設定（チェックを入れるとLAN接続となります。）や通信に関する設定を行います。
   - **ドメインへの登録**：本機をドメインに登録します。
3. **[完了]** を押します。

ヒント

・インターネット、社内ネットワーク、WAP の接続に関する詳細設定を行う場合は、**[メニュー]** > **[詳細設定]** を選択します。

セキュリティ

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[セキュリティ]**を選択します。

2. 以下の項目を設定します。

- **デバイスのロック**：端末を何も操作しない状態が一定時間続いたときに、ボタン操作ができないようにロックできます。（P.249）
- **SIM カード暗証番号（PIN）を有効にする**：EM chip（USIMカード）を本機に取り付けて電源を入れたときに、暗証番号（PIN）の入力が必要になります（P.248）。
- **SIM カード暗証番号（PIN）の変更**：PINコードを変更します。**SIMカード暗証番号（PIN）を有効にする**を有効に設定している場合のみ表示されます。
- **暗証番号（PIN）2を変更する**：PIN2コードを変更します（本機にはPIN2コードを利用する機能はありません）。
- **証明書**：本機に登録されている証明書を確認します。
- **暗号化**：ファイルをメモリカードに保存する際、ファイルを暗号化するよう設定できます。
- **発着信規制用暗証番号の変更**：発着信規制用暗証番号を変更します。

3. **[完了]** を押します。

パワーマネージメント

バックライトの設定を行う

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電源]** > **[パワーマネージメント]** を選択します。

2. **[バッテリ使用時のバックライトのタイムアウト]**でバックライトが消える時間を選択します。

- 充電中のバックライトの設定を行う場合は、**[AC 使用時のバックライトのタイムアウト]**でバックライトが消える時間を選択します。

一定時間後にバックライトを消すよう設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電源]** > **[パワーマネージメント]** を選択します。

2. **[バッテリ使用時のディスプレイのタイムアウト]**でディスプレイの表示が消える時間を選択します。

・充電中のディスプレイの設定を行う場合は、**[AC 使用時のディスプレイのタイムアウト]**でディスプレイの表示が消える時間を選択します。
・ライトセンサーを使用するかどうかを設定する場合は、**[ライトセンサーによりキーパッドのバックライトを調整]**で**[オン]**／**[オフ]**を選択します。
・パソコンとのUSBケーブル接続時に充電するかどうかを設定する場合は、**[デバイスの電源が入っており、PCに接続されている時にはバッテリを充電しない]**で**[オン]**／**[オフ]**を選択します。

注意

・アイドル時間が長いと電池の消耗が早くなります。

電源情報

最後に充電した日時や、充電後の使用状況を確認できます。

1. **[スタート]**＞**[設定]**＞**[電源]**＞**[電源情報]**を選択します。
2. **[完了]**を押します。

ユーザー補助

ユーザー操作にともなう各種設定をします。

1. **[スタート]**＞**[設定]**＞**[ユーザー補助]**を選択します。
2. 以下の項目を設定します。
   ・**確認タイムアウト**：メッセージ（ダイアログ）が表示された際、設定した時間を過ぎると、カーソルが当たっている項目が自動的に選択されます（確認メッセージ（ダイアログ）によっては動作しない場合があります）。
   ・**着信通知の音量**：通話中に着信があった場合の通知音の音量を設定します。
3. **[完了]**を押します。

地域

地域や言語（English)、日付の形式などを設定します。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[地域]** を選択します。

2. 以下の項目を設定します。

・**言語**：本機で使用するオペレーシングシステムの言語を設定します。
・**地域**：本機での日付、時刻、数字、通貨の表示方法を一括して設定します。
・**短い日付の形式／長い日付の形式**：日付の表示方法を変更します。
・**時刻の形式**：時刻の表示方法を変更します。
・**正の値／負の値**：数字の表記方法を変更します。
・**正の通貨／負の通貨**：通貨の表記方法を変更します。

3. **[完了]** を押します。

注意

・**言語**または**地域**を変更した場合、再起動が必要であることを示すメッセージが表示されますので、本機の電源を一度切ってから、電源を入れ直してください。

オーナー情報

ホーム画面にオーナー情報を表示することができます。

オーナー情報を入力する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[オーナー情報]** を選択します。

2. 個人情報を入力します。

3. **[完了]** を押します。

バージョン情報

本機のオペレーティングシステムのバージョンやメモリの容量などの情報を確認します。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[バージョン情報]** を選択します。

2. **[完了]** を押します。

ロック解除時の時計表示

キーロック解除の画面に時計を表示するかどうかを設定します。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[ロック解除時の時計表示]** を選択します。

2. 必要な項目にチェックを入れます。

3. **[完了]** を押します。

デバイス名

デバイス名は、次のような場合に本機を識別するための名称です。

●PC と同期するとき
●ネットワークに接続するとき
●バックアップから情報を復旧するとき

注意

・1 台の PC で複数のデバイスを同期する場合、デバイス名はすべて異なる必要があります。PC との同期に関する詳細は、「5.4 PCと同期する」（P.102）をご覧ください。

デバイス名を変更する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[デバイス名]** を選択します。

2. **[デバイス名]** に名前を入力します。

3. **[完了]** を押します。

注意

・デバイス名は必ず A～Z の英文字、または 0～9 の数字で始まる必要があります。また、スペースは使用できません。単語を区切りたい場合は_（アンダースコア）を使用してください。

その他の設定

1. **[スタート]** > **[設定]** を選択します。

2. それぞれの設定を選択します。

- **エラー報告**：本機のエラー報告機能の有効／無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムと本機の状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、Microsoftのテクニカルサポートセンターにログが送信されます。
- **カスタマフィードバック**：本機のシステムの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定できます。
- **GPRS認証**：GPRS認証方式を設定します。GPRSとは、GSMのパケットデータ通信の方式です。日本国内では使用できません。
- **CSDラインの種類**：CSD（Circuit Switch Data）接続を行うときに使用する回線の種類を設定します。
- **管理プログラム**：社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。
- **キーロック**：無操作状態が一定時間続いたとき、自動的にキーロックを設定するかどうかを選択できます。
- **デバイス情報**：本機のバージョンやハードウェアなどの情報を確認します。
- **電子メールの設定**：電子メールアカウントを設定します。

3. **[完了]** を押します。

12.3 電話の設定とサービスをカスタマイズする

電話の着信音や着信パターン、番号を入力するときのボタン音など、電話の各種設定をカスタマイズできます。また、割込通話サービス、転送電話サービスなどの設定ができます。

電話の設定とサービスをカスタマイズする

●**[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** を選択します。

着信音を設定する

着信音や着信パターンを変更する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[サウンド]** を選択します。
2. **[着信音]** のリストから使用するサウンドを選択します。

ヒント

・インターネットからダウンロードしたり、PC からコピーした wav、mid、amr ファイルを着信音として使用することもできます。まずサウンドファイルを本機の¥Windows¥Rings フォルダにコピーし、このサウンドを着信音リストから選択して設定します。ファイルのコピー方法に関する詳細は、「11.4 ファイルをコピー／管理する」（P.218）をご覧ください（/Windows/Ringsに入っているサウンドファイルでも、wav形式のファイルは着信音として設定できない場合があります）。

オプションサービス

本機を直接携帯電話ネットワークに接続し、さまざまなオプションサービスの設定を変更することができます。オプションサービスには、転送電話サービス、割込通話サービス、留守番電話サービスなどが含まれます。

オプションサービス	設定項目	内　　容
発着信規制サービス	[発着信制限]	電話をかけたり、受けたりすることについて、状況に合わせて制限することができます。
発信者番号通知サービス	[発信者番号通知]	お客さまの電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。
転送電話サービス	[自動転送]	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を設定した番号へ転送します。
留守番電話サービス		電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
割込通話サービス※	[割り込み通話]	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けることができます。また、通話相手を切り替えることもできます。

※ 割込通話サービスを利用するには、別途お申し込みが必要です（有料サービス）。

オプションサービスを確認または変更する

■発着信規制サービス

着信規制	すべての通話	すべての着信を規制。
	ローミングサービス利用時の通話	海外での着信をすべて規制。
発信規制	すべての通話	緊急電話を除くすべての発信を規制。
	国際通話	すべての国際電話の発信を規制。
	自国以外への国際通話	滞在国への発信のみに規制。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** > **[発着信制限]** を選択します。

2. 着信制限／発信制限を選択し、**[完了]** を押します。

注意

- 転送電話または留守番電話をご利用の場合、全発信規制および全着信規制はご利用になれません（転送電話または留守番電話が優先されます）。
- 全発信規制および全着信規制をご利用になる場合は、事前に転送電話または留守番電話の設定を解除してから全発信規制および全着信規制の設定を行ってください。
- 発信規制を設定した場合、音声発信、SMS 送信がご利用できません。着信規制を設定した場合、音声着信、SMS 受信だけでなく EMnet メールの受信、留守番電話の伝言通知機能等、一部サービスがご利用できなくなりますのでご注意ください。
- 発着信規制の設定には、ご契約時にお客さまよりご指定いただいた４桁の暗証番号が必要になります。入力を３回間違えると、発着信規制の設定変更ができなくなりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.277）にご確認ください。

■発信者番号通知サービス

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** > **[発信者番号通知]** を選択します。

2. 番号通知のしかたを選択し、**[完了]** を押します。

■転送電話サービス

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** > **[自動転送]** を選択します。

2. 転送条件や転送先を設定し、**[完了]** を押します。

注意

- **[無応答転送]**、**[話中時転送]**、**[圏外/電源オフ時転送]** を利用する場合は、**[無条件転送]**を**[オフ]**に設定してください。（**[無条件転送]**を設定している場合、これらの設定が行えません）

■留守番電話サービス

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** > **[自動転送]** を選択します。

2. 現在の設定内容を確認し、**[完了]** を押します。

注意

- ご契約時は、初期設定として、転送先に「留守番電話サービス」が設定されており、設定内容は下記のとおりです。
  - 応答なし：チェックあり
    電話番号：08070017000
    転送までの時間：20秒
  - 圏外/電源オフ時：チェックあり
    電話番号：08070017000
  - 通話中：チェックあり
    電話番号：08070017000

メッセージを確認する

新しいボイスメッセージが録音されると画面にてお知らせします。電話画面を開き「1416」に発信してください。

注意

- **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** > **[通話のオプション]** を選択して表示される **[ボイスメール番号]**の番号（1416）は、当社から番号変更のお願いを行わない限り、変更しないでください。

■割込通話サービス

●割込通話サービスを利用するには、別途お申し込みが必要です（有料サービス）。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** > **[割り込み通話]** を選択します。

2. **[割り込み通話を通知する]**のチェックを入れる／外して、**[完了]** を押します。

割込通話に応答する

1. 通話中に電話がかかってくると、「プー、プー」という割込み音が鳴りますので応答を選択すると、後からかけてきた相手と通話することができます。（最初の通話は保留状態になります。）

2. ⇅ を選択するたびに、相手が切り替わります。通話を終了する場合は、終了ボタンを押してください。

国際ローミング時のネットワーク設定

日本でお使いのイー・モバイル携帯電話を、電話番号もそのままで海外でご利用いただけます。使用可能な携帯電話のネットワークを確認したり、ネットワークを自動／手動で選択したり、接続するネットワークに優先順位を付けることができます。ネットワーク設定についての詳細は、本機のヘルプをご覧ください。

ネットワークを変更するには

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[電話]** > **[ネットワーク]** を選択します。
- **現在のネットワーク**：現在のネットワークの名称が表示されます。**[メニュー]** > **[ネットワークの検索]** を選択して、別のネットワークを選択することもできます。
- **ネットワークの選択**：お買い上げ時は「自動」に設定されています。「手動」で設定することもできます。
- **優先するネットワーク**：**[メニュー]** > **[優先するネットワーク]** を選択し、画面の指示に従って、優先するネットワークの選択および **[上へ移動]**/**[下へ移動]** を選択して優先順位を変更することもできます。

2. **[完了]** を押します。

ヒント
- 国際ローミングのサービス詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

12.4 本機を保護する

暗証番号 (PIN) で EM chip（USIMカード）を保護する

暗証番号 (PIN) を設定することで、EM chipが不正にアクセスされるのを防ぐことができます。既定の暗証番号 (PIN) は「9999」に設定されています。
後から暗証番号 (PIN) を変更することができます。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[セキュリティ]** > **[SIMカード暗証番号(PIN)を有効にする]** を選択します。
2. 暗証番号 (PIN) を入力し、**[完了]**を押しますす。
3. 暗証番号 (PIN) は、**[SIMカード暗証番号 （PIN）の変更]** を選択すると、いつでも変更できます。

ヒント

- 緊急電話番号（110、119 、118 ）は暗証番号（PIN）を入力しなくてもいつでも発信できます。

誤操作を防止する（キーロック）

1. 終了ボタンを長押しします。
   クイックリスト（P.58）で **[ロック]** を選択しても、キーロックを設定できます。

キーロックを解除する

1. **[ロックの解除]**を押します。
2. [＊ 文字] を押します。

注意

- **デバイスのロック**でパスワードを設定している場合は、キーロックを解除するときにパスワードの入力が必要になります。

本機を管理する

12

パスワードで本機を保護する

パスワード保護を利用すると、不正アクセスから本機を保護することができます。本機の電源を入れるたびにパスワードが要求されるので、本機のデータを確実に守ることができます。本機を使い始めるときに、独自のパスワードを設定します。

パスワードを設定する

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[セキュリティ]** > **[デバイスのロック]** を選択します。
2. **[パスワード入力が必要になるまでの時間]** にチェックを入れ、パスワード入力が必要となるまでの時間を選択します。**[パスワードの種類]** の欄で使用するパスワードの種類を選択します。パスワードを入力し、必要に応じて確認のため再入力します。
   本機がネットワークに接続するよう設定されている場合は、英文字と数字を組み合わせたパスワードを使用するとセキュリティ効果が高まります。
3. **[完了]** を押します。次に本機の電源を入れたときに、パスワードの入力が要求されます。

パスワード保護を解除する

1. パスワードを要求する画面でパスワードを入力します。
2. **[ロックの解除]** を押します。

注意

- パスワードを忘れてしまった場合は、フォーマット（P.253）をしなければ本機を使用することはできません。この場合、本機は工場出荷状態に戻され、登録したデータはすべて消去されます。
- 間違ったパスワードが入力されるたびに本機の反応時間は遅くなり、最終的には全く反応しなくなります。

12.5 プログラムの削除

プログラムを削除する

自分でインストールしたプログラムのみ、削除することができます。本機にあらかじめインストールされているプログラムは削除できません。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[プログラムの削除]** を選択します。
2. 一覧から削除するプログラムを選んで、**[メニュー]** > **[削除]** を選択します。
3. **[はい]** を選択し、**[OK]** を選択します。

12.6 メモリを管理する

プログラムが不安定になったり、プログラムメモリが少なくなってきたら、プログラムを停止してください。

メモリ残量を確認する

本体メモリとmicroSDカードの利用可能な残量を確認することができます。

● **[スタート]** > **[設定]** > **[デバイス情報]** > **[ハードウェア]** を選択します。
　ファイルやデータ用に割り当てられたメモリ容量と、プログラムメモリの容量が表示されます。また、使用済みメモリ容量と残りのメモリ容量も表示されます。

利用可能なメモリの空き容量を増やす

メモリの空き容量を増やすには、次のような方法があります。

● 現在使用していないプログラムを終了します。
● メールの添付ファイルをmicroSDカードに移動します。
● ファイルをmicroSDカードに移動します。**[スタート]** > **[エクスプローラ]** を選択します。ファイルを選んで、**[メニュー]** > **[編集]** > **[切り取り]** を選択します。microSDカードのフォルダを参照し、**[メニュー]** > **[編集]** > **[貼り付け]** を選択します。
● 不要なファイルを削除します。**[スタート]** > **[エクスプローラ]** を選択します。ファイルを選んで、**[メニュー]** > **[編集]** > **[削除]** を選択します。
● Internet Explorer Mobile で一時インターネットファイルと履歴情報を消去します。
● 使用していないプログラムを削除します。
● 本機をリセットします。

12.7 タスクマネージャ

タスクマネージャから実行中のプログラムを終了し、メモリスペースを解放することができます。

タスクマネージャを起動する

●**[スタート]** > **[アクセサリ]** > **[タスクマネージャ]**を選択します。

実行中のプログラムを切り替える

●タスクマネージャ画面でプログラム名を選択してEnterを押します。

実行中のプログラムを終了する

●タスクマネージャ画面で終了するプログラムを選んで、**[タスクの終了]**を押します。

ヒント

・すべてのプログラムを終了する場合は、**[メニュー]** > **[すべてのタスクの終了]**を選択します。
・タスクマネージャは、電源ボタンを押してクイックリストを表示し、**[タスクマネージャ]**を選択しても起動できます。

12.8 本機をフォーマットする

フォーマットは、システムに重大な問題が生じた場合に実行します。フォーマットを実行すると、本機は工場出荷時の状態にリセットされます。ご自身でインストールしたプログラム、入力したデータ、カスタム設定などはすべて失われます。Windows Mobile ソフトウェアと、あらかじめインストールされていたプログラムだけが残ります。

スタートメニューからフォーマットを行う

1. **[スタート]** > **[アクセサリ]** > **[ストレージをクリア]** を選択します。
2. "1234"と入力し、**[はい]** を押します。

強制的にフォーマットを行う

「スタートメニューからフォーマットを行う」の手順でフォーマットできない場合は、以下の手順でフォーマットを行えます。

1. 本機の電源を切ります。
2. Enter ボタンと音量（下）ボタンを同時に押したまま電源ボタンを押して、本体の電源を入れます。
3. しばらくすると、画面に次のような警告メッセージが表示されます。

```
This operation will delete
all your personal data,
and reset all settings
to manufacturer default.
Press VolUp to restore
manufacturer default, or
press other keys to cancel.
```

(訳)
フォーマットを行うと、本機の中のすべてのデータや設定内容が削除され、工場出荷時の状態に戻ります。音量（上）ボタンを押すとフォーマットを実行します。フォーマットを中止する場合は、音量（上）以外のボタンを押してください。

4. 音量（上）ボタンを押すとフォーマットを実行します。それ以外のボタンを押すとキャンセルされます。

警告

- フォーマットを行うと、本機は工場出荷時の状態に戻ります。本機に後からインストールしたプログラムやユーザーデータなどのバックアップを取ってから実行することをお勧めします。

ヒント

- 本機の動作が極端に遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりしたときには、電池パックをいったん取り外し、3秒以上経過後に再度電池パックを取り付けると、症状が改善されることがあります。

12.9 システム情報を確認する

本機の技術仕様 (プロセッサタイプや速度、メモリサイズなど) は **[設定]** から確認することができます。

オペレーティングシステムのバージョンを確認する

●**[スタート]** > **[設定]** > **[バージョン情報]** を選択します。
本機のオペレーティングシステムのバージョンは、バージョン情報画面の上方に表示されます。

本機の詳細を確認する

●**[スタート]** > **[設定]** > **[デバイス情報]** > **[バージョン]** を選択します。
[ハードウェア] を選択すると、本機のプロセッサタイプ、メモリ容量などの重要な情報が表示されます。

12.10 Windows Update

Windows Update の Web サイトへリンクし、本機のWindows Mobileを最新のセキュリティパッチや修正版に更新します。

注意

- お買い上げ時は更新ができない場合があります。
- 更新データをダウンロードするにはインターネットに接続する必要があります。

Windows Updateの設定

初めてWindows Updateを行うときは、更新をチェックする方法を選択する必要があります。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[Windows Update]** を選択します。
2. 更新のセットアップ画面で **[次へ]** を押します。
3. 更新をチェックする方法を **[手動]** または **[自動]** から選択し、**[次へ]** を押します。

注意

- **[自動]** を選択すると、データ通信プランを使用するかどうかを設定する画面が表示されます。**[データプランを使用して更新をチェックし、ダウンロードします]** にチェックマークを入れると、パケット通信によって更新をチェックします。チェックマークを外すと、PCとのUSB接続によるネットワーク経由で更新をチェックします。
  契約したプランによってはパケット通信費用がかかります。

4. **[完了]** を押します。

Windows Updateの設定を変更する

1. **[スタート]** ＞ **[設定]** ＞ **[Windows Update]** を選択します。

2. **[メニュー]** を選択し、変更したい項目を選択します。

- データプランを使用して更新をチェックするかどうかの設定を変更する場合は、**[接続]** を選択します。
- 更新をチェックする方法を変更する場合は、**[スケジュールの変更]** を選択します。

ヒント

- Windows Update画面で **[確認する]** を選択して更新のチェックを行うこともできます。

12.11 電池を節約するには

電池の持続時間は、本機の使い方により大きく左右されます。次のような方法で電池を節約することができます。

- ミニUSB端子に周辺機器を接続している場合、使用しないときは、本機から取り外してください。
- バックライトは、必要以上に明るくしないように設定し、用途に合わせて一定時間後に切れるように調整します。詳しくは、「一定時間後にバックライトを消すよう設定する」(P.238)をご覧ください。
- Bluetooth通信機能は、使用していない場合はオフに設定します。また、ペアリングを行うときだけ本機を検出可能にします。詳しくは「9.1 Bluetoothのモード」(P.170)をご覧ください。
- ビデオや音楽の再生音量を必要以上に大きくしないようにします。
- 使用していないプログラムは終了してください。プログラムがバックグラウンドで実行しておらず、完全に終了していることを確認します。詳しくは、「12.7 タスクマネージャ」(P.252)をご覧ください。

付録

ローマ字→かな変換表

■五十音

あ　A	い　I	う　U	え　E	お　O
か　KA（CA）	き　KI	く　KU	け　KE	こ　KO
さ　SA	し　SI（SHI）	す　SU	せ　SE	そ　SO
た　TA	ち　TI（CHI）	つ　TU（TSU）	て　TE	と　TO
な　NA	に　NI	ぬ　NU	ね　NE	の　NO
は　HA	ひ　HI	ふ　HU（FU）	へ　HE	ほ　HO
ま　MA	み　MI	む　MU	め　ME	も　MO
や　YA		ゆ　YU		よ　YO
ら　RA	り　RI	る　RU	れ　RE	ろ　RO
わ　WA				を　WO
ん　N（NN）				

■濁音／半濁音

が　GA	ぎ　GI	ぐ　GU	げ　GE	ご　GO
ざ　ZA	じ　ZI	ず　ZU	ぜ　ZE	ぞ　ZO
だ　DA	ぢ　DI	づ　DU	で　DE	ど　DO
ば　BA	び　BI	ぶ　BU	べ　BE	ぼ　BO
ぱ　PA	ぴ　PI	ぷ　PU	ぺ　PE	ぽ　PO
		ヴ　VU		

■拗音１（ゃ、ゅ、ょ）

きゃ　KYA	きゅ　KYU	きょ　KYO
しゃ　SYA（SHA）	しゅ　SYU（SHU）	しょ　SYO（SHO）
ちゃ　TYA（CHA）	ちゅ　TYU（CHU）	ちょ　TYO（CHO）
にゃ　NYA	にゅ　NYU	にょ　NYO
ひゃ　HYA	ひゅ　HYU	ひょ　HYO
みゃ　MYA	みゅ　MYU	みょ　MYO
りゃ　RYA	りゅ　RYU	りょ　RYO
ぎゃ　GYA	ぎゅ　GYU	ぎょ　GYO
じゃ　ZYA（JA）	じゅ　ZYU（JU）	じょ　ZYO（JO）
ぢゃ　DYA	ぢゅ　DYU	ぢょ　DYO
びゃ　BYA	びゅ　BYU	びょ　BYO
ぴゃ　PYA	ぴゅ　PYU	ぴょ　PYO

■拗音２（ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ）

くぁ　QA	くぃ　QI	くぅ　QWU	くぇ　QE	くぉ　QO
ぐぁ　GWA	ぐぃ　GWI	ぐぅ　GWU	ぐぇ　GWE	ぐぉ　GWO
つぁ　TSA	つぃ　TSI		つぇ　TSE	つぉ　TSO
ふぁ　FA	ふぃ　FI		ふぇ　FE	ふぉ　FO
ヴぁ　VA	ヴぃ　VI		ヴぇ　VE	ヴぉ　VO

■拗音３（その他）

いぇ　YE	うぇ　WE			
てゃ　THA	てぃ　THI	てゅ　THU	てぇ　THE	てょ　THO
でゃ　DHA	でぃ　DHI	でゅ　DHU	でぇ　DHE	でょ　DHO
ふゃ　FYA		ふゅ　FYU		ふょ　FYO
とぅ　TWU	どぅ　DWU			
ヴゅ　VYU				

■小さい文字のみの入力

ぁ　LA(XA)	ぃ　LI(XI)	ぅ　LU(XU)	ぇ　LE(XE)	ぉ　LO(XO)
ゃ　LYA	ゅ　LYU	ょ　LYO	っ　LTU	

■「ん」の入力

●通常は「N」を入力
●「ん」の次に母音（A, I, U, E, O）またはYが続くとき、文末が「ん」のときは「NN」を入力

例：
KANSEI － かんせい
TANNI　－　たんい
KONNYAKU　－　こんやく

■「っ」の入力

●子音を2 回連続して入力（N とY を除く）

例：
SAKKA　－　さっか
HASSINN　－　はっしん

付録

ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターの動作環境

ActiveSync

- 本端末をパソコンと接続してデータを同期するためには、パソコンにMicrosoft ActiveSync プログラムがインストールされている必要があります。
- ActiveSync は「お使いになる前にディスク」に格納されています。
  なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています(2008年10月現在)。

オペレーティングシステム

- Windows XP Service Pack 1 および2
- Windows XP Tablet PC Edition
- Windows XP Media Center Edition
- Windows XP Professional x64 Edition
- Windows 2000 Service Pack 4
- Windows Server 2003 Service Pack 1
- Windows Server 2003 Service Pack 1 for Itanium-powered

Systems

- Windows Server 2003 Standard x64 Edition

アプリケーション

データの同期（電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り）

- Microsoft Office XP ／ Microsoft Outlook 2002
- Microsoft Office 2003 ／ Microsoft Outlook 2003
- Microsoft Office 2007 ／ Microsoft Outlook 2007
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
- Microsoft Systems Management Server 2.0

Windows Mobile デバイスセンター

●本端末をWindows Vista 搭載のパソコンと接続してデータを同期するには、Windows Mobile デバイスセンターを利用します。
●Windows Mobile デバイスセンターは「お使いになる前にディスク」に格納されています。なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています(2008年10月現在)。

オペレーティングシステム

●Windows Vista Ultimate（32ビット/64ビット）
●Windows Vista Enterprise（32ビット/64ビット）
●Windows Vista Business（32ビット/64ビット）
●Windows Vista Home Premium（32ビット/64ビット）
●Windows Vista Home Basic（32ビット/64ビット）

アプリケーション

データの同期（電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り）
●Microsoft Office XP ／ Microsoft Outlook 2002
●Microsoft Office 2003 ／ Microsoft Outlook 2003
●Microsoft Office 2007 ／ Microsoft Outlook 2007
●Internet Explorer 7

故障と思われる前に

症状	措置
電源が入らない	・電源ボタンを2秒以上押し続けていますか？ ・電池切れになっていませんか？ ・電池パックが正しく装着されていますか？
電源を入れたのに操作できない	・PINコードを入力する画面が表示されていませんか？ PINコードを正しく入力してください。
電源を入れたときに「SIMカードエラー」というメッセージが表示される	・EM chip（USIMカード）が正しく本機に取り付けられていますか？ ・EM　chipのIC部分に指紋などの汚れが付着していませんか？ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
電源を入れたときに、画面に赤・緑・青・白の帯が表示されて操作できない	・フォーマット(P.253)を行うか、電池パックをいったん取り外した後で再度取り付けて、電源を入れ直してください。
ボタン操作ができない	・画面左下に「ロックの解除」と表示されていませんか？ 「ロックの解除」を選択し、ボタン操作ロックを解除してください。 ・パスワード入力の画面が表示されていませんか？ 正しいパスワードを入力してください。
電話がかけられない	・市外局番からダイヤルしていますか？
電話がつながらない、メールやWebが利用できない	・圏外を示すアイコンが表示されていませんか？ ・Comm Managerで、「通話」がオフになっていませんか？ 「通話」をオンにしてください。 ・Comm Managerで、「フライトモード」がオンになっていませんか？ 「フライトモード」をオフにしてください。
通話が途切れたり、切れたりする	・電波の届きにくい場所でかけていませんか？ 電波がなるべく強いところでかけてください。 ・電池切れになっていませんか？ 電池残量を確認してください。

症状	措置
充電できない	・電池パックが正しく装着されていますか？ ・本機、電池パック、AC アダプタなどの端子が汚れていませんか？ ・使用環境の温度が0℃～40℃の範囲外になると、充電できないことがあります。 ・電池パックの寿命、または電池パックの異常の可能性があります。新しい電池パックと交換してください。
熱くなる	・充電中、AC アダプタが熱くなったり、長時間使用すると本機が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。
Bluetooth 対応機器から検出されない	・Comm Managerで Bluetoothの通信機能がオフになっていませんか？ Comm Manager を開いて、Bluetooth の通信機能をオンにしてください。
ワイヤレスLAN（無線LAN）に接続できない	・Comm Managerでワイヤレス LAN機能がオフになっていませんか？ Comm Managerを開いて、ワイヤレスLAN機能をオンにしてください。
PC に ActiveSync をインストールした後で、同期が行えない	・PC側で以下の操作を行ってください。 Microsoft Outlook を起動し、**[ヘルプ]** > **[アプリケーションの自動修復]** をクリックします。自動修復完了後、**[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[プログラムの追加と削除]** をクリックし、プログラムの追加と削除画面でMicrosoft ActiveSyncを選択し **[変更]** をクリックします。表示された画面で **[次へ]** をクリックし、次の画面で **[修復]** を選択して **[次へ]** をクリックします。
電池の持続時間が短い	・使用環境（周囲の温度/充電状況/電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックが早く消費されることがあります。電池の節約のしかたについては、「12.11 電池を節約するには」（P.257）をご覧ください。 ・ワイヤレスLAN、Bluetooth、ダイレクトプッシュがオンになっていると、電池パックの消費が早くなります。

症状	措置
メールの送受信日時が実際の送受信日時と違って表示される	・ メール送受信日時には、送信または受信した時点で本機に設定されていた日付／時刻が記録されます。日付／時刻設定についてはP.236をご参照ください。

仕様

システム情報

プロセッサ	Qualcomm MSM7225 528MHz
メモリ	ROM：256MB RAM：256MB
オペレーティングシステム	Windows Mobile 6.1 Standard

電源

電池パック	リチウムイオンポリマー電池 1000mAh
充電時間	約180分
連続待受時間	約260時間
連続通話時間	約345分
電源電圧入力	AC100-240V 50/60 Hz、出力DC5V 1A

ディスプレイ

LCD	2.4インチTFT液晶
解像度	240 x 320 (QVGA)

W-CDMA／GSM／GPRS／EDGE

通信方式および帯域	HSDPA／W-CDMA： 1700MHz／2100MHz（海外のみ） GSM／GPRS／EDGE： 900MHz／1800MHz／1900MHz
アンテナ	内蔵

外装

サイズ	116.3mm (H) × 43.44mm (W) × 17.00mm (D) (突起部除く)
質量	140g （電池パックを含む）

カメラ

タイプ	320万画素カラーCMOS	
解像度	静止画	2048 × 1536（3M） 1600 × 1200（2M） 1280 × 960（1M） 640 × 480（VGA） 320 × 240（QVGA）
	動画	352 × 288（CIF） 320 × 240（QVGA） 176 × 144（QCIF） 128 × 96（Sub-QCIF）
デジタルズーム	最大4倍	

オーディオ

コーデック	AMR/AAC/WAV/WMA/MP3

外部接続

ミニUSB	USB、シリアル、オーディオ、電源接続用
Bluetooth	Bluetooth Ver.2.0 + EDR 準拠
ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/g準拠

AC アダプタ

電源電圧	AC100V-240V、50-60Hz
消費電力	15 W
出力電圧／出力電流	5V ／ 1A
充電温度範囲	0℃～ 40℃
サイズ	約42mm×77mm×22mm （突起部は除く）

携帯電話の比吸収率（SAR）について

この機種S22HTの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人体の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/ｋｇ※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機構（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
この携帯電話機S22HTのSAR は0.458 W/kgです。
この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値の範囲内になります。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SAR はより小さい値となります。
SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
イー・モバイルのホームページ
http://emobile.jp/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14 条の2）で既定されています。

索引

あ

い

え

お

か

と

な

は

ひ

ふ

ほ

ま

付録

I

M

N

O

P

S

W

保証とアフターサービスについて

保証について

●お買上げいただくと、保証書が付いています。
●記載内容および「お買上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。
●お買上げ日と販売店の記載がなかったり、改ざんされたりした場合、保証を受けられませんので、ご注意ください。
●保証内容については保証書に記載されております。

修理について

●修理を依頼される場合、この説明書をお読みになり、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。それでも改善、復旧しない場合は、お問い合わせ先までご相談ください。
●保証期間中の修理：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
●保証期間経過後の修理：修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償にて修理いたします。
●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ご注意

●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信等の機会を逸したために発生した障害など付随的な損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
●故障または修理により、お客さまが登録されたデータやお客さまが独自に設定、インストールされたソフトが消去される（出荷時の状態となる）場合がありますのであらかじめご了承ください。
●本機を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、分解、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。

補修用部品

●本機および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後６年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせ先

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から：157（無料）
一般電話から：0120-736-157（無料）
海外から：＋81368313333（有料）
受付時間　9:00 ～ 21:00（日本時間／年中無休）
ホームページ　http://emobile.jp/